2017　風来坊　　Country Walk

里歩き・山歩き・街歩き　2017

水行末　曇来末　風来末

2018.1. 25.

Mutsu Nakanishi Home Page　http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/

Iron Road　縄文　ふらっと訪れた街の景色　四季折々

日本各地に残る素晴らしい風景　　自分だけの景色を見る楽しみ

歳をとるにつれ、遠くへはなかなか行けませんが、まだまだ元気　好奇心一杯

神戸を中心に　四季折々の風景を思いついては　ふらっと訪ねています。

毎年　同じ景色を眺めるのも楽しみ　ふと見かけた自分だけの景色の発見もうれしい

全くの独りよがりの風景の羅列です。

体力の衰えはいかんともしがたし

だんだん　山や谷筋をへ入れなくなって　きましたが、

Country Walk　　風来坊

2018.1.25.　　By　Mutsu　Nakanishi

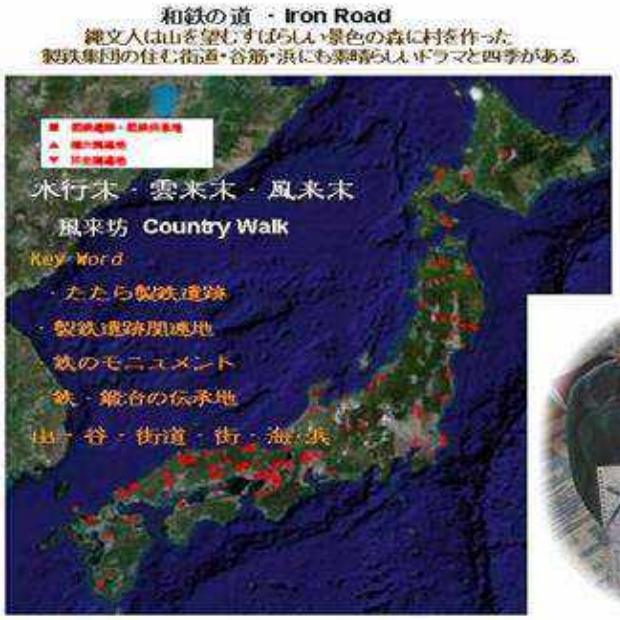
風来坊 Country Walk

水行末 雲来末 風来末　　和鉄の道　　風来坊

Iron Road　縄文　ふらっと訪れた山・里・街角　そして歴史を訪ねて
日本各地には　自然・人・地域・歴史の痕跡とともに
地域それぞれ・四季折々　素晴らしい日本の原風景が残り、
訪れると　いつも新しい発見があり、　自分だけの景色で迎えてくれる
Country Walk の楽しみです

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」
日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。

日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約800 年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術をさらに磨き高めながら1500年続いてきた日本独自の製鉄技術。
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調される一方で、文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。
人里離れた里山の谷筋や川筋・海岸などなどに、産業生産・工房・街・街道などの痕跡とともに、それに携わった人々の賑わいや数々のドラマとともに日本の原風景といわれるすばらしい景色が今も残っています。



そんなIron Road を訪ねつつ、日本各地に残る素晴らしい四季折々の風景を求めてCountry Walk　10数年。
最近は年とともに遠くへ行かれなくなりましたが、
まだまだ　元気　好奇心も一杯。
すばらしい景色とともに数々の出会いの楽しみも。
日本各地のCountry Walkを楽しんでいます。

2018.1.25.　風来坊　Country walk　　Mutsu Nakanishi from Kobe

2017　風来坊　　Country Walk

水行末　雲来末　風来末

2017 風来坊　里歩き・山歩き・街歩き　まえがき

本年も私の住む神戸を中心とした近郊の里を季節折々訪ねる相も変らぬ花便り・近郊ハイクの楽しみに、本年から始めた肥満解消の一日 8000 歩健康 walk の過程で見つけた神戸須磨界隈の四季の景色も春梅・カタクリに始まり、菜の花・桜　そして石楠花・バラへ　夏はクリンソウ・アジサイ・ひまわりそして　京朝顔・京都府立植物園のバオバブを訪ねるのも定番に。秋は黄金色 Country Walk に輝く播磨の田園とヒガンバナから紅葉等々。.毎年同じような景色ばかりで、新しい情報が提供できずですが、自分的には季節を楽しむうれしい Walki。　そんな中で、私にとっては新しい Country Walk が付け加わりました。

８月　京都府の東南部　宇治茶の山郷 宇治田原 奥山田の里　ハート型猪目窓が大人気の正寿院 を訪ねる

11 月　古い記憶を思い起こしながらの大阪港の渡し

宇治茶の山郷の自然がハート型の猪目窓から見える景色など孫娘が行こうといわなければ、む見られぬ景色。また、この walk で宇治川天ケ瀬ダムから豪快に一放水される姿を初めて眺められたのにも感激。

また、親父の記憶が残る港区・大正区の木津川沿岸大阪北港今も現役の渡しを巡る walk にも感激。
このスライド整理で河島英五が歌う「大阪の歌」に出会えたのもうれしい。
私の故郷尼崎・親父の勤め先大阪内港大正の街を重ねて元気の出る歌です

【◆ インターネットより 映像詩　河島英五が歌う「大阪の歌」
http://www.dailymotion.com/video/x5p059n
【◆風来坊　Country　古い記憶を思い起こしながらの大阪港の渡し walk】
http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/iron13/1711osakawatashi00.htm

またまだ元気　好奇心もある　***水行末　雲来末　風来末***　*毎日の街歩きが楽しみになりました*

2017 風来坊　Country Walk　もくじ

山歩き・里歩き・街歩き　2017　18 件記載

風来坊　Country walk　【16】山歩き・里歩き・街歩き　2017

1. 2017 年新春　１日８０００歩・早歩き２０分 健康 walk　17walk01.pdf
   気分は好奇心 一杯の探検気分新春の西神戸近郊を巡る　2017. 1. 1. -1. 19.
2. 国指定重要無形文化財　神戸市妙法寺 車の里　車大歳神社の「翁の舞」　17walk02.pdf
   前年の実りに感謝し、その年の豊作を祈る新春の伝統行事　2017. 1. 14. 夜
3. 2017 年早春　西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる　17walk03.pdf
   春を運ぶあたたかな陽気に　弥生３月 どこかで春が生まれてる　2017. 2. 26.
4. 早春 柔らかい日差しが差し込む里山の林の中を歩く　17walk04.pdf
   白川から藍那・星和台へ　幻の街道 白川・藍那古道(徳川道)　2017. 3. 22.
5. 【春の Photo アルバム】神戸の春到来 2017 待ちかねた春 Country Walk　17walk05.pdf
   早春から春爛漫へ　駆け抜けてゆく神戸の春を追いかけて、神戸近郊 Walk
   2017. ３月中旬−４月初
6. 【写真アルバム】2017 春 たたらの郷 西播磨佐用へ　原チャリで駆ける　17walk06.pdf
   2017 春 たたらの郷 西播磨佐用へ播州路を原チャリで駆ける」　2017. 4. 12
   1. 佐用への播磨路　花街道
      1. 1.　西神戸・小野から北条・加西へ　桜堤をトラバース
      1. 2.　中国道に沿って　新緑と桜の山崎断層の中を山崎・佐用へ
      1. 3.　宍粟(山崎)と佐用を隔てる切窓峠を越えて佐用へ
   2. 千種川が流れ下る古代たたらの郷　佐用の桜
      2. 1.　古代たたらの里の一本桜 漆野 光福寺の大糸桜
      2. 2.　姫新線の列車が走る志文川 の花堤　久保大橋
   3. 春の妖精　カタクリ　旧三日月町　弦谷　冷たい風に立ち向かって、身を震わす
   4. walk を振り返って　2017 年 西播磨佐用へ播磨路原チャリ walk 帰路で
7. 2017 年春　ミツバツツジが岩尾根を彩る須磨アルプス　馬の背を歩く　17walk07.pdf
   久しぶりに栂尾山階段を登って　栂尾山・横尾山から馬の背から東山　2017. 4. 19.
8. 2017 ひまわりの夏 恒例の夏迎え　播磨のひまわり畑を訪ねる　17walk08.pdf
   1. 東播磨の田園地帯にある小野市浄谷　ひまわりの丘　2017. 7. 19
   2. 西播磨千種川が流れ下るたたらの里　佐用町旧南光のひまわり畑　2017. 7. 20.
      - たたらの里　漆野段集落のひまわり畑
      - ひまわり祭のメイン会場　林崎のひまわり畑
9. <比叡山 walk　古道 雲母坂 & 八瀬ケーブル>　17walk09.pdf
   緑の雲母坂を登って比叡山延暦寺へ　帰りは八瀬ケーブルで　2017. 5. 2.
10. 梅雨入り前「麦秋」の播州路　播磨富士「高御位山」へ　2017. 5. 17 .　17walk10.pdf
11. 西六甲縦走路の須磨「鉄拐山」山頂からの展望 Walk　17walk11.pdf
    六甲連山&神戸や大阪湾 絶好の大展望所が誕生　2017. 5. 16.

— 次ページに続く ——

12. 若草山から最短ルートで　南にそびえる高取山へ　2017. 5. 7. & 6. 5.　17walk12. pdf
崖下の周囲から取り残されて残る不思議な谷筋地形を通り抜けて 高取山へ
すり鉢地形として残る幕末 神戸開港を支えた神戸亜炭の採炭地の痕跡か?
【1】　崖下の不思議な地形・車集落の農地を横断して緑ヶ丘へ
【2】　緑ヶ丘・野路山登山口より高取山を目指す

13　京都府の東南部　宇治茶の山郷　宇治田原 奥山田の里　17walk13. pdf
ハート型猪目窓が大人気の 正寿院 を訪ねる　2017. 8. 15.
1. Google Earth　Street View で　宇治田原 正寿院への道をたどる
2. 正寿院の風鈴祭り
3. 正寿院　客殿の猪目窓から眺める夏
4. 正寿院のある宇治 緑茶の山郷　奥山田の茶畑
5. 帰りに立ち寄った宇治川
1. 関西の水がめ　放水中の宇治川天ヶ瀬ダム 2. 宇治平等院

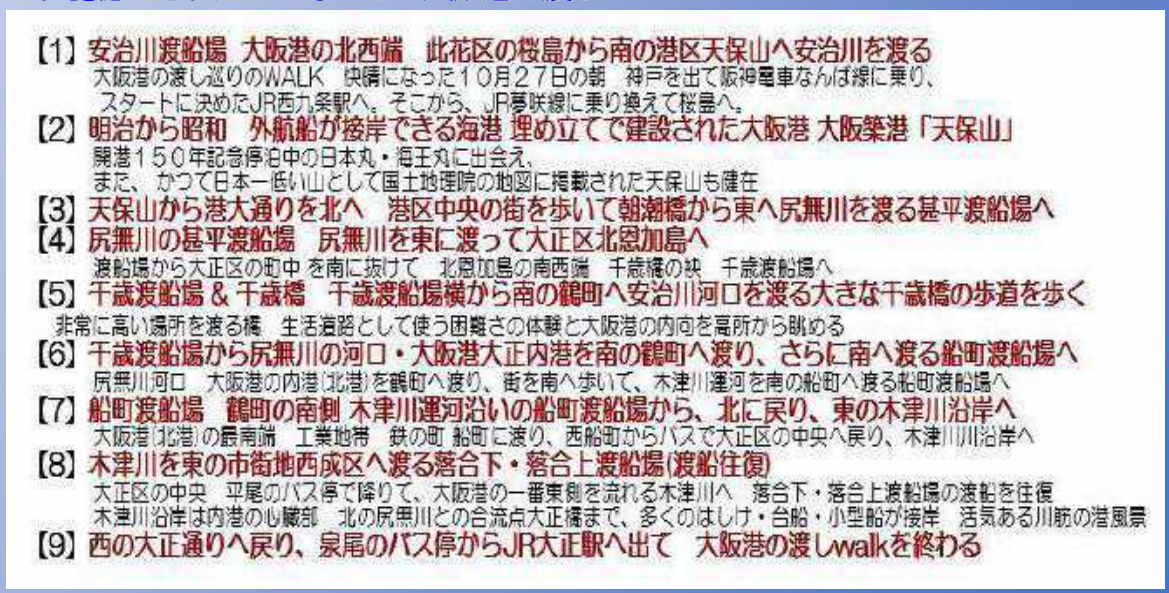
14. 京都府立植物園 毎夏恒例 京都半日会　2017 京朝顔展　2017. 7. 30　17walk14. pdf
【京朝顔展・虫の目展-虫の目が視る花の姿と彩-・バオバブの花鑑賞会】.

15. 2017 年夏　わが家の庭の朝顔帳　2017. 8. 10.　17walk15. pdf

16. 【Photo Album】 ２０１７ 実りの秋 東播磨のコスモス畑　2017. 10. 11.　17walk16. pdf
加古川中流西岸に広がる　志方 & 小野きすみの里のコスモス・蕎麦畑
今年も東播磨　実りの秋の田園を飾るコスモス・ソバの花に出会えました
1. 志方の西の入口　志方城山の山裾　広尾の里
2. 志方の田園の中央　城山が見下ろす 高畑の里
3. 志方の田園の中央　送電線が渡ってゆく東飯坂の里
4. 城山の北側の山間　蕎麦栽培の里　志方野尻の里
5. 志方と小野の境　福甸峠　実り秋景色
6. そば処 小野アルプスの山裾　来住野の里のそばの花

17. 2017 秋 今右衛門の色鍋島のプラチナ釉 & 縄文のビーナス　17walk17. pdf
1. 陶芸美術館特別展 今右衛門の色鍋島　煌めく人間国宝のわざと美、そのルーツ展」
2. 京都国立博物館特別展「国宝展」
久しぶりに縄文のビーナス・女神たちに出会ってきました

18. 古い記憶を思い起こしながらの大阪港の渡し walk　2017. 10. 27　17walk18. pdf

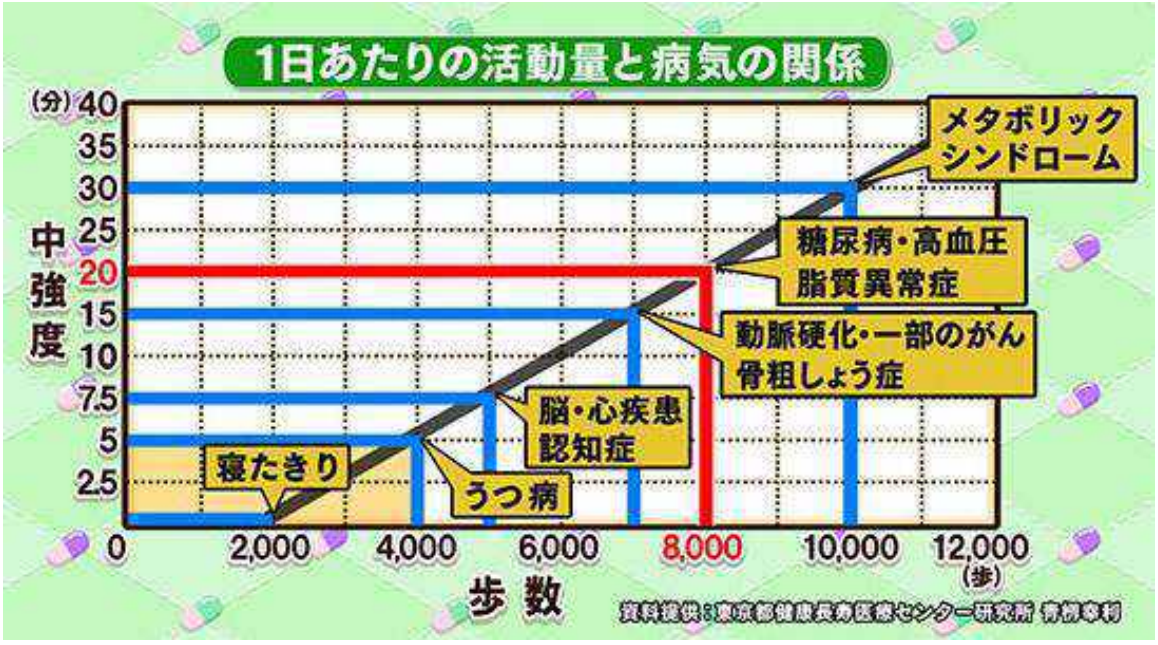


2017 walk
01

【新春の Photo アルバム】

2017 年 新春　1日8000歩　早歩き20分　健康 walk

気分は好奇心 一杯の探検気分　　新春の西神戸近郊を巡る　2017.1.1.-1.19.



2016 秋の検診結果の評価表が送られてきて「こら　あかん!! 」と。運動不足解消がまず第一と主治医も言う
1 日あたりの運動量の目標が TV に示されていたのを見て、目標値の目安も判った。
ちょっとやってみるかと 12 月下旬から　デジカメ片手の新春の近場毎日 Walk にトライ中。
気分は好奇心いっぱいの探検気分　　気に入った景色をスライド写真に。
新春の西神戸界隈　知らなかったことが随所に。　三日坊主にならずに　何とか続いています。

知らなかった景色や古い道など色々　毎日の出会いが楽しみに !!

2017年新春　1日8000歩　早歩き20分　健康walk
新春の西神戸近郊を巡る

1. 2017.1.2.午後　久しぶりに白川峠を越えて　新春の白川の集落の中を北に歩く
2. 2017.1.3.　長田の森の長田神社へ初詣
3. 2017.1.9.　須磨の海を見たくて足慣らし　西六甲の端　横尾道から旗振り山へ
4. 2017.1.10.夕　夕日が美しい冬　夕日のポイントを探して 妙法寺 緑が丘へ
5. 2017.1.11.　「神戸柳原十日戎」の残り福を授かりに
6. 2017.1.12.夕　西六甲の縦走路を見渡せる丘　高塚山から総合運動公園へ
7. 2017.1.14.　ラグビー観戦して 神戸御崎公園から長田まで歩く
8. 2017.1.14.夜　妙法寺 車の里　車大歳神社の翁の舞
9. 2017.1.17.　鵯越の墓園から明石海峡を眺める
10. 2017.1.18.　2017年新春 健康walk　多井畑厄神へ

抜けている日も　雨でない限り、近くの妙法寺駅や名谷駅周辺往復walkをやっていました

2017 年新春　健康 walk　　気に入った写真抜粋

白川の里を通り抜ける古道徳川道(藍那古道)と村中の分岐にあるカヤの巨樹

石屋川付近から西国街道から分かれ、北へ六甲越えの道　摩耶山と長峰山の間の杣谷を更けて、杣谷峠で六甲の稜線を超え、両線の北側を西へ　森林植物園から鈴蘭台・白川・高塚山(学園都市)・長坂から明石大蔵谷でまた西国街道に合流する約 34km 西国街道のう回路「徳川道」。　六甲越の道としてよく知っていましたが、白川の里で　徳川道の案内を見るまで、　六甲を超えてきた徳川道が私が住むすぐ近くの白川の里の中を通り、さらに学園都市の高塚山を抜けて、伊川谷を下って明石に入るなど初めて知りました。

六甲連山が須磨の海に落ちて、摂津・播磨の国境を作る。　かつては須磨の海岸部は厳しい難所。　山を分け入り国境を越える街道がいくつもあり、点々と古い集落があり、これらの里には歴史を刻んだ伝承がいくつも残っている。　白川の里もそんな古い里。　多分徳川道よりももっと古い歴史がある街道筋なのだろう。

新春　白川の里　白川大歳神社で出会った楠の巨樹　その大きさと太さにびっくり!!　新春一番のエネルギー

この健康 walk で訪れたあちこちで　素晴らしい夕日・夕焼けのスポットに出会えました　その一つです

2017.1.2. 長田の森　長田神社へ初詣

須磨の海が見たくなって、旗振山へ　　新春の陽光に輝く須磨の海に出会えました

高倉おらが山・旗振山から眺める須磨の海　2017.1.9.

夕日の素晴らしいスポットを探して　妙法寺緑ヶ丘へ　2017.1.10.夕

神戸のえべっさんも　こんなに賑やかになっていました　兵庫柳原　十日戎の残り福　2017.1.11

私の住む山麓バイパス沿い若草山からの夕景　えべっさんから帰り着いて　2017.1.11.夕

西六甲須磨の山々を全山見渡せ、日の出・日の入を眺められる絶好のスポット高塚山

東の六甲連山・西六甲縦走路　そして西の明石海峡・淡路島から播磨灘へ　まったく遮るもののない大展望
展望台に上ってきた近くの人によれば　この高塚山南展望台は
「夜明けの朝日　昼　輝く明石海峡の海　海に沈む夕日」と一日中いても飽きない場所だという

高塚山北裾にはイチローゆかりのオリックス青涛館　でもオリックスも大坂へ　後はどうなるか　2017.1.12.夕

1.14.　健康walk　ラグビー観戦して 神戸御崎公園から長田まで歩く

夜は家内と妙法寺車の里　大歳神社の重要無形文化財「翁の舞」を見に行くことに

ラグビーワールドカップ2011の南アフリカ共和国代表　ジャックフリーが　2017.1.14.
ラグビートップリーグ最終節 サントリーサンゴリアス戦（於ノエビアスタジアム神戸）を
以って現役引退し、コベルコ スティーラーズを離れる。
試合では　いつもバックスから大声を出して士気を鼓舞して、相手のラインを突破してゆく。
また　スクラム周辺にも果敢に飛び込んでゆく。
この闘志あふれるプレースタイルが好きで、ここ数年ラグビー観戦に通った。
そのフーリーが引退する。この試合はぜひとも見たい。

寒波襲来の1.14.ですが、ラグビー観戦して、神戸御崎のノエビアスタジアムから板宿周辺まで歩けば
1日8000歩も達成できると。

仲間 神戸の観衆に愛された ジャック フーリー　ありがとう!!

2017.1.14.　神戸 ホームズ スタジアムで

国指定重要無形文化財

2017.1.14.夜　　神戸市妙法寺 車の里　車大歳神社の「翁の舞」

「**とうとうたらり**たらりろ たらりあがりららりろ」と繰り返す翁大夫の不思議な祝言の謡で始まる

能楽「翁」・三番叟などのルーツを残す　妙法寺車の里の伝統行事　車大歳神社「翁舞」　2017.1.14.夜

現在の能楽「翁」・三番叟ではすでに省略されてない「父尉の舞」

「翁舞」が舞われた 2014.1.14.夜は寒波襲来で　外は大雪でした　　2017.1.14.夜　車大歳神社境内

14 日夜・15 日の寒波が去った翌朝　子供たちは雪道を元気に登校　2017.1.16.朝

寒波が去った 17 日の朝　鵯越の墓園から眺める明石海峡と淡路島全島　明石海峡・淡路島のベストスポット

2017.1.18.　摂津・播州国境　日本最古の厄神さん　多井畑厄神の「厄神さん」へ

TV で教えてもらって 12 月下旬から始めた「1 日 8000 歩　早歩き 20 分」の健康 Walk
初めて見ると　好奇心いっぱい　コースを変えての毎日。
以前からぜひ見てみたいと思っていた景色のビューポイントを探したり、古い集落の中の道をあるいたり、
いつもバスや地下鉄で出かけていた神戸の街も案外近い。
デジカメと歩数計測ができるアプリを入れた格安スマホをポケットに入れて、歩く楽しみ。
知らなかったいろんな出会いがあって、毎日が楽しみに。
歩き出して　うっすら汗が出だして、エネルギー消費しだしたなぁと感じるのが、歩き出して 3000 歩　約 30 分
あたり。8000 歩から 10000 歩で約 1.5 時間から 2 時間か・・・・
「1 日 8000 歩　早歩き 20 分の意味はエネルギー消費継続 20 分かなぁ・・・・・」とわかってきた。
もっとも　効果のほどは　これから。　ちょっと減量はできたかなぁ・・・・・

知らなかった景色や古い道など色々　毎日の出会いが楽しみに !!

思い立って始めた新春 の毎日8000歩の健康walk　合わせると 約150000歩100km越えにも
なりました。 ひとまず多井畑厄神walkで デジカメ アルバムの終点に。
近くに楽しいwalking コースを幾つも見つけることができました。
これからもそんなコースを四季折々に足の向くまま気が向くまま歩こうと思っています。
近場にも 気が付かなかった景色が幾つもあると。
まあ 何とか1ケ月続けられたので 続けられるでしょう
2017.1.19.　Mutsu Nakanishi

《 home page に大きな写真をスライド動画にして　入れていますので、そちらもどうぞ》
2017 年 新春　1日8000歩　早歩き20分　健康 walk
【スライド動画】http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1702shinsyunwalk.mp4
【写真アルバム】http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1702shinsyunwalkphoto.pdf

今も元気に歩いています

仲間がいる　仲間の元気を活力に!!
無理せず　元気に前向いて

寒波襲来　寒さ厳しい時節　体調管理にご留意ください
2017.1.25.　by Mutsu Nakanishi

2017 walk
02

国指定重要無形文化財　前年の実りに感謝し、その年の豊作を祈る新春の伝統行事

神戸市　妙法寺 車の里　車大歳神社の「翁の舞」　2017.1.14.夜

私の住む神戸須磨区妙法寺地区の車集落の鎮守車大歳神社に伝わる国指定無形文化財「翁舞」。
一般には「三番叟」としてよく知られている古典芸能の原型というべき、日本各地に残る民俗芸能の一つで、この摂津・播州に近い郷　妙法寺車集落の鎮守「車大歳神社」では　新春の神事・伝統行事として、 毎年 1 月 14 日の夜 車の里の人たちによって上演されている。
一般的な能楽「翁」では　現在「稚児(千歳)」「翁」「三番叟」の３つの舞で構成されるのに対し、この車の「翁舞」はさらに「父の尉」が付け加わる 4 つの舞で構成され、古い形式の「翁」の様子をうかがわせるものとして、国の重要無形文化財に指定されている。

西神戸須磨妙法寺川が流れくだる谷筋の街道には、
まだ幾つも古い里が点在し、数々の伝承が残っています。
健康 walk を始めたのを機会に　ちょっとそんな伝承もかじってみようとこの新春この車大歳神社の「翁舞」に出かけました。
40 年近く前、近くに越してきた時に 1･2 度見たことがあり、
毎年 1 月 14 日夜行われるのは知っているのですが、
お能・謡など古典芸能はからっきし駄目の門外漢。
内容についてはよく判らぬままでした。

今回は　インターネットで「翁舞」の演じられる内容とポイントなど予備知識も入れていたことも幸い。
ちょうど　寒波襲来の寒い夜でしたが、甘酒のおもてなしもあって　久しぶりに最後まで興味津々で　見ることができました。見たことがあるとの記憶はあるのですが、内容は本当に新鮮で　楽しい2017年新春となりました。
「三番叟」の言葉はよく聞き、おぼろげながら知っていましたが、「翁舞」の中の一つの「舞」が原型ということも恥ずかしながら初めて知りました。
翁舞が終わった午後８時過ぎにはみぞれ交じりの大雪。　滑らぬよう注意しながら　家に帰りつきました。

◎　翁の舞　登場人物と翁舞

役者は

◎露払い：10歳ほどの少年がつとめる。**◎翁（大夫）**：行事の主役で戸主が務める。
◎三番叟：12歳ほどの少年がつとめる。**◎父慰**　　：翁をつとめた人が兼ねる。
◎地謡；3～4人。　**◎笛**：２人。　**◎小鼓**：２人。**◎　大鼓**：１人。

翁舞では、最初に露払の舞がある。ついで　翁太夫が面箱を開き、御神体の白尉面を着けて舞う。
そして、三番叟が一度立って舞った後、黒尉面を着け、鈴を受け取って再び舞う。
最後に、翁太夫が父尉（ちちのじょう）の面に着け換えて、舞を見せる。

稚児　露払の舞

翁の舞

三番叟（揉ノ段）

三番叟（鈴ノ段）

父尉の舞

翁舞は、日本の伝統芸能の舞。現在の能楽の原典とされる他、古くは田楽や猿楽、あるいは人形浄瑠璃、歌舞伎、また民俗芸能などでも演じられる「儀式的祝言曲民俗芸能」として各地に伝えられている。
翁舞では一般には「稚児(千歳)」「翁」「三番叟」の３番の舞であるが、古い形では　さらに「父の尉」の舞が付け加わっていて４番構成。　車大歳神社の「翁舞」もこの古い形を伝える４番構成で、江戸時代初期の古い形を伝えているとして国の重要無形文化財として、伝承の維持保護が図られている。
翁の舞では 長寿の翁が人々の天下泰平を祈って舞い、三番叟の舞は五穀豊穣を寿ぐといわれ、
足拍子に農事にかかわる地固めの躍動的な揉の段、鈴ノ段では種まきを思わせる所作があり、豊作祈願の意図がうかがえる。

翁の舞の流れ

１４日の午前、神前で、神事に奉仕する人たちや翁舞保存会の役員たちはお祓いを受け、神事を無事舞い納める事を祈願した後、本殿に祀る神面　翁・黒色尉・父尉の「翁」三面を受け、行列を組んでヤドに持ち帰り、縁側より入って床の間におさめる。　午後６時ごろ各員装束を整え、縁側からヤドに入り、最後の稽古の舞が舞われる。午後７時、行列を整え、小田原提灯で足元を照らしながら神社に向かって参進し、拝殿において宮司によるお祓いを受けた後、神酒をいただき笛と小鼓によって約１時間の翁舞が始まる。

翁の舞には　特にストーリーはないが、大体次のような流れだといい、呪術性が強く、車大歳神社のご神体として祀られている神面を使って「天下泰平」「国土安穏」「五穀豊穣」を祈願する。
翁の舞の中で、天下泰平・国土安穏を祈る祈祷のことばが謡われ、役者が神に変身して、祝福の舞を舞う。
翁の舞の中心となっているのは、御神体として大切に扱われている老人の顔をかたどった三面の翁面をかけて舞を舞う部分で、白い翁面(白色尉)を翁太夫(シテ)が用い、また黒い翁面は三番叟が用いる。そのあとを翁太夫が白式尉のかわりに父尉の面をかけ替えて舞う。
面をかけることで神に変身し、世の安寧を祈願して舞を舞うという内容となっている。
通常の翁舞や三番叟にない「父尉」の付け加わった古い形を今に伝えていることや、現在の能楽には見られぬしぐさが随所にみられること、意味もよくわからぬ謡が残っていることなど見どころも多いといわれている。
翁の舞の詳細を書くにはちょっと謡やお能他の古典芸能の理解不足ですが、インターネット等調べて、大まかな構成と回れる内容を下記にまとめました。（　理解不足・間違いあれば、お許しを）

翁の舞

三番叟の鈴の段の舞

父尉の舞

- **舞殿・役者を清める儀式**
  まず最初に　翁舞が奉納する清浄な空間を準備するため、神主によるお祓いで、舞台が清められる。座についた演者一同が御神酒と洗米を頂き、身を清める儀式を行なう。
- **翁太夫による翁舞　冒頭の呪文・祈祷の謡**
  翁太夫は前に置かれた神面の入った箱のひもの結びを解き、神面を取り出せるようにする。
  すぐに、笛・小鼓が演奏を始め、冒頭にあたり、太夫(シテ)は御祈祷の呪文を唱える。
  「とうとうたらりたらりら…」と呪文を唱え、続いて天地・人民の長久を祈って御祈祷の謡をうたう。
- **稚児の露払いの舞**
  翁太夫の謡が終わると、稚児が大地を踏み鎮め、座を清めるための露払いの舞を舞う。
- **翁の舞**　翁太夫は「翁」の神面をかけ、祝福の言葉を唱え、舞う。
  神に変身した翁太夫は、舞台中央へ進み出て、両袖を広げ、天下泰平・国土安穏の祝福の言葉を唱えると、小鼓の演奏に合わせて御祈祷の舞を舞う。舞い終わると翁面をはずし、翁面を面箱におさめる。
- **三番叟　揉みの段**
  後方に控えていた三番叟が舞台に進み出て、再び座を清めるため、〔揉之段〕という躍動的な舞を舞う。
- **三番叟　鈴の段の舞**
  揉みの段の舞が終わると　三番叟は、御神体である黒色尉の面をかけ、再び舞台上に進み出る。
  鈴を貰い受け、その鈴を振って祝福の舞を舞う。
  三番叟の舞はテンポの速い足拍子を強く踏む活発なもので，烏飛び，種卸（たねおろし），種蒔，面返（おもがえ）りなどの動作がある躍動的な舞。
- **父尉の舞**　翁大夫が「父尉」の神面をつけて　祝福の舞を舞う

翁の舞が行われる　車大歳神社　境内　　2017.1.14.

翁舞の開始は午後７時過ぎ。寒さの厳しい夕刻６時過ぎに　家内と二人家を出て、車の集落の中を東に抜け、大歳神社へ。　境内には　集落の人や近くの人たち　そしてカメラを抱えた人たちなど多くの人が集まっている。境内にはたき火がたかれ、集落の人による甘酒・　お神酒の接待。　寒い夜で嬉しい。

開始まではまだちょっと時間があるで、お参りしたあと、境内の滝費を囲む。世話役の人が、いろいろ動き回って、翁舞の演者たちが今、ドヤにいることやまもなく演者たちの宮入が始まることなど教えてくれる。また、翁舞は拝殿(舞殿)で回れるのですが、その奥の本殿向いて舞われるので、見物には拝殿と奥の本殿の間に周る方がよいと教えてもらった。まもなく、演者たちがドヤを出て、大歳神社に向かったとの報が入り、いよいよ　神面を入れた箱を先頭に演者たちの宮入が始まった。

◆　翁の舞　宮入

◆　舞殿・役者を清める儀式

大歳神社の神主は本殿に入り、お参りし、次いで本殿に上がり、舞殿・席についている演者を祓い清める。
翁太夫の前には箱に入れられた神面がおかれている。次に座についた演者一同が御神酒と洗米を頂き、身を清める。
翁大夫は新面の入った箱の紐を解き、唇面の一つを取り出し、箱の上に置き、翁舞の準備を整える。

◆　翁舞　冒頭　翁太夫によるの呪文・祈祷の謡

笛・小鼓が演奏を始め、約１時間の翁の舞が始まる。
まず笛二管と小鼓三丁の演奏とともに、翁大夫の「**とうとうたらり**たらりろ たらりあがりららりろ'」と繰り返す不思議な謡。続いて天地・人民の長久を祈って御祈祷の謡をうたう。

◆　　稚児の露払いの舞

「よーほん、はいーいや」という掛け声がずっと響くなか、「なるは滝の水　日は照るとも・・・」と唱えながら稚児が登場。体全体を右に、左に向ける所作、後は扇を前に出して拝殿をぐるりと回って拍子を踏む。
稚児が大地を踏み鎮め、座を清めるための舞である。

◆ **翁の舞**　　翁太夫は「翁」の神面をかけ、祝福の言葉を唱え、舞う。

翁大夫が白式尉の面をかけた後、肘を上げるようにして、少し腕を曲げた構えで舞い始める。

最後は「千秋萬歳の。祝ひの舞なれば、一舞、舞はう萬歳楽」と・・・　翁大夫と地謡の祝言「萬歳楽」の掛け合いがひたすら続く。

◆　三番叟　揉みの段・鈴の段の舞

翁が舞い終わると次は三番叟の揉之段。小鼓方のひとりが大鼓に持ち変え、張扇で打ち始め、再び座を清めるため、三番叟の男の子が舞いはじめる。小鼓を打っていた時とは打って変わって、気合の入った掛け声が響く。

続いて鈴之段。御神体である黒色尉の面をかけ、再び舞台上に出て、鈴を貰い受け、その鈴を振り、祝福の舞を舞う。テンポの速い足拍子を強く踏む活発なもので，烏飛び，種卸（たねおろし），種蒔，面返（おもがえ）りなどの動作がある躍動的な舞を舞う。。

◆　父尉の舞

翁大夫が「父尉」の神面をつけて　祝福の舞を舞う。
現在の翁舞や三番叟ではすたれて回れなくなった舞であるが、車大歳神社の翁の舞がずっと伝承してきた古い形の翁舞を伝える舞である。
父尉の面は　翁の年老いた姿といわれる

父尉

翁

翁の舞が始まって　約１時間　父尉の舞で無事舞い納めとなりました。

午後8時過ぎに「翁舞」すべてが終了し、本殿に神面を戻す

午後8時過ぎに「翁舞」すべてが終了し、本殿に神面を戻して、
2017年新春　車大歳神社「翁舞」が終わりました

「翁舞」の途中から雪が降りだし、舞が終わった頃には大雪に……
久しぶりの「翁舞」　舞殿の一番近くで見られ、　ちょっとは内容を話せるように舞の理解も深まっり、
最後まで、飽きることのなかった印象深い2017年「翁舞」
「とうとうたらり　たらぁりら・・・・・・・」
まったく意味不明の翁が謡う祝ことばだそうですが、　耳について離れない。
なにか　いいことがあるような　2017年新春です

とうとうたらり　たらぁりら・・・・・・・」

2017.1.14.夜　滑らぬよう家内と家路を急ぎながら
Mutsu Nakanishi

大雪の中で　2017 年の車大歳神社の「翁舞」
前に見た時のことはほとんど覚えておらず、新鮮でした。　もっとも　この翁舞が三番叟の原型であるのも知らずで、恥ずかしい限り。
でも　歳を取り、予備知識も多少あって、聞こえてくる地謡や舞　そしてそのしぐさもちょっぴり理解もして、うれしい2017 年車大歳神社の翁舞でした。
家内と二人　寒さに震えながらも、ああやこうやと話しながら、滑らぬよう家に戻りつきました。
2017.114.夜

妙法寺 車の里　車大歳神社の翁の舞　2017.1.14.夜
前年の実りに感謝し、その年の豊作を祈る新春の伝統行事

2017 walk
03

2017年早春　西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる　2017.2.26.

春を運ぶあたたかな陽気に　弥生３月　どこかで春が生まれてる

弥生３月　各地の梅だよりが伝えられ、暖かな陽光にキラキラ光る須磨の海。そして、菜の花が近くの丘を真っ黄色に染め、自宅ではサクラソウの花も咲きだしました。どこかで　春が生まれてる。
毎年この時期　春を探しに出かける西神戸　神出の里の雌岡山。気になる時節に・・・・・・
子午線が走る明石の街の北　西神戸の丘陵地「神出」の里に美しい三角形状をしたほぼ同じ高さの二つの山
雌岡山(標高249m)　雄岡山(標高241m)　が東西に並ぶ。
「神出」の地名の由来は大己貴(大国主命)」が、雌岡山上に天降りして、ここで百八十一柱の神々を生んだので、この地を「神出」というようになったと伝えられ、雌岡山の山頂に古代鍛冶神「スサノオ」「タマヨリヒメ」「大己貴(大国主命)」を祭るこの地の守り神「神出神社」が、神宿る里そして鍛冶伝承の地である。

西神戸　神出の里　南神出の田園から眺める雌岡山　2017.2.26.

西神戸の田園地帯の南　遠く明石海峡・淡路島を正面に見下ろして、
スサノオ、クシナダヒメとオオナムチを祭る神の座す山 雌岡山
雌岡山山腹をピンクに染める梅林　そして林の中でひっそり咲く雪割草・カタクリの花
野鳥の声を聴きながらたどり着いた山頂から眺める東播磨・海峡の春の大展望
みんな神出の里で生まれる春景色

神出の里の春　2017.2.26.

弥生３月の訪れ　各地の梅だよりが伝えられ、菜の花が近くの丘を真っ黄色に染めている。
そろそろ遠く明石の海を見下ろす雌岡山の梅も満開になる頃。山頂近くの林の中カタクリはまだにしても、今頃雪割草がひっそりと可憐な顔を出しているだろうまた、雑木林の中を抜け、ほんの 30 分足らずで頂上にたどり着いた神出神社の展望所から眺める大展望　東播磨の里の春景色も魅力。ため池が広がる広大な神出の里の田園地帯では農作業がはじまり、フキノトウや土筆も顔を出す。　神出の里・雌岡山の春の訪れ　　どこかで春が生まれてる
あたたかな春の陽光が降り注ぐ、２月 26 日朝
春を見つけに　今年も西神戸神出の里の雌岡山に春を見つけに出かけました。
いつもは、自宅から原チャリなんですが、今回は神出の里までバスで行って、そこから歩くことに。
久しぶりの雌岡山　春の息吹をもとめて　ゆったりと歩きました。

1．神出の里　神出南の田園地帯　子午線上の道をまっすぐ　北の雌岡山へ　　2017.2.26.

まっすぐ北に雌岡山が見える神出南のバス停に降り立ったのは午前 11 時。地下鉄・バスを乗り継いでの神出の里。原チャリだとすっと来れるのですが、時間がかかる。
晴れ上がった空の向こうに見える雌岡山まで、広い大地いっぱいに田園がひろがっている。昨年はこの田園で見た菜の花・フキノトウをさがしながら、北の雌岡山へ向かおう。
前から一度歩いてみたかった雌岡山正面の麓にある子午線標識からまっすぐ南に延びる子午線の道を歩いて、山に登ろうと。
久しぶりの神出の里　胸いっぱい　里の空気を吸い込んで歩き出す。
集落の中　雌岡山南の田園地帯を眺めながらバス道を少し戻るとまっすぐ北へ延びる子午線道との十字路である。

雌岡山南麓に建つ子午線標識

写真中央　電柱が立っている道が私が子午線道と呼ぶ道　2017.2.26.

左手白い建物神出中学校の横に子午線標識があり、また　雌岡山の頂上に神出神社が小さく見えている

神出の里・雌岡山　walk の　google Earth 関係図

「子午線道」は私が勝手に読んでいる道で、正確には子午線上ではないのですが、南から北へ子午線標識へまっすぐ南北に神出の田園地帯を伸びる道で、雌岡山頂上の展望所からも　南北にまっすぐ伸びる道がよく見え、勝手にそう呼んでいます。

雌岡山麓の子午線標識にまっすぐ伸びる私が勝手に「子午線道」と呼んでいる道　(1)　2017.2.26.

雌岡山麓の子午線標識にまっすぐ伸びる私が勝手に「子午線道」と呼んでいる道　⑵　2017.2.26.

北正面には日本標準時子午線標識がある山麓の学校までまっすぐ伸びる道。また反対側のみなみへは明石の海岸線へ向かってまっすぐ伸び、道の東には雄岡山が小さく見えてる。時間はちょうど昼前　私の影が道の中央子午線標識に向いている。　ごく普通の農道・生活道路がこんなにまっすぐ見渡せるのにも驚きです。

ぽかぽか陽気の中　この道を雌岡山へ。

残念ながら　道端の菜の花・フキノトウは見つけられず。

今年は冷たい風が吹いた精かも。　昨年見つけた場所はもう少し東の畑。帰得るときにもう一度探そう。

山麓を東西に走る舗装道路がみえると子午線標識で　雌岡山への登り口　2017.2.26.

いつもは見すごす茅葺の建物がす山麓へ出るすぐ手前にありました。貸農園や農業体験　周辺に点在するため池巡りなど楽しい里づくりを進める神出「めっこうファーム」の建物で、　雌岡山の北側にある楽農センター「かんでかんで」しかしりませんでしたが、南側でも新しい里づくりが進んでいることを知りました。

登山口はこの山麓の少し東側　神出神社の大鳥居から山腹を西から北へ巻きながら頂上神出神社へ至る舗装道路の参道がありますが、この子午線標識からも古い鳥居をくぐり、巻き道の車道を横切って　まっすぐ切通しの山道を登って　山腹の南側を頂上へ至る旧参道がある。

カタクリの群生地から頂上へ行きたいので、鳥居をくぐって　すぐ上で舗装道路に出て、西への道を登ってゆく。

山腹は雑木林に包まれ、あたたかい日差しの中野鳥の声を聞きながら、ゆったりと登ってゆく。15 分も登れば頂上直下北山腹のカタクリ群生地。雑木林の間からは先ほど歩いてきた子午線道がこっちへまっすぐ続いているのが見える。

里はまだ　モノトーンであるが、雌岡山中は緑に包まれた緩やかな坂道。山腹を北側に回り込んだところで、金網に囲まれて　カタクリ群生保護地が見えてくる。

通いなれた道である。

2.　雌岡山　頂上直下のカタクリ群生保護地　　2017.2.26.

カタクリはまだ土の中　でも可憐な雪割草が保護地の端でひっそり咲いていました

雌岡山　頂上直下の北斜面　カタクリ群生保護地　　2017.2.26.

階段を登って、山の北斜面に整備された保護地へ入り、見渡すが、緑がほとんど見えない。　まだ　ここは冬か??　カタクリは冬眠中。
いつも雪割草が顔をのぞかせてくれる保護地の端のところに目を移すと、今年も雪割草が少し花を咲かせていました。一瞬　消えてしまったのか?と思いましたが、昨年よりもちょっと遅いようですが、真っ白な花びらの縁を淡いピンクに染めて、雪割草が咲きだしていました。
「春が生まれている」と思わせる清純な花　今年も出会えてよかったと。

人知れずひっそりと春の到来を教えてくれる雪割草。梅の花とともに、雌岡山の春を告げる愛らしい花です。
カタクリが咲きだすとにぎわうのですが、今はだれもいない静かな林の中。
雪ではありませんが、落ち葉を掻きわけてそっと顔を出す。
うれしいねぇ　　今年も来れてよかった
「春が生まれてる　」と実感する

この群生地の斜面をそのままよじのぼると　雌岡山の頂上　神出神社の境内である

3.　雌岡山頂上　神出神社からの西神戸 明石平野の大展望

神出神社については何度か紹介してきましたので今年は省略。眼下に広がる西神戸・明石海峡そして東播磨の大展望はいつ来ても心地よい。遠く遠望する西六甲連山　中央には春霞に煙る明石海峡と明石大橋　そして西に加古川の工業地帯が霞んでぼんやり浮かんでいる。その前には西神戸のニュータウン群もぼんやりと。そして直下には　いくつものため池が点在する田園地帯の中、神出の里が広がる。　眼下東端には優美な三角錐姿の雌岡山が座っている。
ここの膨大なパノラマ。案内板と見比べながら、場所の特定を飽きることなく・・・・・・。

雌岡山南側に広がる春の霞に煙る西神戸から東播磨の大展望　眼下にはため池が点在する神出の里の春景色

春霞に浮かぶ明石大橋と淡路島の島影　2017.2.26.

4.　梅満開　雌岡山東斜面に広がる雌岡山梅林

頂上から雑木林の中を東へ少し下るとパッと視界が開け　満開の梅　2017.2.26.

雌岡山の東山腹に広がる雌岡山梅林　2017.2.26.

雌岡山梅林で　2017.2.26.

東側出口のすぐ前は 雄岡山と雌岡山の間の金棒池
雄岡山が池に優美な姿を映している

雄岡山の東側からの登り口

金棒池ができるまで

雄岡山と雌岡山が、金棒を芯にして土を盛って高さ比べをしていたところ雄岡山の金棒が折れて、二つ山の間にささり、そのあとが池になったという民話が残っています。そのために、雄岡山（標高二四一メートル）の方が雌岡山（標高二四九メートル）より八メートル低くなったようです。

また一説には、「弁慶が金棒を両方の山に差し込んで持ち上げたときにふんばった足跡だ」という伝説も残っています。

5. 雌岡山の東から南へ　いつも原チャリを走らせる道を下って帰路に

毎年２月の末に　春を探して出かける雌岡山　今年も春景色を見つけることができました
今年下旬　晴天がつづいたものの　冷たい風が吹き抜け、ちょっと春が遅れているようだ
でも　心地よい春が生まれる田園の里に身を置いて　楽しい一日でした。
不漁になると聞き、気になっていた　神戸の春の風物詩　イカナゴの新子漁
その解禁日は３月７日と　今年も随分遅く、不漁のようだ
待ち遠しい春　元気に前向いてと
2017.3.1.　雌岡山の春の整理をしながら…・
by Mutsu Nakanishi

◎　参考　　2017年早春　西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる　2017.2.26.
春を運ぶあたたかな陽気に　弥生３月　どこかで春が生まれてる
動画とPhoto Albumを下記にサイトに入れています。

◆　スライド動画 file：　2017早春　西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる　2017.2.26.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1703kandenoharu.mp4

◆　Photo Album　：　2017早春　西神戸神出の里の雌岡山梅林を訪ねる　2017.2.26.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1703kandenoharuphoto.pdf

2017 walk
04

PDF Photo アルバム

早春　柔らかい日差しが差し込む里山の林の中を歩く　　2017.3.22

白川の里から藍那・星和台へ　白川・藍那古道(徳川道)

気になっていた白川の里から北へ藍那・しあわせの村へ抜ける道

◆ 白川の里の石抱え大カヤの巨木のところで東の鵯越へ向かう側が未開通となっている県道 16 号線

◆ 北の藍那へ向かう道も幾つもの里山を抜けてゆく太陽と緑の自然歩道・古道「藍那古道・徳川道」

白川の里　集落の真ん中　石抱きケヤキの巨樹前　太陽の道・藍那古道が左手へ抜けてゆく

白川峠を北に下る坂の途中 白川集落への入口に良くわからぬ県道16・県道22の街道標識が上下に掲げられている。
内容はわかるのですが、土地勘がない人には ちんぷんかんぷん。ずっと不思議に思ってきた標識である。
県道16号は左側から白川峠にかかるこの白川の集落の入口で、奥へ折れて白川の集落に入り、細い生活道路となって石抱きカヤの巨樹のところでストップ。藍那のしあわせの村入口までが未開通。そして、しあわせの村からまた 県道16号となって、北の小部峠へ。 一方、徳川道も左側の布施畑から集落に入り、石抱きカヤの巨樹から北へ里山の尾根筋を藍那・しあわせの村から小部峠へと抜けてゆく。 ややこしい場所に、この街道標識。 ここが古くからの交通の要衝の象徴か・・・・・

白川の里の北のはずれ、林の中の小さな尾根の東越鉄は地蔵尊が祭られていた
集落の中を抜けて来た舗装道路はこのすぐ上で、東越を西に下って、
北に延びる神戸・三木線へくだる。
藍那古道はここで東へ折れ、林の中　尾根筋をさらに進んでゆく。　2017.3.22

藍那IC
星和台
ゴルフ場
阪神高速白SA
◎現在地
白川の里
北のはずれ
しあわせの村
白川の里

林の中を抜けるとパッと視界が開け、
山あいを阪神高速北神戸線が東西に受けてゆく　2017.3.23.
中央奥に高速道路を越え里山を登ってゆく道が見えている

藍那里山公園の金網の間を抜けると山間のちょっと小広い平地に出る。ここが藍那の入口「相談ヶ辻」の十字路。公園の中に茅葺の家が復元され、藍那里山公園の歩行者入口があり、道際にも数戸の家がありました。　2017.3.22

「相談ヶ辻」というのは、藍那に進んできた義経が「直進して鵯越に出るべきか、右折して白川に出るべきかを迷い、軍議を開いたとされる所」から生まれた地名という。

木漏れ日に美しく輝く早春の里山　雑木林の中を行く藍那古道で　2017.3.22

藍那里山公園の縁に沿って　坂道を上がると星和台の住宅地の中に。
南に見えるしあわせの村の山際まで進んで 、左に折れると鵯越から星和台を抜けて 鈴蘭台へ結ぶ県道16号にでる。
徳川道は北この県道を行くのですが、私は南へ鵯越から白川へ戻る。すぐ南の県道沿いがしあわせの村の入口田である。

◎幻のハイウエイ
県道16号線(明石ー神戸-六甲山上ー宝塚)
西の白川峠から白川の集落の中に入って、道が途絶えてしまっている県道16号線。
この鵯越から復活して、北へ進み、この星和台・鈴蘭台を東の小部峠出て、六甲の尾根筋を登って、六甲山上から　東の最終点　宝塚へ下ってゆく幻のハイウェイといわれる道である。

新芽が出始めた里山の林が輝く　早春の美しい里山風景　相談ヶ辻周辺で

早春の里山　太陽と緑の道(白川-藍那-徳川道)で　2017.3.22.

早春　柔らかい日差しが差し込む里山の林の中を歩く　2017.3.22.

－　白川から藍野・星和台へ　白川・藍那古道(徳川道)　－

気になっていた白川の里から北へ藍那・しあわせの村へ抜ける道

◆白川の里の右拘え大カヤの巨木のところで東の鴨越へ向かう側が未開通となっている県道16号線

◆北の藍那へ向かう道も幾つもの里山を抜けてゆく太陽と緑の自然歩道・古道「藍那古道・徳川道」

近くの里山歩きの中で、早春　芽吹きを迎えた林の美しさに気が付いて
今日　白川の里の北に広がる藍那古道沿いの里山を歩きました。
私には初めての道　芽吹き始めた雑木林の美しさにびっくり。
また　よく知る市街化された周辺地域(白川・ひよどり台・星和台・鈴蘭台・藍那)に
これらのニュータウンに囲まれて　雑木林に包まれた里山が連なっていること
初めて知りました。

うれしいCountry Roadの道
今度は里山公園の中に入って　里山に囲まれた山里の景色を眺めようと思っています。

鴨越　山麓バイパスのバスの中で
2017.3.22.　Mitsuo Nakanishi

新芽が出始めた里山の林が輝く　早春の美しい里山風景　相談ヶ辻周辺で

早春の里山　太陽と緑の道(白川-藍那-徳川道)で　2017.3.22.

2017 walk
05

【PDF Photo アルバム】

神戸の春 到来　2017　　早春から春へ　2017.4.4.

神戸の春到来　2017　早春から待ちかねた春へ

神戸の Country Walk から　変化してゆく春を追いかけました 2017　by Mutsu

早春から春爛漫へ　神戸の春到来　Nakanishi

- 芽吹きを迎え刻々変化する近郊の里山の春景色
- 陽光に輝く須磨の浦　名産の須磨海苔の摘み取り作業
- 須磨離宮の梅　　菜の花と水仙が一緒に
- ジャズが流れ、春到来に華やぐ神戸の街歩き ほか

白川の里　石抱きカヤの前から里山の谷筋の中を北の藍那へ 古道白川・藍那道(徳川道)が続く。

里山が開発され市街化してしまった周辺で、この藍那への古道が伸びる尾根筋は美しい雑木林と里山の景観を残し、藍那里山公園として整備保全されている。

徳川道は江戸時代の街道だった西国街道(山陽道)の迂回路として、幕末に急遽建設された幻の街道で、神戸の石屋川から六甲山に入り、明石の大蔵谷までの約34km。

完成は1867年12月。翌1868年は明治元年で、使用されることもほとんどないまま、歴史に消えてしまった。　その昔のままの痕跡が今もこの西神戸の白川峠下の白川の集落の中に残っている。

白川峠を北に下る坂の途中　白川集落への入口に良くわからぬ県道16・県道22の街道標識が上下に掲げられているが、これもその一つ。

内容はわかるのですが、土地勘がない人には　ちんぷんかんぷん。

ずっと不思議に思ってきた標識である。

県道16号は左側から白川峠にかかるこの白川の集落の入口で、奥へ折れて白川の集落に入り、細い生活道路となって石抱きカヤの巨樹のところでストップしてしまう。藍那のしあわせの村入口までが未開通で、しあわせの村からまた　県道16号となって、北の小部峠へ。

また、白川峠を越えて神戸三木線(県道２２号線)が走り抜ける。
左手から県道２２号と併用で坂道を登ってきた徳川道・県道１６号がここで北の村の中へ折れ曲がるややこしい標識なのである。そして　徳川道は左側の布施畑から集落に入り、集落の中を　石抱きカヤの巨樹から北へ里山の尾根筋を藍那・しあわせの村から小部峠へと抜けてゆく。　この街道標識は神戸の裏街道同士をつなぐここが古くからの交通の要衝の象徴か・・・・・

神戸の春 到来
2017
早春から春へ
神戸市街地の山すそで　諏訪山公園　2017.3.27.

神戸の春 到来
2017
早春から春へ

神戸の春 到来
2017
早春から春へ

御　蔵
神戸の春 到来
2017
早春から春へ

神戸の春 到来
2017
早春から春へ

須磨の春 2017
早春から春へ
KOBE JAZZ DAY 2017
神戸ジャズデイ2017
Kobe Jazz Day 2017　2017.4.2　大倉山公園で

神戸の春 到来
2017
早春から春へ

神戸の春 到来
2017
早春から春へ

神戸の春 到来
2017
早春から春へ

4月16日　イースター・復活日

花の香りが漂う春　胸膨らませ、
神共にいまして　力を与えませ

Happy
Easter
2017

70の齢を越えて　思いは一つ
ただひたすら　希望の明日を信じて
今のわが身に感謝し、
家族・仲間そして世界の人々に思いをはせています

まだまだ元気　好奇心はある
仲間が頼りですが、今できることを精一杯

体を大切に！今健康ならそれを維持し、
悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
ジョージカーリン「老いを楽しく」より

今春庭で花を咲かせた
「アーモンド」の花

アーモンドの花の香りが漂う春
花言葉は「希望」「愛」「優しさ」

2017年Easter
Mutsu Nakanishi from Kobe

神戸の一本桜　奥平野（水の科学館）の「舞桜」
今年は遅れていますが、間もなく満開に

神戸の一本桜　奥平野（水の科学館）の「舞桜」
今年は遅れていますが、間もなく満開に

神戸の春 到来
2017
早春から春へ
仲間がいる　仲間の元気を活力に!!
老いを前向いて　笑顔で
4月16日　イースター・復活日
花の香りが漂う春　胸膨らませ、
神共にいまして　わが道を前向いてゆく
10の節を越えて　思いは一つ
ただひたすら　希望の明日を信じて
世界平和を願いつつ、　今のわが身に感謝し、
家族・仲間　そして世界の人々に思いをはせています
Happy
Easter
2017
今春庭で花を咲かせた「アーモンド」の花
まだまだ元気　好奇心はある
仲間が頼りですが、今できることを精一杯
お互い元気で乗り切って行きましょう
体を大切に！今健康ならそれを維持し、
悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
ジョージカーリン「老いを楽しく」より
アーモンドの花の香りが漂う春
花言葉は「希望」「愛」「優しさ」
2017.4.5.
Mutsu Nakanishi from Kobe

2017 walk 06 スライド動画】毎年春になると待ちかねて　出かける播州路　2017.4.12.

2017 春 たたらの郷 西播磨佐用へ　原チャリで駆ける」

古代からのたたらの郷西播磨佐用　四季折々の山里の景色が魅力　　もう訪ね始めて何年になるだろうか?
四季折々幾度となく訪ねる。 各地の桜便りが届きだす春四月初め、佐用のカタクリが咲きだす時期に合わせて、
春になると古代たたらの山里　佐用へ原チャリを走らせるのも恒例。
　４月 12 日　今年は天候が安定せず、やっと神戸の桜の花も満開になり、カタクリの花に出会えるか心配しつつ、
遅れていた佐用へ播州路を原チャリで駆けてきました。
佐用への播州路の山里　草木燃え、山は芽吹いて桜満開の桜街道。久しぶりに佐用漆野の一本桜　光福寺の大糸桜に出会えるのもうれしい。　うまくゆけば桜とカタクリの両方。だめでも爽快な桜街道原チャリ ツーリンクが楽しめると

2017 春 たたらの郷 西播磨佐用へ播州路を原チャリで駆ける」

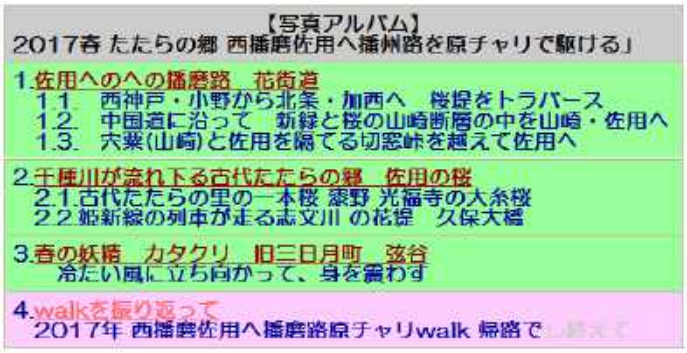
1.佐用へのへの播磨路　花街道
　1.1.　西神戸・小野から北条・加西へ　桜堤をトラバース
　1.2.　中国道に沿って　新緑と桜の山崎断層の中を山崎・佐用へ
　1.3.　宍粟(山崎)と佐用を隔てる切窓峠を越えて佐用へ
2.千種川が流れ下る古代たたらの郷　佐用の桜
　2.1.古代たたらの里の一本桜 漆野 光福寺の大糸桜
　2.2.姫新線の列車が走る志文川 の花堤　久保大橋
3.春の妖精　カタクリ　旧三日月町　弦谷
　冷たい風に立ち向かって、身を震わす
4.walk を振り返って　　2017 年 西播磨佐用へ播磨路原チャリ walk 帰路でし終えて

佐用への播州路の山里　草木燃え、山は芽吹いて桜満開の桜街道。 久しぶりに佐用漆野の一本桜　光福寺の大糸桜に出会えるのがうれしい。 うまくゆけば桜とカタクリの両方。だめでも爽快な桜街道原チャリ ツーリンクが楽しめると。
西神戸から佐用へ通過する山里・街道筋はどこもかしこも芽吹きと桜満開の素晴らしい山里の春景色。 また、西播州一の一本桜　漆野光福寺大糸桜も満開の枝を四方に垂らす素晴らしい姿。播州の春爛漫。
姫新線が走る志文川の桜堤で桜の中を走る列車も撮れました。

また、心配していた弦谷のカタクリは、盛りは過ぎていましたが、元気に冷たい風に身を震わせて 立ち向かう姿を見ることができ、デジカメ Video に収めることができました。 出会えたら幸運といわれる「白いカタクリ」の姿もその中に…。今年もうれしい春の妖精　カタクリとの出会いになりました。
気分晴れ晴れ、今日一日を思い浮かべつつ　また一年　がんばるぞ!! と

2017.4.12.　by　Mutsu Nakanishi

【写真アルバム】2017 春 たたらの郷 西播磨佐用へ　原チャリで駆ける」2017.4.12.



1.　佐用へのへの播磨路　花街道

1.1.　佐用へのへの播磨路　花街道【1】　西神戸・小野から北条・加西へ　桜堤をトラバース

川の土手には満開の桜　里山は芽吹き　田には菜の花･レンゲソウ･タンポポ　春爛漫の花街道

1.2.　佐用へのへの播磨路　花街道【2】 加西から中国道に沿って新緑と桜の山崎断層の中を山崎・佐用へ

両側を山で挟まれた狭い山崎断層の中　福崎から山崎への道はまさに桜の回廊

1.3.　佐用へのへの播磨路　花街道【3】

山崎からは山深い峠道　宍粟(山崎)と佐用を隔てる切窓峠を越えて佐用へ

2.　千種川が流れ下る古代たたらの郷　佐用の桜

2. 1.　西播磨一一本桜　満開の古代たたらの里 漆野 光福寺の大糸桜

2. 2.　姫新線の列車が走る志文川 の花堤　旧三日月久保大橋

2. 1.　西播磨一一本桜　満開の古代たたらの里 漆野 光福寺の大糸桜　2017. 4. 12

◆ 2017年の一本桜　佐用 漆野　播磨一本堂(光福寺)の大糸桜

一本桜には 人・里それぞれに 思いがある　2017.4.12.　佐用町漆野

古代のたたらの里に咲く一本桜
佐用漆野　播磨一本堂(光福寺)の大糸桜

2017. 4. 12.　佐用町漆野

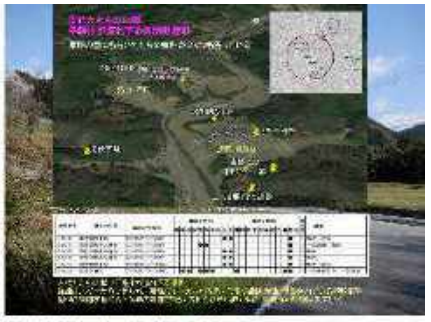
古代から開けたたたらの山郷 宍粟と佐用を結ぶ県道53号の街道筋。下三河のT字路から、北の千種から南へ三河谷を流れ下る千種川沿いへ少し入った漆野。その本村地区にある光福寺は1695年に再建された時に1本のケヤキから建てられたため、近隣の人たちから「播磨一本堂」と呼ばれるようになった。

この再建を記念して境内に植えられた枝垂れ桜は、樹齢300年、根回り8m、高さ13mで、毎年春になると、枝一杯に糸を垂らしたような花姿で、鐘楼を包み込むように花を咲かせる。その姿は華麗　幻想的で「播磨一本堂の大糸桜」と呼ばれる西播磨一の一本桜となった。特に垂れ下がった枝の長さがひときわ美しい。

千種川が流れ下るこの漆野周辺は古代のたたら製鉄地帯で、早くから開けた街道筋。春になると漆野集落で満開の花をつけ、華麗な姿を見せる糸桜はこの街道筋・漆野集落のシンボルであり、誰言うとなく「播磨一本堂の大糸桜」と呼ばれ、親しまれ、　今もこのたたらの山里・街道筋のシンボルとして守り継がれている一本桜。

毎年春 鐘野山郷佐用を訪ねるうちに、この糸桜の美しい姿に出会い、春佐用を訪ねる楽しみの一つとなりました。もっとも　カタクリと漆野の大糸桜が満開の花をつける時期が異なり、両方を一気に見られることは少ないのですが、今年は満開の素晴らしい大糸桜の姿を見ることができました。

また　この千種川が流れ下る街道筋はたたらの山郷と言いながら、漆野の里の具体的なたたら跡などの位置を知りませんでしたが、千種川を挟む本村地区・段地区いずれにも古いたたら跡の痕跡があること知ったのも収穫。



満開を迎えた光福寺の糸桜が咲く古代たたらの里佐用添野の位置とたたら跡遺跡図

2. 2.　姫新線の列車が走る志文川 の花堤　旧三日月久保大橋

3.　春の妖精　　佐用旧三日月町　弦谷のカタクリ　　冷たい風に立ち向かって、身を震わす

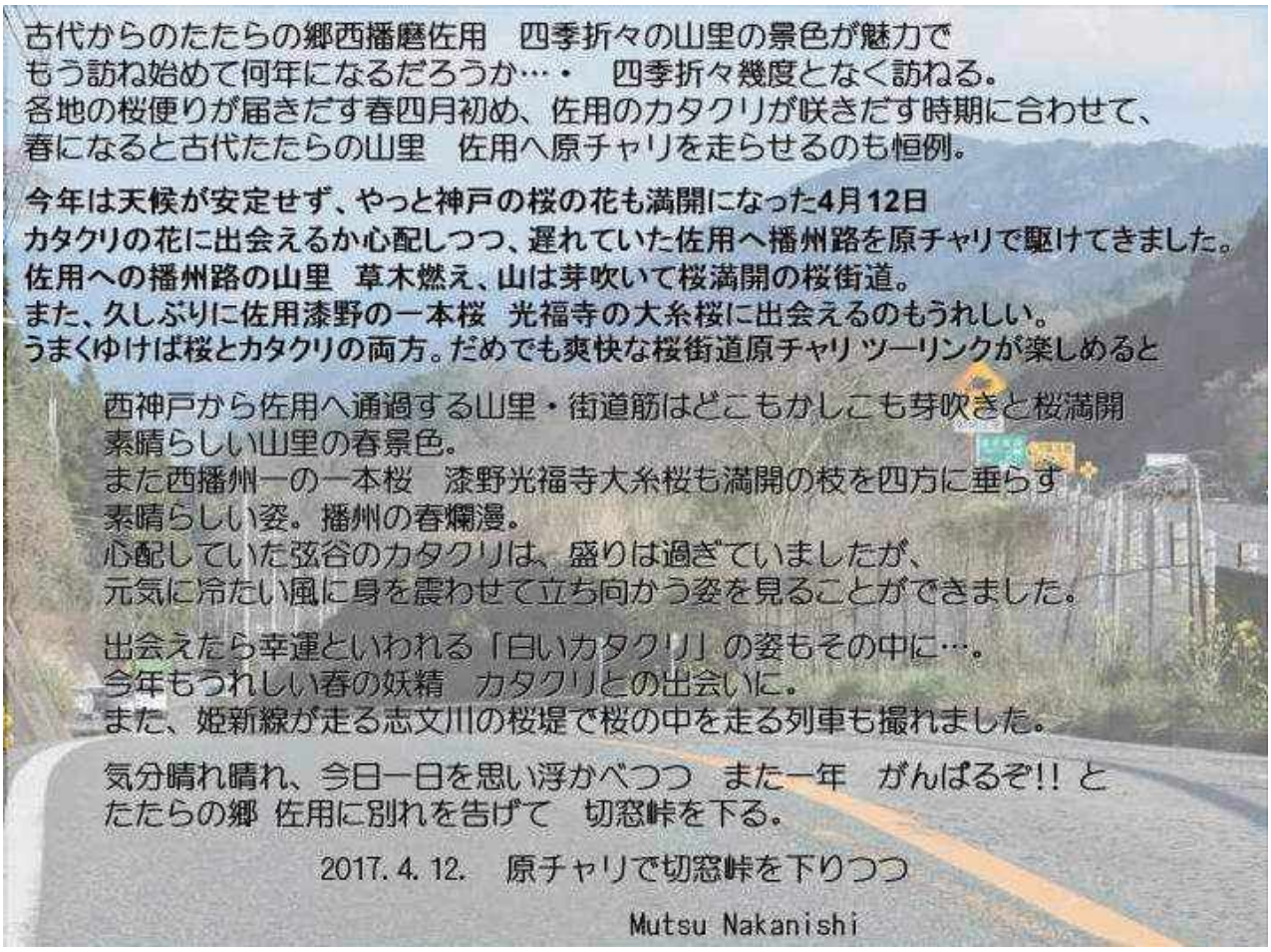
愛らしい春の妖精「カタクリの花」
花言葉は「初恋」・「寂しさに耐える」
陽が陰り始めた山の斜面でまだ冷たい風に立ち向かって身をふるわせる
私の一番好きな花の一つ　今年も出会えてよかった

出かけるのが遅かったので、心配でしたがカタクリの花に出会えてよかった。
誰もいないカタクリの群生地で　風に身を震わせる姿の動画も撮れました。
それに、出会えたら幸運といわれる「白いカタクリ」の姿もその中に…
今年もうれしい春の妖精カタクリとの出会いでした。

白いカタクリ

でも　春の妖精カタクリの花　来年はもう少し早くやってこねば…・・と

4. walk を振り返って　2017 年 西播磨佐用へ播磨路原チャリ walk



2017 walk
07

【スライド動画】

2017 年春　ミツバツツジが彩る　西六甲縦走路を歩く　2017.4.19.

ミツバツツジが岩尾根を彩る須磨アルプス　馬の背

久しぶりに栂尾山階段を登って　栂尾山・横尾山から馬の背から東山

須磨アルプス　六甲全山縦走路に咲くミツバツツジ

春の息吹きで　日に日に若草色を変えてゆく須磨アルプス

新緑　須磨の春 2017　風薫る 5 月

海も野山も街も新生の息吹　若草色に染まりゆき

草木燃え　吹き来る風が心地よい　元気に外へ飛び出そう!!

私の住む神戸須磨区妙法寺地区は南の海岸線に立ち並ぶ西六甲 須磨アルプスの山並みの北側にあり、四季折々美しい姿をみせ、毎日の散歩コースには事欠かない。なんどもご紹介した山並みですが、この西六甲の縦走路では今ミツバツツジがピンクの花を咲かせています。

毎日変わりゆく新緑の中　須磨の海を見晴らす岩稜の縦走路の岩陰に咲くピンクのミツバツツジの落ち着いた美しさにびっくり。

何度も通う縦走路ですが、満開のミツバツツジが彩る縦走路は記憶になく、デジカメでパチリパチリ。 スライド動画にして楽しんでいます。 家から歩きだして、約３時間ほどの山歩き 須磨の春の一コマを紹介。

横尾山側からの馬の背・東山の縦走路で　横尾山山頂周辺で　東山からの馬の背・横尾山の縦走路

須磨アルプスの縦走路に咲くミツバツツジ　2017. 4. 19.

《 須磨アルプスの縦走路を飾るミツバツツジ　2017.4.19. 》

《　ミツバツツジが岩尾根を彩る須磨アルプス　馬の背 walk　2017.4.19.　》

久しぶりに栂尾山階段を登って　栂尾山・横尾山から馬の背から東山へ

春の野山の「ミツバツツジ」　花言葉は　節制・平和など。 六甲の春を代表する花　最近は少なくなりましたが、やせた尾根や岩場、里山の雑木林などで、春美しい紅紫色の花を咲かせる。子供の頃　仁川・逆瀬川や奥池などの六甲ハイキングで見かけた美しい光景が記憶にある。今 芽吹きを迎えた須磨の里山のあちこちでもピンクの花を咲かせています。

すぐ隣の若草山の岩崖にもピンクのミツバツツジが　美しく咲きだし、毎日見る須磨アルプスも芽吹いて　山体を日に日に若草色に変え、真っ青な空に 心地よい春の風に乗って鳥たちの声　元気な新一年生たちの列が春の草花に彩られた街角を通り過ぎてゆく。５月　新生の息吹に触れて　心もリフレッシュ。

須磨の春　六甲の縦走路の春を代表するピンクのミツバツツジ　ふと須磨アルプスのミツバツツジに出会いたくなって、　午後のWalkは 久しぶりに栂尾山の直登階段を登って　須磨アルプス　馬の背の縦走路を歩くことに。

2017.4.19. 晴天の午後　ポケットにペットボトルを入れて歩き出す。

● 横尾道から栂尾山登り口の栂尾山直登階段へ
栂尾階段を登って栂尾山から東へ横尾山・馬の背を目指す

栂尾山への直登階段がある多井畑池の奥上のＴ字路　東の横尾道北 多井畑 南 須磨離宮へのＴ字路

ミツバツツジは花崗岩質の六甲連山の春を代表する花。でも、山に入るとどこでもこの時期見られるので、今まで気にしたことなく、この須磨アルプスの全山縦走路についても、咲き誇るミツバツツジの記憶はない。
昨春　但馬の山道で見たミツバツツジがきれいで、強く印象に残り、ミツバツツジが咲く時節になって、子供の頃の記憶もあり、「今年は是非 どこか六甲で　登山道に咲くミツバツツジに出会い、しっかり記録したいなぁ。」と。
その手始めみたいな感じの須磨アルプス散策である。

横尾山に沿って山裾を西へ　横尾道を歩く(1)　横尾山直下　野路菊の丘の下で　2017.4.19.

妙法寺駅から南へ団地を抜けて　横尾山の山裾に沿って横尾道を西へ　　栂尾山への直登階段がある多井畑池の奥上のＴ字路へ向かう。横尾山の頂上をながめながらのwalk。
横尾山はどこからでも登れそうなのですが、見上げる頂上への枝尾根の崩壊が激しく、西六甲の全山縦走路以外には、ハイキングコース程度だと思って迷い込むと厳しい。啓明学園の横の横尾道からは　まっすぐ野路菊の丘から岩尾根を横尾山へ登る比較的はっきりしたルートがあるのですが、今日は横尾山のもう一つ南の栂尾山の登り口 直登階段から西六甲全山縦走路に入り、栂尾山から横尾山・馬の背を縦走して、また 横尾道・妙法寺駅に降りる。 啓明学園の生徒たちが、新緑の山裾を一斉にランニングに駆けてゆく。若い人たちの元気な姿に出会えるとうれしくなる。
すぐ高倉台の角　栂尾山の直登階段の登り口だ。

横尾山に沿って山裾を西へ　横尾道を歩く(2)　前方左に栂尾山が見えてくるとすぐ　栂尾山登り口の鉄階段　2017.4.19.

西側旗振り山・おらが山を下って高倉台の住宅口を抜けてきた西六甲全山縦走路が、この県道 53 号線を渡たったところが、きつい栂尾山への階段登り口。山腹に約 400 段のコンクリート階段が栂尾山の稜線へ一直線。
振り返ると須磨の市街地・海・須磨海岸に落ちる六甲の山並みが一望できる。
また、階段の上から、林の中を抜けるとすぐ、栂尾山の山頂で、　眼下には西六甲西端の鉢伏・旗振り山をバックに須磨高倉台の住宅地そして広く神戸の市街地から明石海峡・淡路島そして播磨灘　の西神戸の展望が開ける。

栂尾山の山頂から眺めた南側の眺望　東に神戸市街地から西の明石海峡・淡路島までの海岸線が見渡せる　2017.4.19.
眼下には須磨高倉台の団地が広がり、この栂尾山から西に連なる鉄拐山・旗振り山の縦走路の西端の山が見える

六甲全山縦走路　栂尾山の登り口　栂尾山直登階段　2017.4.19.
山腹に約400段のコンクリート階段が栂尾山の稜線へ一直線。　振り返ると須磨の市街地・海・須磨海岸に落ちる六甲の山並みが一望できる。

●　横尾山-横尾山/馬の背のコル(西六甲越の峠)-馬の背へ

横尾山側からの馬の背・東山の縦走路で　　横尾山山頂周辺で　　東山からの馬の背・横尾山の縦走路
須磨アルプスの縦走路に咲くミツバツツジ　　2017. 4. 19.

樹林の中を抜けると岩尾根の縦走路　中央に馬の背が見える　2017.4.19.

岩稜　横尾山から馬の背　の縦走路に咲くミツバツツジ　　横尾山の鞍部の峠への降り路で

馬の背の狭い縦走路から切れ落ちた両側の谷の岩壁にはいっぱいミツバつつじがさいていました

馬の背側から　横尾山のきつい岩稜縦走路

馬の背　切れ落ちた谷にミツバツツジの花

馬の背から東山への岩稜の縦走路

馬の背　縦走路からから東山を眺める

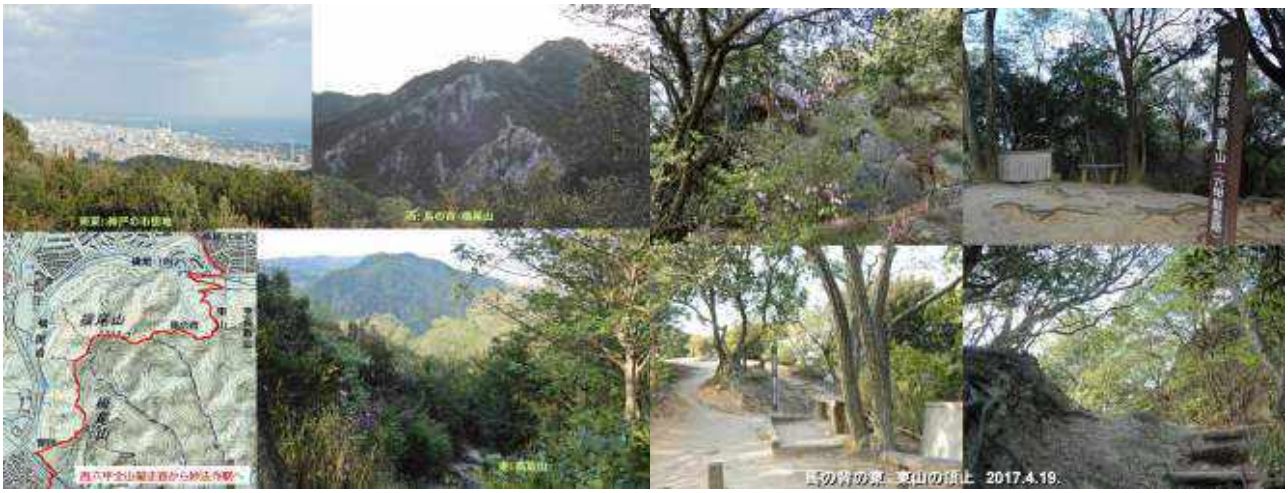
馬の背

馬の背　縦走路から西の横尾山を眺める

馬の背を渡り終えて　ふぅ～と一息　横尾山からの厳しい稜線を振り返る
馬の背の岩稜の西六甲縦走路が須磨アルプスと呼ばれるにふさわしい

馬の背を渡り切り、振り返って　馬の背から横尾山に延びる縦走路を眺める

馬の背を過ぎるとさらに西へ樹間を下って東山の鞍部へ　再度登り返して、東山へ



東山山頂は樹木に囲まれた小さな広場　樹間の間からは四方が見渡せる

東山は東の高取山に向かう六甲全山縦走路と北の横尾道・妙法寺　南の板宿方面への分岐点。

陽が長くなりましたが、午後５時近くになり、ここから北の横尾道・妙法寺駅へ一機に下る。

● 東山　須磨アルプスの縦走路を歩き、また横尾道・須磨駅へ戻る

東山からは南から西へ　須磨海岸から横尾山の山並み　北から東へ　横尾・名谷の団地群そして　東の遠には高取山が見える
いつも眺める須磨アルプスを反対側から眺める　2017.4.19.

東山より南西側の眺望　西六甲西端に連なる山々が一望　2017.4.19.

東山より北東側の眺望　須磨アルプスの北に広がるニュータウン・
右端に高取山　遠く奥に丹生山の山並みが見えている　2017.4.19.

眼下に横尾団地を見下ろし、奥に山陽バイパス沿いの妙法寺東地区から鴨台を遠望

いつも眺める須磨アルプスを反対に北の横尾・妙法寺方面を一望　若草山から鴨台　そして　自宅も正面に

須磨アルプス　　横尾山から馬の背への縦走路　荒々し岩稜に咲くミツバツツジツツジ　　2017.4.19.

17:30　妙法寺横尾道　須磨アルプス登山口に降りる　2017.4.19.

須磨アルプスの縦走路に　こんなに多くのミツバツツジが咲いているなんて!!　初めて気が付きました。
いつもの思い付きで歩いたのですが、一番きれいな時に歩けたようだ。
うれしいミツバツツジの縦走路。
それも子供の頃の記憶につながる岩稜に咲くミツバツツジの春景色。
本当にラッキー!!
爽快感いっぱいで横尾道に出てきました。
ほんの午後のひと時　須磨アルプス walk の魅力です。

2017.4.19.　17:30　夕刻
妙法寺横尾道　須磨アルプス登山口で　　Mutsu Nakanishi

2017 walk
08

2017 ひまわりの夏

恒例の夏迎え　播磨のひまわり畑を訪ねる　2017.7.19.　& 7.20.

1. 東播磨の田園地帯にある小野市浄谷　ひまわりの丘　2017.7.19.

2. 西播磨千種川が流れ下る山郷　佐用町旧南光のひまわり畑 . 2017.7.20.

- たたらの里　漆野段集落のひまわり畑
- ひまわり祭のメイン会場　林崎のひまわり畑

空は真っ青な夏の空に入道雲　一面　青々と成長した田園の畔では吹きわたる夏の風邪に山田錦の旗がはためいている。　ひまわりの夏 2017 の到来。今年も西神戸の田園から中国山地の山裾を抜けて　西播磨佐用のひまわり畑へ　原チャリで駆けて、元気なひまわりの笑顔に出会ってきました。
毎年恒例のひまわりの夏　　東播磨の小野のひまわりの丘　そして　西播磨佐用のひまわり畑の元気なひまわりの笑顔をお届けします。

1. 東播磨の田園地帯にある小野市浄谷　ひまわりの丘　　2017.7.19.

東播磨　小野市浄谷　ひまわりの丘で　　2017.7.19.

2. 西播磨千種川が流れ下る山郷　佐用町旧南光のひまわり畑 . 2017.7.20.

- たたらの里　漆野段集落のひまわり畑
- ひまわり祭のメイン会場　林崎のひまわり畑

千種川に沿って南へ　旧南光　下野の赤い高速道路の高架橋をくぐって
古代たたらの里　漆野へ　旧南光　下野で　2017. 7. 20

古代たたらの里　西播磨佐用旧南光　漆野段集落のひまわり畑　2017. 7. 20
東奥より西へ広がる谷筋の段々畑にあるひまわり畑
左右の山裾に古代たたらの痕跡が残っているという

千種川に沿う街道から眺めた旧南光　漆野段集落のひまわり畑　2017.7.20

古代たたらの里　西播磨佐用旧南光　漆野段集落のひまわり畑で　2017. 7. 20

春には大糸桜が咲く漆野本村の対岸の東の丘にある漆野段集落
川に沿って集落内を南に抜けるとひまわり畑が広がる谷筋に

古代たたらの里に咲くひまわり
西播磨佐用旧南光　塚野段集落のひまわり畑で　2017. 7. 20.

古代たたらの里に咲くひまわり
西播磨佐用旧南光　塚野段集落のひまわり畑で　2017. 7. 20.

古代たちの里に咲くひまわり
西播磨佐用旧南光　家野段集落のひまわり畑で　2017. 7. 20.

西播磨佐用旧南光　家野段集落を南の栗徳久・林崎へ流れ下る千種川2017. 7. 20.

西播磨 千種川が流れ下るたたらの里　2017.7.20.
佐用町旧南光のひまわり畑(漆野・林崎)を訪ねる
2. 林崎のひまわり畑
ひまわりの夏
2017
漆畑 光福寺大糸桜
漆野段道跡
2017漆野のひまわり畑
漆野たたら跡
千種川
志文川
千種川
林崎ひまわり畑
西播磨 佐用徳久　旧南光 林崎のひまわり畑　2017. 7. 20.
毎年のこの光景　今年も多くの元気なひまわりに出会えました

西播磨 佐用徳久　旧南光 林崎のひまわり畑　2017. 7. 20.
毎年のこの光景　今年も多くの元気なひまわりに出会えました

西播磨 佐用徳久　旧南光 林崎のひまわり畑　2017. 7. 20.
毎年のこの光景　今年も多くの元気なひまわりに出会えました

西播磨 佐用徳久　旧南光 林崎のひまわり畑　2017. 7. 20.
毎年のこの光景　今年も多くの元気なひまわりに出会えました

2017ひまわりの夏　林崎のひまわり畑で　2017.7.20.

2017ひまわりの夏　林崎のひまわり畑で　2017.7.20.

2017ひまわりの夏　林崎のひまわり畑で　2017.7.20.

2017ひまわりの夏　林崎のひまわり畑で　2017.7.20.

こんなひまわりにも出逢えました
ゴッホのヒマワリ

2017ひまわりの夏　林崎のひまわり畑　遠望　2017. 7. 20.

2017　ひまわりの夏 到来　無理せず 元気に

ギラギラと照りつける太陽　真っ青な空にモクモクと入道雲
毎日頭や肌を刺す酷暑にも一斉に太陽を見つめる黄色い元気な顔
今年も元気をもらったひまわり　沢山の笑顔に出会えました．

今年も西湖県 加古川中流域の広大な田園地帯 小野市浄谷 ひまわりの丘
& 西脇市 千相川が流れ下るたたらの里
佐用町 白菊光のひまわり畑（遠望・林崎）を訪ねてきました。

黄色いまん丸の顔が並び立ち、
一斉にこちら春向いて「よぅ!」と。
今年も元気なひまわりに出会えました

2017. 盛夏　Mutsu Nakanishi

小野市ひまわりの丘で　2017.7.19.

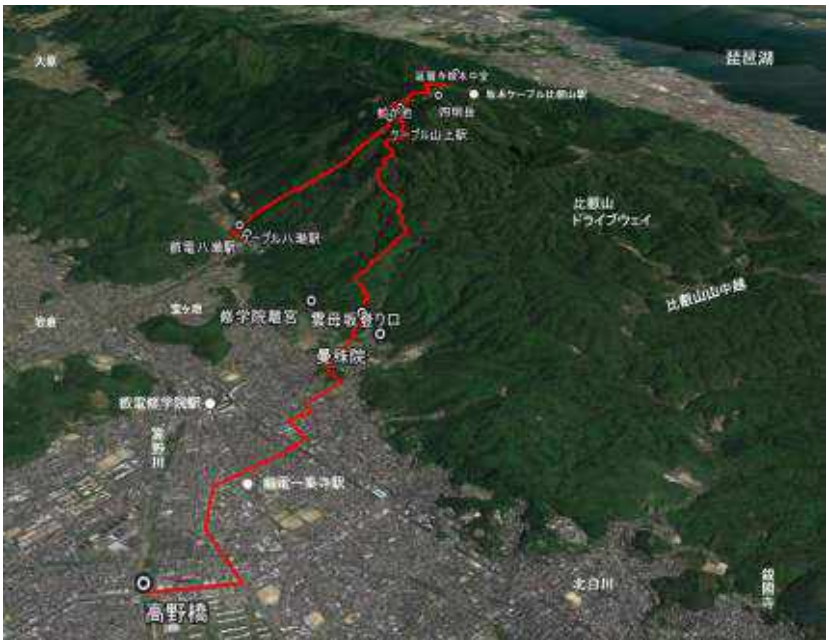
2017 walk
09

新緑の京都「比叡・雲母坂 walk」 － 雲母坂 ＆ 八瀬ケーブル － 2017.5.2.

京都から琵琶湖への比叡越古道　雲母坂を登って 比叡山 延暦寺へ

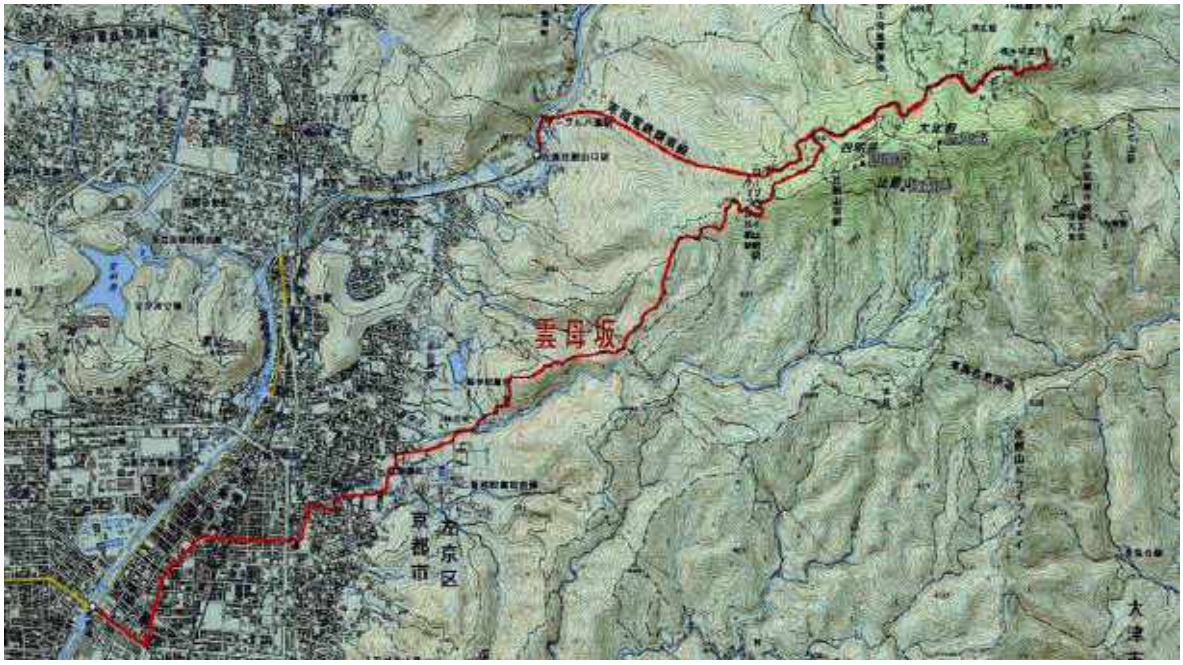
久しぶりに比叡山への古道「雲母坂」を登ってきました。
５月比叡山直下の八瀬霊園にお参りに出かけることで、話していると家内が「もう何十年乗っていない八瀬ケーブルに乗りたい」という。また、２０１３年２月に登った雲母坂から比叡四明ヶ岳。「阪本ケーブルも八瀬ケーブルも休止中で　雪でツルツルの雲母坂を降りたのが強烈な印象で、あの雪で埋まっていた雲母坂　雪のないときはどうなのか登ってみたい」という。京都人は八瀬ケーブルというと　蛇が池冬のスキー場・夏のお化け屋敷と誰もが知っているのですが、異口同音に「最近は出かけたことがないなぁ」という。

よう　おぼえているなぁ・・と驚きつつ、
「じゃぁ　今回　雲母坂登って、延暦寺まで行って、帰りは八瀬ケーブルで降りよう」と



久しぶりに修学院離宮横からの古道 雲母坂を登って、比叡山へ。そして　帰りは八瀬ケーブル。新緑が心地よい比叡山。
晴天に恵まれた比叡山上延暦寺の山間には新緑に包まれて、見ごろを迎えた石楠花が至る所に咲いて、
心地よい緑の空間散歩を楽しんで帰ってきました。

1. 雲母坂から比叡山へ　高野橋から雲母坂　登り口へ



雲母坂は琵琶湖と都を最短距離で結ぶ比叡越の主要古道である。かつては延暦寺の僧兵たちがこの雲母坂を神輿を担いで　駆け下りてきたといい、学生時代から　何度も登ったよく知る道　でも　雲母坂の登りはきつかった・・・・・と記憶する。また、八瀬ケーブルはひっそりと比叡山へ登ってゆくマイナーなケーブルと思っていましたが、高低差が日本一の561m。平均勾配は 1/40 と急勾配のケーブルカーだという。

スタートは高野川の北大路高野橋。　ここから東北へ高野・一乗寺の集落を抜けて　比叡山の山裾修学院離宮の南縁の雲母坂登り口から雲母坂を登って、八瀬ケーブルの比叡山頂上駅でもある四明岳蛇が池に出て、比叡山延暦寺へ。帰りは、八瀬ケーブル駅から八瀬へれケーブルで降りて、叡電で帰る。

高野橋から眺める雲母坂のルート　　2017.5.2.　右端の住宅のすぐ上の尾根筋が雲母坂からのルート

5.2.朝快晴　8:20 高野橋からスタート。　高野川の向こうに左右バランスがよく取れた稜線がゆったりと長く引いた比叡山四明嶽が美しい姿を見せている。　これから登る雲母坂のルートが真正面に見え、四明嶽の頂上の電波塔もくっきり。今日は特に琵琶湖側へ降りる予定がないので、のんびり雲母坂を登ろう。

まずは、斜めに、高野・一乗寺の街を抜け、東山山麓沿いを南北に銀閣寺から岩倉へ延びる白川通の曼殊院道に出る。

曼殊院への坂道を登って、そこから北側の谷川沿いへ降りれば、修学院離宮の南側の端　雲母坂の登り口である。

曼殊院道の坂道を東山の坂道を登ると京都市街地とは別世界　京都の田舎。振り向くと西山の山並み・愛宕山が市街地の向こうに見え、知らず知らずのうちに随分東山の山裾を登ってきたと。

この坂道を登り切ると、北の雲母坂へ降りる坂道の案内板、小さな森の向こうに谷川が見える。林の中を下って谷筋に降りるともうそこは緑に包まれて、東山から谷川が流れ下る静かな別世界。雲母坂の登山口。

谷川沿いの東に橋が見え、この橋を渡れば、雲母坂の登り口。　高野橋から約３０分ほどで到着。

曼殊院道から東山の山麓へ　雲母坂への道をたどる　　2017.5.2.

雲母坂　比叡山登り口　2017.5.2.　　9:12

橋の袂に　雲母坂の案内板が建つ雲母坂の登り口　2017.5.2.

2. 雲母坂を登って　比叡山 四明嶽・蛇が池へ

雲母坂の登り口に入ると修学院離宮の塀に沿って、いきなりきつい登り道。　ここから　四明岳の蛇が池まで　緑に包まれた林の中　樹木の間から時折覗ける市街地や周辺の山並みを除いて約１時間　視界の開けぬ尾根筋の登り道が曲がりくねりながら上へ上へと続く。

最も５月の新緑に日差しが差し込み心地よい山道。また、きつい崖路を登り切り、尾根筋に出ると前方見上げる道の際には 時折　長い年月を生き抜いてきたことを示すかのごとく　こぶだらけの堂々とした巨樹が現れ迎えてくれる。

　本体からは周囲に幾つもの立派な幹を思い切り広げている。

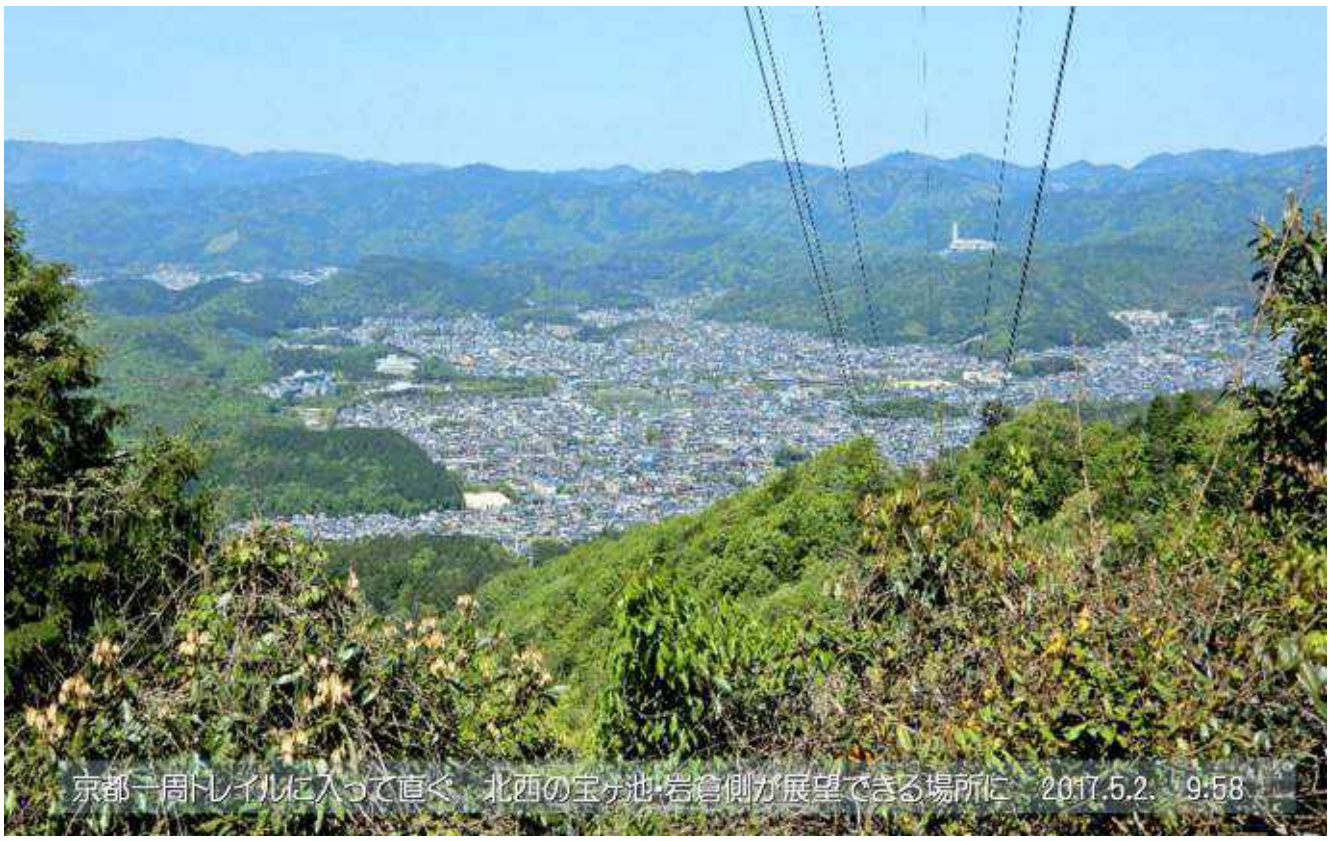
「雲母坂にこんなにいっぱい古木が今も残っていたのか」とうれしくなる。

比叡山雲母坂　2017.5.2.

花崗岩質の岩肌が露出した坂道　雲母坂　花崗岩の中に含まれる雲母が日差しにキラキラと光ったことから雲母坂と名付けられたと聞く。　また　この比叡山・東山一帯には鉄鉱石があり、古代の製鉄地帯でもあり、この雲母坂は古代和鉄の道でもあった。（　花崗岩には雲母とともに鉄が班として含まれることも多く、砂鉄が取れるのですが、この雲

母坂周辺で砂鉄を見たことはなし。）

尾根筋のこぶを一つ越えたところで、修学院離宮の囲い網とは別れ、ちょつと楽になったさらに尾根筋を行く



四辻を過ぎて、京都トレイル・尾根道を四明岳へ向かう古道の道際には　古木がいくつも　２０１７．5.2.

相変わらず　林の中　登りが続くが　樹木の重なりが減って　空が明るくなってきて、四明岳・蛇が池も近いが、まもなく、樹間が途切れ、今度は南西側の京都市街地がふいに現れた。

南西側　京都の市街地【1】2017. 5. 2.
小塩山から嵐山の山並みを背に　京都の市街地が広がり、右端に双ヶ岡が見え、
中央　鴨川の高野川・鴨川の合流点　御所・下鴨神社　右下に京都工繊大

南西側　京都の市街地【2】西側　2017. 5. 2.
鷹山から愛宕山の山並みを背後に　衣笠山・左大文字山から連なる西山の山並
中央には松ヶ崎・玉ヶ池の山がどっしりと座り、京都洛北の市街地が眺められる
中央を南北に流れる鴨川の緑の帯　その手前中央　府立植物園も見えている

比叡へと続く新緑の雲母坂がこんなに心地よいとは・・・・今回初めて認識しました　2017.5.2.

家内と２月に以前歩いた時には　このあたりの坂道から寒い雪道に。滑らぬよう歩いたのとは大違いです

林の樹木が一気に杉林となり、林を登りきると四明岳の頂上部　ケーブル駅横の電波塔のある展望広場に

展望広場を抜けて少し登ると　四明岳からまっすぐ下へ広がる草地の傾斜地　旧蛇が池スキー場跡到着

かつては大いににぎわった京都の蛇が池スキー場ですが、ハイカーが数人見えるだけで静まり返り、
この上をすぐ上の四明岳頂上への短いロープウエイがすぐ下のケーブル駅から伸びている

2013.2.23.　蛇が池スキー場へ来た時の様子

時刻は　まだ　昼前の１１時半　　雲母坂の登り口から約２時間ほどで蛇が池到着。予定はハ瀬ケーブルに乗って降りることだけ。家内は延暦寺根本中堂の中に入ったことがないので、１２００年灯し続けられてきた「不滅の法灯」も見たことないという。　四明岳へ行っても何もないので、昼を済ませて　そのまま延暦寺まで行って、引き返して　ケーブルでハ瀬へ降りることに。

　京都市街からもよくみえる四明岳の北の肩　つつじ丘まで行って昼食に。スキー場から北へトラバースして、四明岳の山腹を北に巻いた突端の展望台である。

3. 延暦寺 Walk　　延暦寺根本中堂へ　11:59

つつじヶ丘で昼食を済ませ、延暦寺根本中堂へ　11:59

つつじが丘から四明岳の山腹北側を巻く広い遊歩道を少し行くと比叡ドライブウェイが入る山王神社の前に比叡山ドライブウェイを下に見ながら山腹に沿って杉木立の参道を東へ行くと比叡山の泉「弁慶水」。弁慶が山王院

堂にこもって修業をしているときに、 仏に供える水を 1000 日間にわたり汲みに通ったとの言い伝えがある場所で、もうここは延暦寺の境内である 。弁慶水から緩やかな坂道を超えると杉木立の中、丘を切り開いた台地に延暦寺の諸施設の建物が建っているいるのが見えてきて、比叡山延暦寺の中心部に。 法華総持院や阿弥陀堂への広い参道への坂道との分岐のところに大講堂への階段があり、大講堂の台地から根本中堂へ。
大講堂の台地へ登る階段のそばで、石楠花がピンクの大輪の花をつけているのが見え、ラッキーと。
階段を上がると広い台地の奥に大講堂が見え、台地の上 参道沿いにもよく手入れされた石楠花が花を咲かしていました。比叡山に石楠花? そういえば 比叡・比良の山並みは石楠花の宝庫だと思い出しました。比叡山境内でもよく手入れして石楠花が咲いている。

大講堂へ登る階段の横や大講堂のある境内にも石楠花がピンクの花を咲かしていました 2017.5.2.

大講堂でお参りをして境内の奥へ進むと根本中堂へ降りる石段で、その下が根本中堂。 でも 多くの大型機械が囲いがされた根本中堂にとりついているのが見える。今 ちょうど回廊などの回収工事中。中に入れてもらえないかと一瞬思いましたがでも 多くの観光の人たちが詰めかけているのが見え、階段を降りて入口に行くと参拝 ok でした。
根本中堂の中に入り、ご本尊薬師如来にお参りし、世界平和・そして家族に思いをはせながら頭を下げてきました。
ご本尊の前を照らし続けて 1200 年間一度も消えることなく輝き続けている「不滅の法灯」もじっくり見てきました。
やっぱり１２００年の重みはすごい。気分も新らたです。根本中堂では写真が取れないので、根本中堂正面の反対側に立つ文殊堂への急な石段を登って、じっくりと根本中堂を眺める。

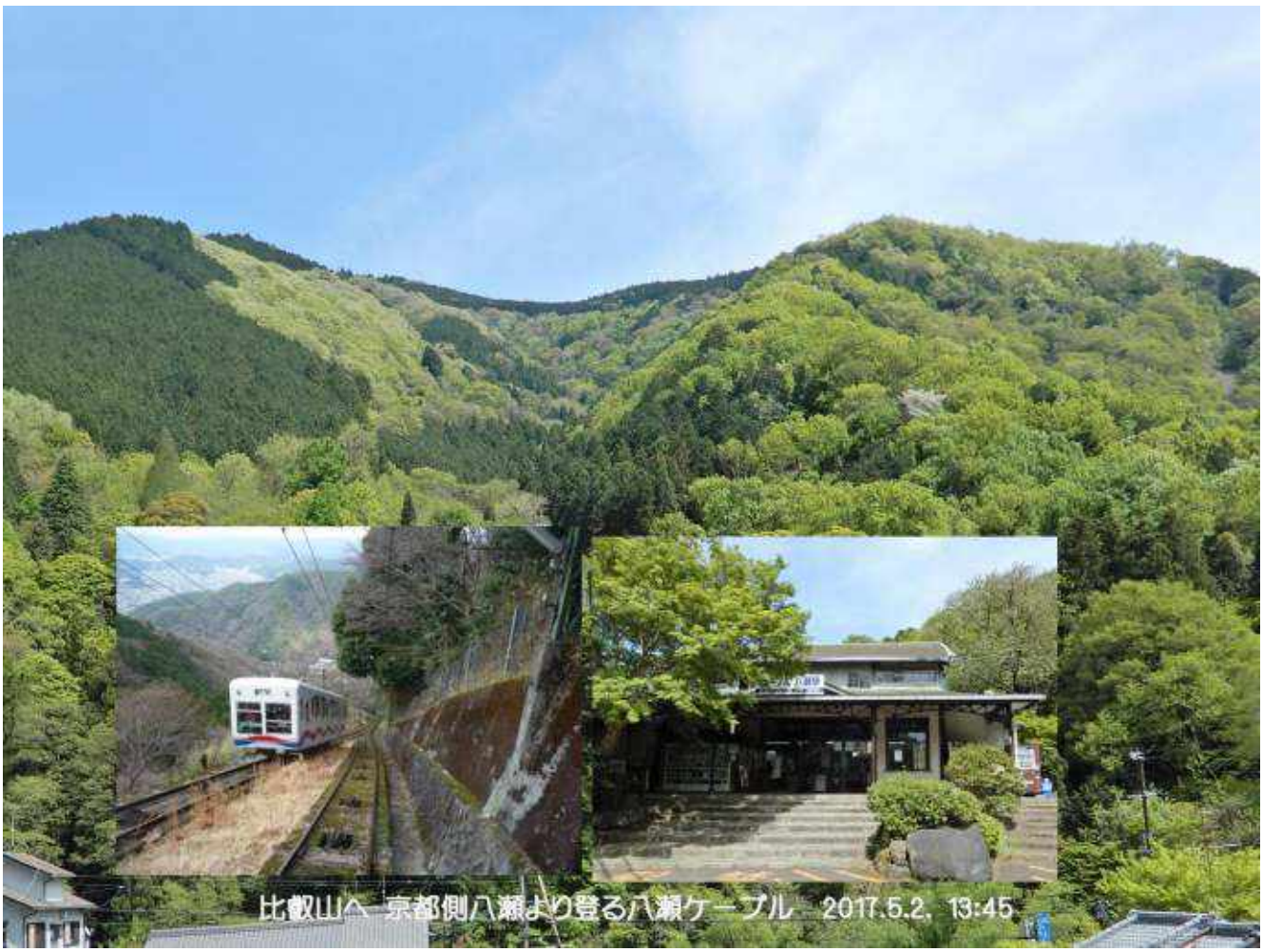
石段の上から、頭を下げるのもどうかですが、今一度根本中堂に頭を下げる。
久しぶりの根本中堂。　杉木立に囲まれ、工事が終われば　また静寂になる。
石段を登った先　石楠花の花の向こうに文殊楼がありました。

この建物は根本中堂　真正面の東側に立っていて、延暦寺の山門デモもあるという。
楼の中にも入れてもらえるということで家内は楼にも登って、たくさん知恵をもらってきたと

文殊楼を下に降りると大黒堂前の広場で　延暦寺の南の端で、南の縁を奥に　根本中堂や琵琶湖側の阪本ケーブルやドライブウエイからとつながっていて、さすがに数多くの人たちが見える。
これで　今日の比叡山延暦寺根本中堂散策も終わり。ここから引き返す。

文殊楼を下に降りると大黒堂前の広場　延暦寺の南の端　　根本中堂の台地の下を北へ戻る　2017.5.2.
道の左手　東側杉木立の間からは　ちょっぴり　琵琶湖が見える

法華総持院や阿弥陀堂への広い参道への坂道との分岐へもどって、　と来た道をぶらぶら散策しながら
つつじが丘へ戻りハ瀬ケーブル駅へ。
ハ瀬ケーブル駅１３時３０分のケーブルで　京都側のハ瀬へ降りる。



いつも八瀬霊園から眺める比叡山。ここをケーブルが登ってゆくのですが、家内は八瀬ケーブルの記憶があまりないという。　念願の八瀬ケーブルにも乗れて大満足。

叡電八瀬駅　2017. 5. 2.
叡電八瀬から修学院駅で降りて下鴨へ

京都側から比叡山walk　　雲母坂 & 八瀬ケーブル　　2017.5.2.

毎年5月のはじめ 比叡山の直下にある八瀬霊園にお参りに出かける。
家内がもう何十年乗っていない八瀬ケーブルに乗りたいという。
京都人は八瀬ケーブルというと冬のスキー場・夏のお化け屋敷と誰もがいうのですが、
最近は出かけたことがないという。
久しぶりに修学院離宮横からの古道 雲母坂を登って、比叡山へ。そして 帰りは八瀬ケーブル。
新緑が心地よい比叡山。 晴天に恵まれた比叡山上延暦寺の山間には 新緑に包まれて、見ごろを
迎えた石楠花が至る所に咲いていました。
心地よい緑の空間散歩を楽しんで帰ってきました。

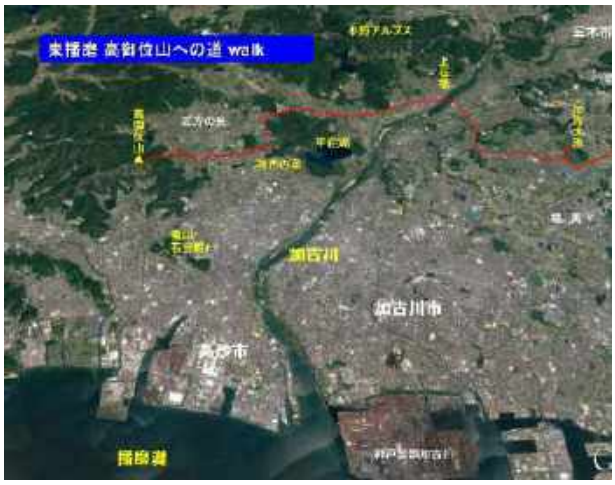
北大路高野橋から眺める比叡山　　2017.5.2.

2017 walk
10

【　５月中旬 西神戸・播磨 Country walk　Photo アルバム　】

梅雨入り前「麦秋」の播州路　播磨富士「高御位山」へ　2017. 5. 17.

麦秋を迎えた加古川市神吉の里から眺める播磨富士「高御位山」　2017.5.17.



５月の連休も過ぎ、西神戸・東播磨の田園では田に水が入り、田植えの準備が急ピッチ。　田園地帯一帯を黄金色一色にする「麦秋」の里も。梅雨入り前･初夏 西神戸の田園の美しい景色が頭によぎって、久しぶりに東播磨の田園から加古川土手へ行きたくなって原チャリを走らしました。
西神戸神出の集落を抜け、稲美に入ると眼前に広がる田園は黄金色一色の「麦秋」。
ビールや麦茶原料となる大麦栽培が盛んになり、田に水を入れる前の大麦収穫の真っ最中。
この収穫が終わらぬと田に水が入らない。
農家は今一番忙しい時期である。
加古の大池の土手に登ると湖面の向こうに播磨富士「御位山」の美しい姿を見せている。
「高御位山へ登って､久しぶりに 頂上から播磨平野の大展望を眺めてみたいなぁ」と。

麦秋の東播磨　稲美の里

〈 播磨富士「高御位山」　高さ 304m 〉

播磨平野の加古川下流域では高い山が少なく、高御位山が加古川市・高砂市の最高峰。
頂上では断崖の岩場がせり出し、播磨平野や瀬戸内海を一望できる。逆に播磨灘・東播磨の田園どこからでも、ながめることができる。
頂上には岩場を磐座としていた高御位神社があり、高御位の名前も神座、磐座から転じたと考えられている。
社伝によると、欽明天皇 10 年(549 年)に創建され、祭神は 大己貴命と少彦名命。天津神の命を受け、国造りのためにこの高御位山の磐座に降臨したとされ、地元の人々に守り継がれてきた信仰の山でもある。

稲美　加古大池越しに眺めた高御位山　2017.5.17.

高御位山を眺めながら加古川の上荘橋を西へ渡って、西へ　志方の里へ入る丘陵地を平荘・志方へ。
姫路への裏街道県道 65 号を走るのも久しぶり。　季節の折々　東播磨の田園地帯を訪ねて走る道である。
志方の里　投松の十字路を南へ折れて　高砂への県道 45 号の飯盛山裾を抜け、大きなため池の縁のバイパスに入ると右手に一面黄金色の麦畑が広がり、その奥に高御位山が再度　きれいな姿を現す。
加古川の西岸に広がる神吉の里で、この奥に高御位山の麓が登山口のある志方成井の集落である。

麦秋真っ盛りの加古川市神吉の里　背後に高御位山が顔を見せる　　2017.5.17.

写真の右端に少し見えている小さな丘が宮山と呼ばれ、神吉城跡・神吉八幡神社のある。神吉の里は知っていましたが，いつも通過。神吉にお城があったというのも初めて知りました。

播磨富士と呼ばれる秀麗な姿の高御位山をバックに眼前に広がる田園は黄金色一色。
まったく知らなかった高御位山山麓「麦秋」の景色。黄金色の麦畑のすぐそばの休耕田では蓮華の花盛り。
こちらも　高御位山がバックに。梅雨前のほんのひととき　ラッキーにもこんな素晴らしい初夏の景色が見られました。

初めてみる高御位山山麓「麦秋」の景色。黄金色の麦畑のすぐそばの休耕田では蓮華の花盛り　2017.5.17.

麦秋の高御位山山麓の田園地帯に広がる麦秋を楽しみながら、田園の中をまっすぐ登山口へ。
登り口のすぐ横の駐車場に原チャリを置いて、頂上からの展望を期待しつつ高御位山の頂上へ。
久しぶりの成井登山口。よく整備された新緑の山腹を約 30 分ほど登れば頂上である。

新緑が美しい志方成井の高御位神社参道登り口からの登山道　頂上の高御位神社への参道でもある
時折　樹木の間から　志方の田園地帯が顔をのぞかせてくれる　2017.5.17.

こんなに良くせいびされていたか? とびっくりするほどよく整備された登山道が頂上まで続く

今は時期ではありませんが、このすぐ横の山腹は笹ユリの群生地
６月の終わりから７月にかけて、花が咲くとこの登山道もハイカーでにぎわう。
登山道はゴツゴツした岩肌むき出しの岩の上になって、まもなく岩盤の上の頂上稜線も近い。でも　まだ　もうひと登り。

岩肌むき出しの急な道をよじ登ると、空がぽっかり空いて　頂上稜線の岩場が見える。
360 度の展望が楽しめる視界が開ける!!　2017.5.17.

高御位山稜線の岩尾根の上にとびだし視界が一機に開ける　　2017.5.17.
山麓からもよく見える頂上部の岩場の崖・広い岩盤の上で　頂上の磐座もすぐ上に

西は姫路　東は神戸須磨海岸まで、播磨の大展望が　眼下に広がる2017.5.17.

播磨灘沿岸の工業地帯遠望　　2017.5.17.

高御位山の山頂部は麓からもよく見える南へ切れ落ちた剥き出しの岩盤の上　　2017.5.17.
眼下直下の高砂市阿弥陀の里　そして遠く播磨灘まで広がる高砂市の街並が遠望
絶好の展望台播磨平野から播磨灘への大パノラマが広がっている。

【西は姫路　東は神戸須磨海岸まで、眼下に広がる播磨の大展望　2017.5.17.】

南西側　家島群島が浮かぶ播磨灘の手前　山並みの向こうに姫路の工業地帯が広がり、広畑の工場群やLNG基地のタンク群が見える

正面の西側　古代からの石切り場　竜山の向こうに高砂市の沿岸

加古川河口の神戸製鋼・加古川

姫路　発電所のLNGタンク群

正面東側　左から右端の河口へ東播磨を流れ下る加古川　霞む淡路島・明石海峡の手前　製鉄所の高炉を中心に加古川の工業地帯

南東側　東播磨の沿岸部　一番端に明石海峡に落ちる西六甲の西端の山並みが見える

東側: 左手に飯盛山その背後に平荘湖　右手に神吉の里が眺められる

志方広尾の里

東播磨の田園を流れ下る加古川の手前　神吉の里

北側: 高御位山の尾根の北側　正面城山の手前に樹木に隠れて志方の里　背後に小野アルプスの連山が見える

《鉄の風景》　高炉遠望　淡路島を背に加古川河口東岸に神戸製鋼加古川　2017.5.17.

やっぱり眼が行く「鉄の風景　-加古川河口神戸製鋼加古川製鉄所-高炉遠望　」2017.5.17.

東西凹型に広がる高御位山の山並み　正面には高砂市阿弥陀の里から播磨灘まで高砂の街一望　2017.5.17.

この高御位山の南周辺は古代からの石切り場　すぐ南には竜山石・石宝殿生石神社で有名な竜山もすぐそこに。

遠く加古川の高炉と古代から続く竜山石の砕石場竜山が１枚のアングルに
頂上稜線　岩盤上の登山道より
2017.5.17.

展望を楽しんだ後、高御位神社が鎮座する山頂へ　見上げる岩山の崖　頂上までひと登り。

高御位の大神が降臨したという磐座がある岩場の崖の後ろに高御位神社の社殿　2017.5.17.

この高御位山頂上岩場一帯は古代祭祀遺跡で　社殿へ登る階段横に案内板がありました。

高御位山古代祭祀遺跡のご案内

高御位山は、古代より山岳崇拝の聖地として、播磨一円の人々の厚い信仰を集め、山上の巨岩は神霊の宿る場として、長い歴史の流れの中で、人々は、報恩反始の心もて、その山容を、仰ぎつつ、今日に至っている。

高御位大神御降臨之座址

神社南側の岩場は、今から約千二百年前の大同２年3月21日に、大国主命が、国造りのためにこの岩場におりてこられたと云う言い伝えがある。

古代祭祀遺跡址

前方の岩場一帯は、仏教が日本に伝わってきた以前の弥生時代から古墳時代にかけての古代人が神をお祭りするための「祭り事」を行った跡であろうと云われている。

祓禊(みそぎ)址

この扇形のくぼみは、古代人が、神にお参りする前に身を清めるための水を溜めるため、岩をくりぬいて作った穴であろうと云われている。

盃状穴(はいじょうけつ)址

この盃のような形をした小さな穴は、古代人が石のようなもので岩肌をこすりながら神に祈りを捧げたときに出来た穴であろうと云われている。

御水(みもひ)址

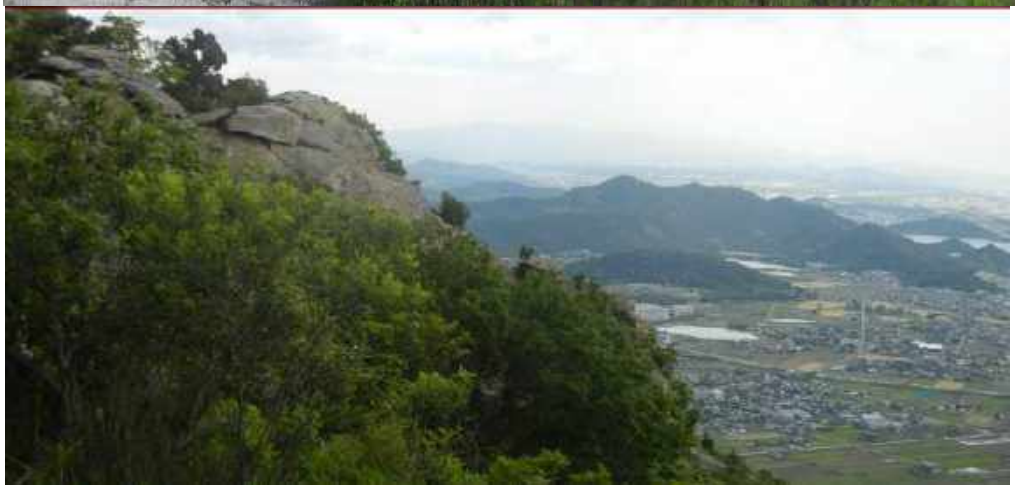
この米粒のような形にくりぬいて作った穴は、古代人が神にお供えする水を溜めるために岩をくりぬいて作った穴であろうと云われている。

平成十六年十二月二十日

頂上の岩場崖　西の奥　高御位の大神が降臨したという磐座

頂上の岩場から登ってきた東のほうを眺める　神吉の黄金色の麦畑も点々と見える　2017.5.17.

頂上の岩場の縁に立ち、崖を見下ろすと垂直に落ち込んでいて、やっぱりすごみがある。
標高は低いが、この高御位山が信仰の山になりえたことがよくわかる。

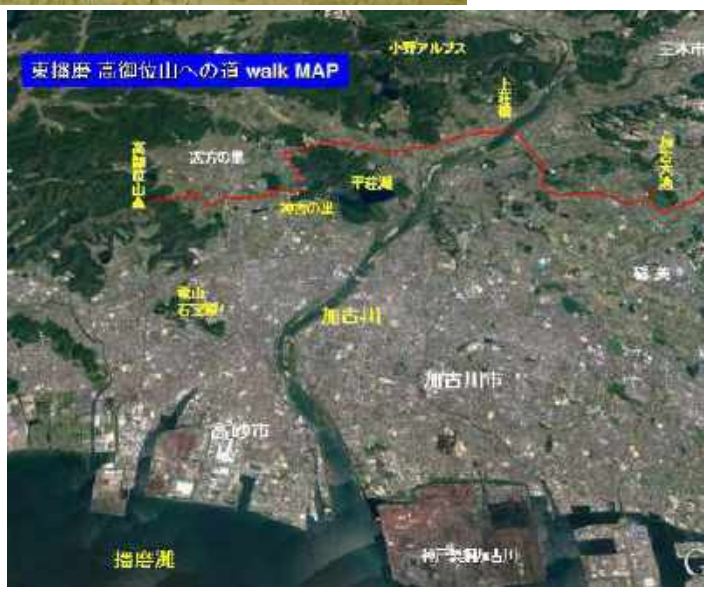


稜線縦走路を少し西へ行って、西から頂上周辺を眺める
2017.5.17.

頂上の崖越しに山の東の登り口側　飯盛山を背に加古川市神吉の里　志方横大路の田園地帯が見える。
今日は縦走しないで　もと来た志方成井の登り口に引き返すので、ここから頂上へ戻る。

頂上の高御位神社を通って縦走路を東へ、北の成井登山口への分岐への岩場の東端へ戻る

　ほどなく、登り口の麓の田園地帯がかいま見えるようになり、志方成井の里の登り口にもとってきました。
いつもの気まぐれ風来坊の原チャリを走らせての東播磨の田園 walk。
爽快感いっぱいで「麦秋」の神吉の里を抜けて家路へ。振り返ると秀麗な高御位山がが帰りを見送ってくれる。



東播磨　麦秋の播磨富士「高御位山」walk。
いつもの気まぐれ　風来坊 行き当たりばったりの walk でしたが、梅雨入り前の素晴らしい東播磨田園の景色に出会えました。

◎　訪れた高御位神社参道登り口近くの神吉の里でも「麦秋」真っ盛り。
播磨富士と呼ばれる秀麗な姿の高御位山をバックに眼前に広がる田園は黄金色一色。まったく知らなかった高御位山山麓「麦秋」。思わずラッキーと。

◎　久しぶりに登った新緑の登山道が見違えるようによく整備されていてびっくり。また、登り口から１時間弱で登った頂上からの東播磨の田園地帯から播磨灘沿岸の大展望も期待にたがわず。

◎　また、やっぱり探す「鉄の風景」。久しぶりに高炉の風景に出会えたのもうれしい。
それも　播磨灘にぼんやり浮かぶ淡路島の山々を背景に　高炉を中心とした製鉄所が霞の中に浮かぶ素晴らしい景色でした。

播磨富士「高御位山」を背に麦秋を迎えた山麓の神吉・志方の里　2017.5.17.

やっぱり眼が行く「鉄の風景　-加古川河口神戸製鋼加古川製鉄所-高炉遠望　」
高御位山山頂からの 360 度の眺望 2017.5.17.

無理せず元気に!!　これからの梅雨を乗り切りましょう

いつもの気まぐれ風来坊の原チャリ walk。
梅雨入り前の初夏　「東播磨田園の麦秋」の新しいページが加わったと。
「今日は早く帰って ぐいとビールを飲みたい」と思い浮かべつつ、麦秋の高御位山山麓を離れる。
梅雨入り前の気まぐれな天候の 2017.5.17.午後
麦秋の東播磨田園地帯を走り抜けながら

Mutsu Nakanishi

2017 walk
11

西六甲縦走路「鉄拐山」山頂からの展望 walk　　2017. 5.7. &　6.5.

西六甲縦走路 須磨の　の「鉄拐山」の頂上が切り開かれている ！
須磨の西六甲全山縦走路に新しい魅力　生

６月５日　今日は久しぶりによく澄み渡り　自宅からも大阪湾が見えている。
快晴の日でも、地　温暖化が進行する中 PM2.5　　の影響か？　西六甲の縦走路から大阪湾や明石海峡などが、くっきり遠望できる日は少ない。今日は新たに切り開かれた鉄拐山山頂から六甲の山並や大阪湾そして明石海峡をカメラに収められる絶好のチャンス。早速　デジカメぶらさげて　西六甲 鉄拐山山頂へ。
予想通り　今まで かすんでくっきりとは見えなかった神戸市街地から大阪湾のパノラマがくっきり眼前に広がる。また、重なり合ってはっきりしなかった六甲全山縦走路の山並み・神戸三宮の市街地　そして大阪湾をグルリと取り囲む生　　山から二上山・　城山・金　山そして和泉から和歌山の山々。そして　淡海峡・淡路島も。
目を西から北に転じると　明石海峡・明石大橋から播磨の工業地帯から播磨の田園その背後の山々も。
この鉄拐山はさえぎるものもなく、六甲から神戸大阪湾全体が一度に眺められる西六甲一の展望地。
これからの縦走路 walk にまた一つ楽しみが　えましたので、ご紹介。

〈六甲連山の山並み〉

西六甲縦走路の西端 須磨・高倉台　高倉山から旗振り山・鉢伏山へ　狭い稜線の尾根をたどる道。視界は開けないが、群生するウバメガシのトンネルを抜けて旗振り山に至る心地よい私の散策路の一つです。
西六甲の縦走路は部分的に大阪湾沿岸を眺められるところはあるのですが、山の尾根などの重なりなどで、六甲の山並み・神戸の市街地・大阪湾　全部がそろった大パノラマを眺められるが場所がなく、西六甲の縦走路の展望に何か物足りなさを感じていました。
そんなこともあって、すぐ下に須磨の裏が広がる須磨沿岸の山並みの稜線を歩くこの道の途中どこかで、南の視界が開ければ、大阪湾全体を展望できる場所ができて、もっといいwalking コースになる」と常々思ってきました。

５月７日の午後　今日高倉台から、おらが山(高倉山)の縦走路に出ると　前方「鉄拐山」の頂上が切り開かれているのに気が付いた。
平安時代末期の「源平一ノ谷の戦い」で、源義経が奇襲攻撃「鵯越の逆落とし」で駆け下ったのが、この鉄拐山の東南斜面とされ、歴史上の山である。
この頂上部はつい最近まで、雑木に覆われていて　展望が全く効かず、また短いとはいえ、急な山道を登り下りせねばならなかったため、縦走路も道が鉄拐山頂上を通る道と牧道の二手に分かれ、みんな頂上へは行かずに、鉄拐山の山腹を北に巻いて通過する。

そんなことで、ある意味では忘れられてきた山で、須磨海岸で、周囲にさえぎるもののないトンガリ山であることすら忘れていました。鉄拐山を地図で見ると 鉄拐山の山の形・位置が六甲の山並み・神戸市街地や大阪湾それら全体を眺める絶好の山であることがよくわかる。
「鉄拐山」　歴史と名前がいいのに 登山道も整備されず、おしいと常々思ってきた山である。
位置からすれば、神戸の市街地や西六甲全山縦走路に並び立つ山々の姿が見えるに違いない。
早速　今日はぜひ　鉄拐山の頂上へ上って　頂上からの展望を確かめよう。

西六甲縦走路　鉄拐山の北側からの登り口　急な階段が頂上へ続く　2017.5.7.

【　鉄拐山山頂からの大阪湾一望の大パノラマ展望　2017.5.7.　】

鉄拐山山頂から東から南へ　　隔てるものが何もなく　西六甲の山並み・神戸の街・大阪湾沿岸が一望　2017.5.7.

北東側　重なり合って連なる六甲の山並み

北東側　　神戸の街から大阪湾

北西側　　名谷ニュータウンの向こう高塚山・総合運動公園周辺
　　中央奥に雌岡山・雄岡山がかすんで見えている

南側　すぐ直下の須磨の

思い描いていた大阪湾一望の大パノラマが見られました。　残念ながら　やっぱり遠くは霞んでいて、六甲の山並の重なりや、大阪湾を取り囲む生　や　城・金　山　そして泉南の山々や　淡海峡などは見られませでした、。
でも　、鉄拐山頂上はやっぱり素晴らしい六甲・神戸・大阪湾沿岸を一望できる素晴らしい展望台であること確認。
この頂上が切り開かれたことで、須磨の西六甲縦走に新たな魅力が加わったことに間違いなし。

なお、ここからは　残念ながら 西南の明石海峡・大橋・淡路島は尾根筋に　まれて見えないが、
おらが山(高倉山)やすぐ先の旗振り山から眺められ、鉄拐山からの大展望の魅力は変わらない。
鉄拐山の手前　おらが山(高倉山)や旗振り山からも神戸・大阪湾が眺められるのですが、尾根筋の山々などに
　まれ、六甲の山並み・神戸・大阪湾一緒の大パノラマにならず、私にはもう一つ迫力がない。
この鉄拐山が切り開かれて　本当に散歩感覚の短時間で展望台に立ち、
風に吹かれながら　ゆっくりと大展望を楽しめる魅力。この西六甲の縦走路散策の楽しみ　　です。

おらが山からの眺望　2017.5.7.　　旗振り山からの眺望　2017.5.7.

◎　澄み渡った2017.6.5.　西六甲縦走路からの遠望が楽しめる絶好の機会！
鉄拐山から３６０度の素晴らしい大阪湾沿岸の大展望が楽しめました

横尾道から眺める西六甲の鉄拐山・旗振り山　2017.6.5.

６月５日快晴　今日は久しぶりによく澄み渡り　自宅からも大阪湾が見えている。
地　温暖化が進行する中　[illegible]5　　の影響か?　快晴の日でも、西六甲の縦走路から　大阪湾や明石海峡などが、くっきり遠望できる日は少なく、新たに切り開かれた鉄拐山山頂から六甲の山並や大阪湾　そして明石海峡がくっきり見える久しぶりに訪れたチャンスだ。　　早速　デジカメぶらさげて　西六甲 鉄拐山山頂へ。
予想通り　今までかすんでくっきりとは見えなかった神戸市街地から 大阪湾がくっきり。
重なり合ってはっきりしなかった六甲全山縦走路の山並み・神戸三宮の市街地　そして大阪湾をグルリと取り囲む生　山から二上山・　城山・金　山そして和泉から和歌山の山々。そして　淡海峡・淡路島も。
目を西から北に転じると　明石海峡・明石大橋から播磨の工業地帯から播磨の田園その背後の山々も。
鉄拐山は西六甲一の展望地　くっきりと見える大阪湾沿岸全体のすばらしい眺めにやっと出会えました。

おらが山(高倉山)からの六甲山並・神戸の街そして大阪湾沿岸の遠望　2017.6.5.

今日は澄み渡り、遠くまでよく見え、鉄拐山からの大阪湾沿岸の大パノラマへの期待が一層膨らむ

おらが山から西へ　群生するウバメガシのトンネルの中を歩く鉄拐山・旗振り山への西六甲縦走路　2017.6.5.

【鉄拐山山頂からの今年一番の大阪湾沿岸の大展望　2017.6.5.】

西六甲の山並・神戸の街・大阪湾沿岸・　淡海峡まで

鉄拐山からの展望【2】東→南東→南
神戸市街地から大阪湾　2017.6.5.
神戸市街地から大阪湾北部沿岸　生駒山・葛城・金剛山が見えている　2017.6.5.
泉南から紀淡海峡を背後に　須磨浦　明石海峡　2017.6.5.

鉄拐山からの展望【3】　北→北西→西→南西
西神戸から播磨・明石海峡　2017.6.6.

六甲の山裾に広がる神戸の市街地【1】神戸の中心　三宮・元町　　2017.6.5.

六甲の山裾に広がる神戸の市街地【2】生駒山・大阪を遠望する神戸の海岸沿い 2017.6.5.
奥にポートアイランド・神戸空港の人口島　手前に和田岬・兵庫・長田・須磨

六甲の山裾に広がる神戸の市街地【3】 摩耶山の後ろに六甲山　2017.6.5
神戸の魅力は山と海と街　どこでも歩いて行けることである

西六甲全山縦走路の山々が重なり合いながら見えている　2017.6.5　鉄拐山山頂より
手前より 高倉山・樒尾山・横尾山・東(馬の背)・高取山・菊水山・摩耶山・六甲山・・・・・

【鉄拐山のすぐ西　旗振り山からの明石海峡・淡路島　　2017.6.5.】

旗振り山から眺める須磨の浜　まもなく海水浴を楽しむ人でいっぱいに　2017.6.5.

◎【Web Site】 西六甲縦走路「鉄拐山」山頂からの展望 walk 2017. 5.7. & 6.5.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1706tesukaisan00.htm

◎【 スライド動画 File 】 西六甲縦走路「鉄拐山」山頂からの展望 walk 2017. 5.7. & 6.5.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1706tetsukaisan.mp4

◎【PDF スライド写真集 File】西六甲縦走路「鉄拐山」山頂からの展望 walk 2017. 5.7. & 6.5.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2017htm/walk14/1706tesukaisan.pdf

2017 walk
12

若草山から最短ルートで　南にそびえる高取山へ　　2017.5.16.

崖下の周囲から まるで取り残されたかのように残る不思議な谷筋
すり鉢型で残る「車集落の農地」を横断して、高取山へ

若草山から眺める　左:高取山　　右:須磨アルプス　馬の背・横尾山

眼下には　人工的で不思議なすり鉢型地形で残されている妙法寺「車集落の農地」が広がっている

1.　若草の住宅地の南　不思議なすり鉢状の地形の「車集落の農地」　その正体は???

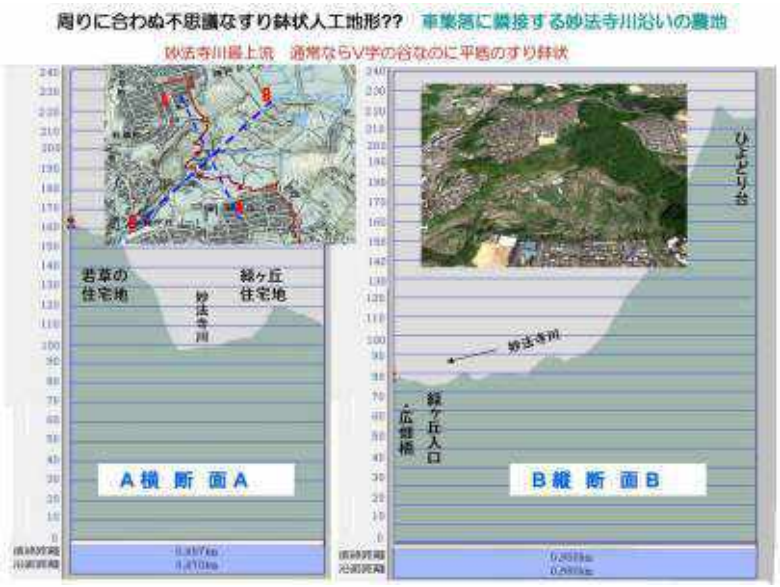
周囲の開発から取り残されたかのようで　いつも気になっている地形のご紹介です

また　この地形を横断して高取山へ登れば、高取山への最短コース　楽しい散策コースです

若草の丘の南　南北を崖で挟まれ、東西に広がる人工的に作られたと思える不思議な地形がある。

須磨の海岸を東西に連なる高取山から馬の背・横尾山の須磨アルプスを眺める私の住む若草の丘

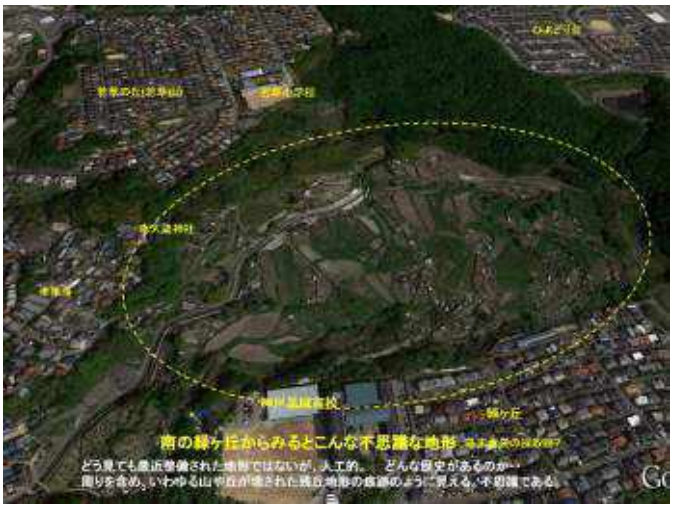
その南の直下崖下に周囲になじまぬ不思議な人工的な地形?と思える周囲からまるで取り残されたかのようにすり鉢状の地形の「車集落の農地」がある。



東西に広がるこの農地の南北側には急な崖となっていて、北側の崖の上には車集落・若草の住宅地が広がる丘。南側の崖の上には緑ヶ丘の住宅地が広がっている。、両側を崖で挟まれた農地の中央を北東から南西へ　妙法寺川の最上流が小さな谷川となって　地形に合わせながら、少し蛇行して流れ下る。

この農地部は　なだらかではあるがでこぼこの傾斜地で、いくつにも　雑に区切られた農地が東西に広がっていて、川に沿って南西側から北西の端まで伸びる本道と農地の中央部　川から北西へ車の集落へがけを登る道があるだけで、あとはそれ

ぞれの農地を区切る畦道がいくつもめぐらされている。
周囲の丘や山を切り開いて造られたニュータウンが広がる中で、ここだけが 区画整理もされず、昔の田舎の記憶をそっくりそのまま、とどめているような農地が広がっているのです。



妙法寺地区は小さな山や丘が入り組んだ複雑な地域であることを考えると、元々は狭いＶ字の谷筋が切り開かれたのではないかと　　されるのですが、なんとも不思議な地形。私はたたらの山里を思い浮かべながら、なんの根　もなく地形の面白さから、ここはきっと昔に切り開かれ、多くの人が住んでいた場所。それが、また、農地に戻っていると勝手に思っている。
この地に住みだして、３０年を超えているのですが、いつも気になる場所で、時々崖下に降りて、周囲を眺めては、それこそ箱庭みたいな農地散策を楽しんでいる。
また、私の住む若草山から正面に眺める高取山へは、この崖下に降りて、まっすぐこの農地を横断して、緑ケ丘へ登れば高取山への最短コース。でも　通常は崖を降りる道がないので、コの字型に　回するため、一度住宅の西側を走る神

戸・三木線を南に下って、緑ケ丘の西の入り口から緑ヶ丘へ入り、緑ケ丘の中央部高取山の山腹に取り付ける野路山公園登山口から西六甲全山縦走路に入り、高取山へ登る。
このすり鉢状の農地を横断して緑ヶ丘へ登れれば、高取山への最短コースになり、この擂鉢状地形の農地の散策では周りを眺めながら、緑ヶ丘への登り口がないかと探すのですが、今までよう見つけませんでした。

昨年　神戸新聞の報道から　このすり鉢状地形周辺のいくつもの谷筋が、幕末　神戸開港を支えた亜炭の採炭地で、公開された絵図や地図からこの谷筋もその一つで、採炭地の中心的な場所と知れました。
かつての「たたら鉄山」がそうであったように、この谷筋にはいくつもの採炭坑口とともに、川筋の丘や山が切り開かれ、亜炭が採取されるとともに　諸施設が立ち並んだとイメージされ、その痕跡が今の地形となって残っているのでは??

イメージを膨らませ、　山裾に沿って　急に崖が伸び、すり鉢状の段々に複雑に入り組んだ平地が広がっているこの不思議な地形を一人なんとなく理解できたと。

参考　幕末神戸の街に炭鉱 !!　神戸開港と密接に関係した「幻の神戸石炭」

.　高取山北麓 車・妙法寺の石炭　幕末神戸開港に一役 !!　寄港する外国蒸気船の石炭供給基地

http://www.infokkkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1604kobesekitanweb.pdf

2016.3 月 12 日　神戸新聞の記事より

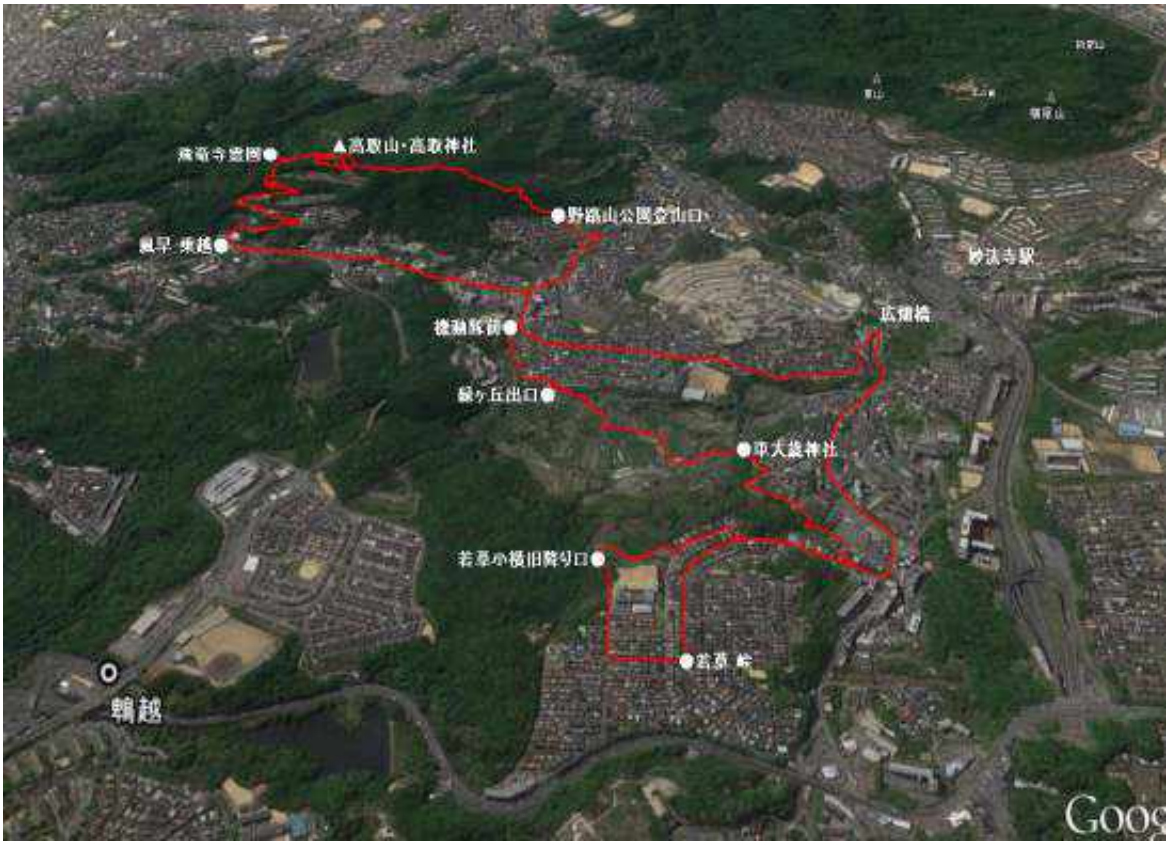
今年になって、偶然この「車集落の農地」の畦道から南の緑ヶ丘へ横断して、崖の上へ直接登れる畦道ルートがあることを知り、ぜひ　近いうちに　若草山からこの農地を横断する最短コースで　高取山へ登ろうと。
特に意味もないのですが、1/25000 の地図を眺めながらこの最短コースに興味津々。
ちょうど真向いの緑ヶ丘野路山公園から尾根を直登する西六甲全山縦走路妙法寺登り口を登れば、私の住む若草山から高取山への最短のコースである。

2.　若草山から最短ルートで　南にそびえる高取山を登る　【1】

2.1.　すり鉢平底の人家のない不思議な農地域の中を横断して　緑ヶ丘へ

若草の住宅地　若草小学校横から眺める南の高取山・須磨アルプス横尾山
この直下　数に覆われて見えないところが、不思議な人工的すり鉢地形の車集落の農地です。高取山へはここからまっすぐ辿りて、南へ行くのが、高取山への最短ルート　一度やってみたかったルートです。

５月１６日の午後　若草の自宅から　まっすぐ高取山へ向かって「車集落の農地」を横断する最短コースに挑戦。
最近は緑ヶ丘の東の端　風早の乗越から飛竜寺霊園の参道を登ってゆくことも多いのですが、今日は久しぶり西六甲全山縦走路妙法寺登り口からの高取山へ登る。この道も久しぶりで　楽しみ。
若草の崖の縁にある若草小学校横から南の高取山を眺めてスタートに。



若草山から最短ルートで高取山へルート図(登山路・下山路併記)　2017.5.16.
崖下の不思議な谷筋「車集落の農地」を横断して、高取山へ

以前はここからそのまま下の段々に区切られた農園が広がるすり鉢状地形の車集落の農地へ降りられたのですが、急な崖を降りてゆくあぜ道で、今は荒　して何回か降りようとしたのですが、降りれない。
車の集落や若草に住む人たちに何度がそれとなく聞くのですが、下からの登り道もストップされて、今はもう道がない。
　回して車の集落大歳神社の横から下りるのがよいという。。
今日も　スタートに崖の上から　正面に見える高取山そして、眼下のすり鉢状の車集落の農地を眺めるために、立ってみましたが、　回して車の集落大歳神社の横から下りることに。
掲載した地図にはかつてダイレクトに降りれた道順のものも記載されていますが、、車の集落の中を抜け、大歳神社横から下りることにしました。。

若草山から最短ルートで高取山へルート図(登山路・下山路併記)　2017.5.16.

【登山路】 若草小横崖下旧折口-車集落　回-車大歳神社(車集落の農地入口)-　車集落の農地横断-緑化丘出口-緑ヶ丘野路山公園 高取山登山口-送電鉄塔下-高取山稜線-東峰-高取山山頂・高取神社

【下山路】高取神社-縦走路東展望所-戻って高取神社石段下から北へ・飛竜寺霊園-風早乗越-緑ヶ丘-広畑橋-神戸三木線-若草南入口-若草 峠

若草の住宅地から、一　西側の神戸三木線に出て車大道から東へ車集落の中をトラバースして、集落の　神である大歳神社の鳥居前に出る。毎年１月１５日国の重要無形文化財「翁舞」が舞われる由緒ある神社である。14:20

この神社の東から崖下へ下る坂道を下ってすり鉢状の農地域に入る。

坂道の南には　馬の背・横尾山が集落越しに見え、降る坂道前方には、東に広がるすり鉢状地形の農地域部がみえ、北東若草の住宅地の東端野谷から流れ下る妙法寺川。そしてその対岸の崖上にある緑ヶ丘の星城高校の校舎が見えている。

坂を下りきるとちょうどすり鉢状地形域の中央　いわば底の部分　北東から南西へ流れ下る妙法寺川と北の崖と南の崖をつなぐみちに架かる橋。ちぐるりと見渡たして、地形を眺める。

かつて、この北の崖周辺は幕末　亜炭を採取した坑口が並んでいた場所と思うが、段々になった畑と崖になっている　が広がっているだけで、当時の面影は全くない。

すり鉢状の農地域中央の底の部分にあたる妙法寺川の端から　南の崖　緑化丘方面を眺める。【1】　2017.5.16.

今は沢山の貸農園が複雑に区切られて　階段状に広がる貸農園群が広がり、北から南　緑ヶ丘の崖の方へ農地の　を抜けてゆ道が見える。　この道が川の南側の主な道であるが、崖下の農地の間をめぐるだけで、崖上へはでられない。

すり鉢状の農地域中央の底の部分にあたる妙法寺川の端から　南の崖　緑化丘方面を眺める。【2】　2017.5.16.

南の崖の向こう正面には　どっしりと座る高取山　　高取山西峰の電波塔が見える。

また、　教えてもらった身なりが丘の出口は　畦道をたどりながら　崖際をもう少し西に行ったところだと

橋から南の崖へ少し坂を登り、ふりかえって　北側を眺めると、正面崖の上に若草小学校が顔をのぞかせている。
やはり、崖の部分は　でおおわれ、すり鉢状地形の中は　貸農園が広がる農地で、このすり鉢状地形の中には　妙法寺川をはさんで、南も北側も全体に人家はなく、、妙法寺川流れ下る　ーの出口である南西の妙法寺駅側には、別の丘の上に立つ大きなニュータウンのマンシ　ンが見えている。
周囲が新しく開発されたニュータウンで　覆いつくされているのに　本当に不思議な場所である。
でも　そんな環境の中で、緑に包まれた箱庭のような農園が広がっていて、散策できる。　沢な空間である。

周辺土砂　　からの避難マップの部分的抜き出し　　黄色の部分が 土砂・地滑り　　警　ちという。ちょうどそんな急斜面の落合がこの場所のようだ

こんなに広い農園が広がる緑の農地が残った理由は何なんだろうか……
そんなことはないでしょうが、早くに谷筋が亜炭採　現場として　開発されたことが影響しているのでしょうか?。
オーソドックスに考えると　この地域は 周囲の山に挟まれた「落合」で、川・土砂　　の　れる危　からか、人家を建てることが　早くから　制されているのかもしれぬ?　いずれにせよ、広く開けた大空が広がる中　手が加え過ぎられている公園とは違い、農園地帯が残されているのはうれしい。

緑ヶ丘の崖の縁まで登り、北側を眺める　　2017.5.16.

北側の崖の縁には　幕末　亜炭の採　地だったというので、その痕跡がないか探すのですが、よくわからない。
たたら跡で　山を崩した後　平地にポツリと残丘が残ったり、段々畑が幾段にもいびつな形で残ること　妙法寺川が傾斜のきつい谷川の割に両側の段々畑が広がっているこの地形そのものが、その痕跡かもしれない。

一番南の端の壁際まで、畑のをたどりながら歩き、星城高校の下のところから、教えてもらった通り、壁に沿って　東に歩くと、崖の上の住宅の白いフェンスのところに、小さな階段出口があるのが見えた。。
そばまで　来ないと見えぬと。

緑ヶ丘の出口まで登って、北側に広がる農地をぐるりと見渡す。
どう見てもこのすり鉢平底の地形は山が切り崩されて人工的に形成された地形。
本当に時を忘れたかのような田舎の風景がよく残されていたとつくづく思う。

2.　若草山から最短ルートで　南にそびえる高取山を登る　【2】

2.2.　西六甲全山縦走路　緑ヶ丘　野路山公園登山口から　高取山へ登る

緑ヶ丘の街中を抜けて　野路山公園登山口へ向かう　2017.5.16.

緑ヶ丘の丘の住宅地に上がって、北の鵯越から南に延びる山裾を南へ緑ヶ丘の住宅地をトラバースして、

高取山の山裾　野路山公園の高取山登山口に出る。この登山口には　西の須磨アルプス(横尾山・馬の背)を東に縦走して、妙法寺に下ってきた西六甲全山縦走路が妙法寺川が流れ下る谷筋 神戸三木線　妙法寺の街をクロスして、さらに東へ　登ってきてこの野路山公園の登山口とつながっている。

高取山の野路山公園登山口　　すぐ横樹木の間から須磨アルプスが見える
ここから高取山の山腹を登る西六甲全山縦走路　　2017.5.16.　15:09

何度も登ったことのある道でですが、岩肌むき出しの急な登りが続く山道との印象が強く、最近はここを登るのを避けていて、随分ご無沙汰の登山道。今はどうなっているのか　楽しみな登山道です。

樹木に覆われた高取山の山体をひたすらよじ登ってゆく　2017.5.16.

久しぶりの妙法寺野路山登り口からの高取山縦走路。
かつては　もっとむき出しのごつごつした登山道と
思っていましたが、道が随分整備されている。
視界の開けた岩場に送電鉄塔がありすぐ横に行けたと
思いましたが、今はコースから外れている。
本当によく整備された縦走路になって、
印象が全く違う。

岩肌むき出しの荒々しい道を崖の縁によじ登ると
一気に視界が開け、周辺が見えました

この岩をよじ登ると視界の開けた崖の端　でもここを反対方向へターンしてまた樹木の中へ登山道が続きます。
崖からは西側の横尾団地の背に　東山・山の背・横尾山　西六甲の山並みが見え、一息入れる。

南西側が開け、横尾山から山の背へ急な岩場を一気に下る西六甲の縦走路がよく見えている　2017.5.16.

高取山や隣の横尾山の登山道沿いはシイや　　などの明るい樹林の中で、今は特に新緑が美しい。
一方さらに西の高倉山から旗振り山への登山道は日差しが届きにくい色の　いやツメガシの群生地で、随分感じが違う。
神戸は一時はげ山だったのを植林で緑を回復したと聞くので、そんな差が縦走路に　も出ているのか…

縦走路の傾斜が段々緩くなって　高取山の山頂部も近い　2017.5.16.

登りだして　３０分ほどで稜線に出る。　南側が開け、南西の須磨海岸に連なる須磨アルプスから旗振り山の西六甲の山の連なりが見え、　須磨の海がかすんでいる

南西の須磨海岸に連なる須磨アルプスから旗振り山の西六甲の山並みの手前に横尾団地の住宅地
また　左直下には　狭い谷筋を南の板宿へ下る神戸三木線沿いが見える場面も。2017.5.16.　15:37

少し場所をずらし、目を　らすと　霞の中で　うっすら　淡路島や　須磨の海岸も見えている

東へ樹林の中を抜けると高取山の頂上部
電波塔のある高取山西峰の下で、　　寺から岩尾根(高取山製南尾根)を登ってきた道と合流する。下の板宿側の神戸三木線からもよく見える岩尾根で、一度登ったことがあるのか?　神戸・三木線側の取りつきがよくわからずですが、岩稜に登山道が付いている。また　今度探してみよう。

西峰の山頂部には下からよく見える電波塔のほか荒　神社があり、赤い鳥居がいくつも立っている。縦走路は西峰の頂上部をまいて　高取神社のある東峰へ向かうのですが、
頂上部を巻いて、東の荒　神社の　参道から、荒　神社の境内から西峰の頂上にある電波塔へ。

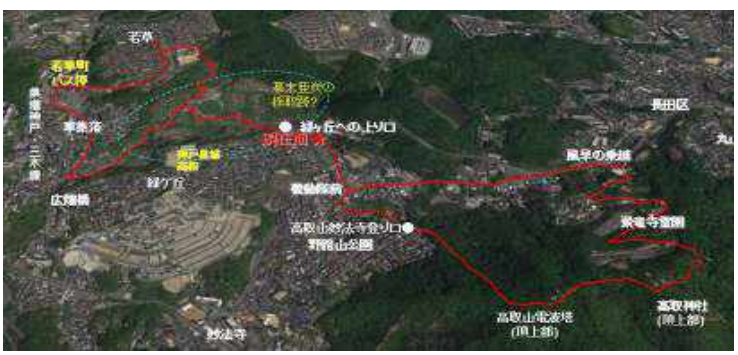
耳峰の高取山　西峰山頂にある荒　神社の鳥居と電波塔　　2017.5.16.

西峰の頂上は電波塔があるのみ、樹木の間から景色が　間見える程度。もっとも荒　神社の境内に展望台もあるのですが、今日は電波塔を確認して縦走路に戻ると西と東の峰の鞍部。　ここからが東峰高取神社の神域。
縦走路のわきにいくつも古い石　と神域の表示板が立っています。
先へ進むと東峰の下に出て、左手に赤い鳥居とともに頂上にまつられた多くの神々の　へ向かう急な石段があり、石段を登らずまっすぐ進むと大阪湾沿岸や神戸の街の大展望が見られる展望所。その前に高取神社の本殿がある。
今日は　久しぶりに石段を登って東峰の頂上へまわってから、高取神社へ。

若草の若草小学校横を出発点にした「若草-車すり鉢状地形の農地域-緑ヶ丘の横断　そして妙法寺野路山公園登山口からの高取山山腹登山」の高取山直線的クロスロードの最短ルート　ウオーク約２時間弱で　成。(妙法寺野路山公園登山口から　高取山頂上まで約１時間)　。　一度歩いてみたかったルートの目的　成です。

東には遠く六甲の山並み・神戸の街・大阪湾が遠望　2017.5.16.

眼下に神戸長田の街　その向こうには対岸の泉南の山をかすませながら大阪湾が広がる大展望　2017.5.16.



約2時間ほど　若草から高取山へ　北から南への最短ルートwalk 達成　16:02

帰りは最近の散策コース　高取山の表参道石段を下りて、　茶　の横を北側へ折れて、高取山の北東側　飛竜寺霊園を抜けて、風早乗越から緑ヶ丘へ出て　帰る。
参道をそのまま少し東へ抜けると高取山の東側　神戸・　山方面の街を眺める展望台があるので、迫まで行ってから帰ることに。、

高取山　高取神社路の南側の表参道　　毎日早朝登山でにぎわう長田から登ってくる参道です　2017.5.16.

高取山山頂部東端の展望所からの展望　　2017.5.16.　16:12
高取山の東　風早の乗越から　山・長田へ下る谷筋が一望
谷を下ってくる神戸電鉄の電車が見える背後には菊水山から摩耶山・六甲山までの山並みが一望

高取山の北側の山腹　飛竜寺霊園を抜けて　風早の乗越へ降りる　2017.5.16.

もう　タ　れ　風早の乗越　　久しぶりに妙法寺野路山の登り口から歩いて　新鮮でした。
岩肌をよじ登るのがいやで、ちょっと　遠していた道ですが、良く整備されて歩きやすい道に。
また、若草から、高取山まで、今まで直に歩いたことのない念願の南北最短コース　新鮮で楽しいコース。
やっぱり短いなぁ・・・・と。
これからはちょくちょく　車集落の農地の道に降りてみようと満足感いっぱい。
夕日をあびながら、緑ヶ丘の坂を下る。　　2017.5.16.　タ

また、不思議な人工的地形　車集落の農地
いつも上から見下ろしてばかりでしたが、
今回はじっくりと 周りを見ながら農園が広がる中を歩けました。
どうも、ニュータウンが広がる前の時代の痕跡が残る街道筋ではないか?
幕末　神戸開港に寄　した最短地の痕跡が狭い谷間をこんなのどかな田園地に変えたようにも思う。
田舎の田園へタイムスリップしたような田園とそのあぜ道。　これからも時々walkg　の道に。車集落大歳神社の大楠に沈んでゆく夕日に向かって　ぶらぶら　畦道を若草へ
この妙法寺界隈　歩くのにはほんとうにことかかないなぁ・・・　満足の今日のウオークでした。
2017.5.16.夕　車集落の田園地を沈む夕日に向かって　帰りを急ぐ　　kaisn

2017 walk
13

【写真アルバム】　京都府の東南部　宇治茶の山郷　　宇治田原 奥山田の里

ハート型猪目窓が大人気の 正寿院 を訪ねる　2017.8.15.

京都府東南部 京都と滋賀の境の山あいのハート型の街 宇治田原
「ハートの形をした猪目窓から眺める景色に 心癒される」と
今若者たちに大人気の寺が あり、是非連れてゆけと孫娘が言う。
ご存知でしょうか?
「宇治茶の山郷 宇治田原」は知っていますが、
「ハートの形の猪目窓」「ハートの形の町」などつゆ知らず。
もう　興味津々。　宇治茶の山郷にも惹かれる。
是非とも行きたいという孫を連れて いってきました。

宇治茶の郷　宇治田原 奥山田の郷と猪の目窓から眺める景色が若者に大人気の正寿院　2017.8.15.

茶畑が美しい細い谷筋にある集落の一番奥　集落を見守る位置に奥山田集落の檀家寺「正寿院」が見える
新しく新築された客殿にハート型をした猪目窓があり、四季折々　里山の景色を映し出し、茶畑が広がる山郷の景色の中にすっぽり溶け込んで、心地よい沈黙の時が流れてゆくのをゆったりと楽しむ。。
交通の便が悪いのですが、地域バスの便もあり、車であれば、ちょっと違った宇治散策　おすすめのスポットです。

琵琶湖から流れ下る宇治川の東岸の丘陵地の山間に広がる宇治茶の主生産地宇治田原町。この町の一番奥の小さな山間の集落にある小さなお寺「正寿院」に今　若い人たちが多数訪れるといい、高校生になった孫がここへ連れてゆけという。お寺のハート形の格子窓に映る景色・並びに夏の風鈴祭りが有名なんだと。

宇治田原の町の形がハートの形なので、新築の建物の猪目窓・格子窓をハート型にするとロコミであっという間に若い人たちに広がったという。

宇治田原は何度か通ったことがあるが、宇治茶のほかよく知らず。地図見ると確かに宇治田原町の形はハート型。

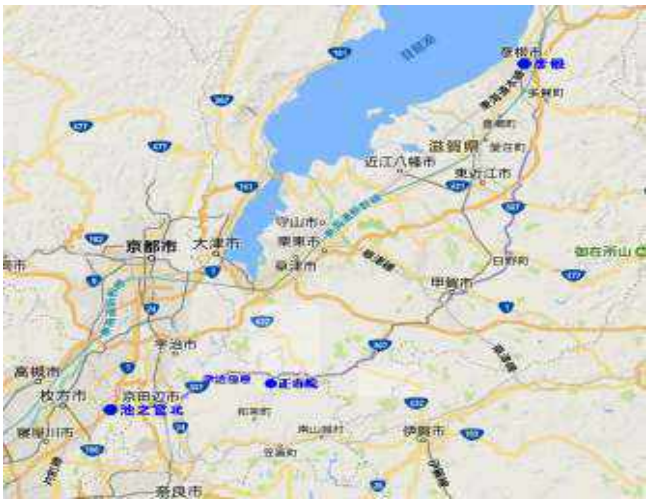
「正寿院」の場所は枚方から信楽へ山間を抜けてゆく古い海道筋国道 307 号線の山間部に位置する宇治田原の東端京都府と滋賀県の県境のすぐそばの山間とすぐ知れました。何度か信楽へ抜けたことがある道。

孫の話に興味津々。そして、宇治田原のお茶や長いこと行かぬ宇治川界隈も魅力で　お盆のさなかでしたが、８月15日　家内の車で宇治田原の正寿院に行ってきました。

心地よい小さな山郷にある正寿院そして宇治茶の茶畑　そして大放水中の天ヶ瀬ダム・平等院にも行け、みんな大満足でした。　交通の便が悪いのですが、車であれば、ちょっと違った宇治散策。　おすすめのスポットの紹介です。

1. Google Earth Street View で 宇治田原 正寿院への道をたどる

国道307号を 枚方→→京田辺→宇治田原「正寿院」へ



枚方から正寿院のある 宇治茶の山郷「宇治田原 奥山田」までの国道 307 号線の道を google Earth の 衛星写真・street view の 写真で たどりました。

随分道は改良されていますが、なんせ古い街道筋。きっちりとたどるには標識が頼りの曲がりくねった道。この国道307号を枚方から彦根までたどるのも面白いと。枚方から、東の京田辺に出て、宇治田原・信楽へ南山城の山間部を北東へ抜けて近江に入り、東近江の山間を彦根まで結ぶ古い街道筋国道 307 号。正寿寺がある宇治茶の山郷 宇治田原奥山田はこの国道沿い。国道 1 号線枚方池之宮北から右手へ国道 307 号線に入れば、山間を抜けてゆく曲がりくねった街道筋。 宇治田原までは一本道である。

また琵琶湖東岸の道がよく整備されたので、あまり使われなくなったが、近江から信楽を経て奈良・大阪へ出る抜け道としてよく知られている。何度か仕事で近江へ出かけたときに通ったことがある。

宇治田原の街をぬけると北の宇治川・大津へ抜ける府道 783 との分岐 岩山交差点 さらに東へ進むと人家が切れ、トンネルのある宇治田原の東端から信楽への峠道に。 正寿院のある奥山田の里もまもなくである

宇治田原の中心街を抜けると点々と茶畑と小さな集落が続くし山間がつづき、トンネルを２つ抜けると国道改良工事中の高架橋が見えてきた。　ここが奥山田の郷の入口。 高架橋を潜り抜け、谷筋に沿った山裾　集落の一本道が南の奥へと登ってゆく。車一台がやっとの一本道で、谷筋の一番上に正寿院がある。

ちょうど 12:00　孫を載せた伊丹から 175 号高槻 枚方大橋 そして国道 307 号線で約 2 時間で到着です。
駐車場のすぐ上の高台に客殿があり、ハート型の窓が見え、多くの人が客殿に座っているのがみえる。
でも　外から見る限り　ハート型の窓も建物もどうということないなぁと。
私にはこのハート型をした猪目窓よりも、反対側の山郷の景色、
今登ってた茶畑が点在する山里の集落の景色の方が気になる。
振り返ると正寿院前の坂の上からは　周囲の山々の緑にうずもれて、
今登ってきた奥山田の家並みが見え、家並みの奥には大きな茶畑がみえる。今にも雨が降り出しそうな空　霧がわいて　山郷が美しい。
正寿院を出たら、正面に見える茶畑に入れてもらえるよう頼んでみようともう、次の楽しみの算段もできた。

坂道の反対側の駐車場にも数多くの車が駐車している。
寺の周辺や登ってきた細い道の途中にも若い女性を中心に数多くの人がいる。
この奥深い山郷の正寿院の人気ぶりはすごい。
これだけ、多くの若い人を引き付ける魅力が、このハート型の猪目窓にあるのだ。
おそらく、客殿に座ると随分感じが随分違うのだろう。
興味津々ですが、本堂の方で拝観の手続きをしてからでないと客殿のほうへ入れないので、まず、本堂の入口へ
興味津々の風鈴祭・客殿の猪目窓からの山郷の景色が楽しみです。

2. 正寿院の風鈴祭りと本堂で　宇治田原自慢の緑茶をよばれる

正寿院の入口の門をくぐると、境内いっぱいに飾り付けられた風鈴が目に飛び込んでくる。
日本各地から 2000 を超える風鈴が集められているという正寿院の風鈴祭。夏から初秋の風物詩として地元ではよく知られた古くからの祭りだそうだ。
こちらを目当てに正寿院を訪れる人も多いという。
晴天に涼しい風を呼ぶ風鈴の音を期待したのですが、あいにくの天候そして風もなしでしたが、鮮やかな風鈴の絵模様に軒先の風鈴が軽やかな音を立てていた子供のころを思い出しながら、見入りました。

風鈴の中に入った花の絵模様が特に気に入りましたが、境内の一角で、絵付けして、、自分の風鈴を作る催しも行われていました。　気に入った風鈴の短冊を少し揺らしては耳を澄ます。こんなにいっぱいの風鈴を見るのは初めて。風鈴の短冊が風に吹かれ、一斉に音を奏でたら・・・・と。

本堂右手の入口で拝観手続きをして、本堂の中に上げてもらってお参りをしたあと、本堂に座って、本場の冷たい宇治の緑茶をいただきながら、境内の風鈴をめでる。
宇治茶の山郷　まだ俗化されていないというか、ほのぼのとした心づかいが伝わってくる正寿院。
ゆったりした静かな空間　若い人たちも思い思いに座って　風鈴祭りを楽しんでいました。

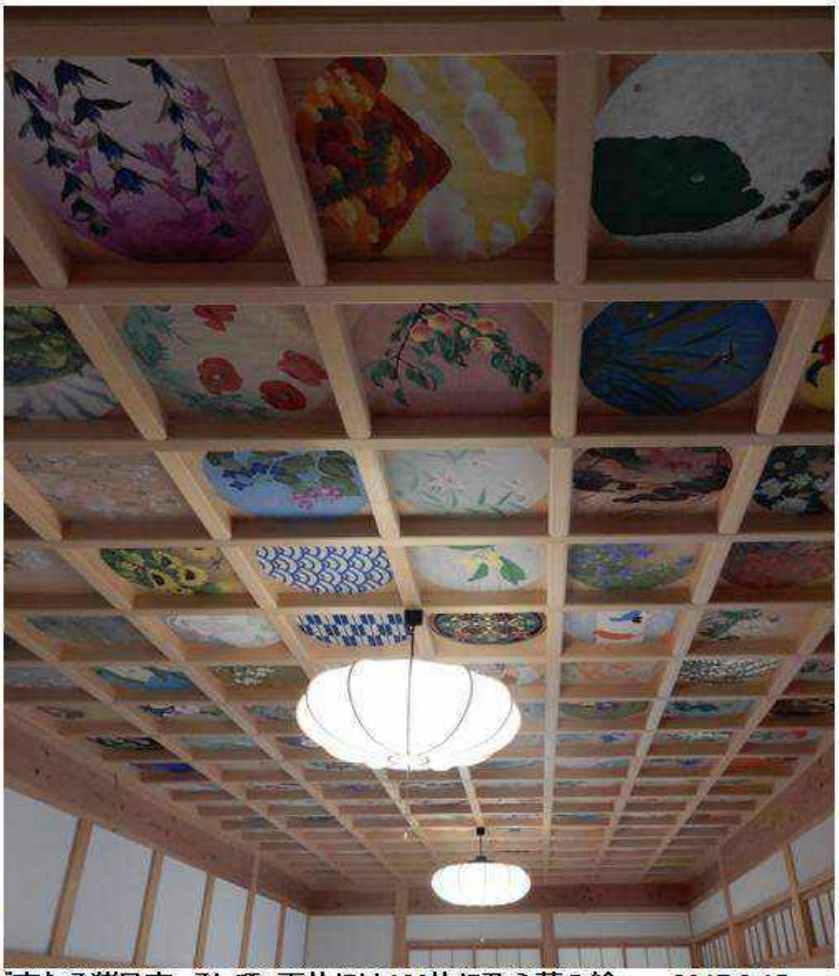
本堂の内部左手には 正寿院の御本尊秘仏 十一面観音（町指定文化財）が祭られ、厨子の中に収められていて、 50 年に 1 度開扉される。また、右側には快慶作の不動明王像が祭られているが、今回は修復のため奈良の博物館に出張中で見られなかった。　また、畳が敷かれた本堂の内部は参拝者に開放避けていて、反対側はオープンの縁側で、風鈴が飾り付けられた正寿院の境内とお庭が見渡せ、みんな思い思いの位置にすわって、この山郷の寺を楽しんでいる。
不動明王さんの前にはご真言を書いた札がそっと書かれている。
私にとっては 今年の夏はお願いせねばならぬこと多く、今日はいらっしゃらないが、鐘も叩いて、色々気になっていることどもお願いして、手を合わす。びっくりして　孫娘が何を頼んでるのと笑うのですが。クリスチャンですが、要は気持ち。神も仏もみな同じ　どこでもいろいろお願いして、手を合わす。　最も　おさい銭などはあげないし、御籤も引かないのですが・・・。
緑茶の接待　金平糖のついた緑茶のセット　拝観料 400 円の中に含まれていて、　ビックリでした。
こんな心づかいも若い人たちに人気があるのだろう。
風鈴が揺れるのを眺めながらおいしくいただきました。

3.　正寿院　客殿の猪目窓から眺める山郷の夏

正寿院の境内風鈴の中を潜り抜けて、をもう一度表に出て、先ほど　ちらっと横目で見た正寿院の客殿へ
いよいよハート形の猪目窓からの景色を眺めに行く。
客殿にあがると目の前にあのハート型の猪目窓。　はっと吸い寄せられる。

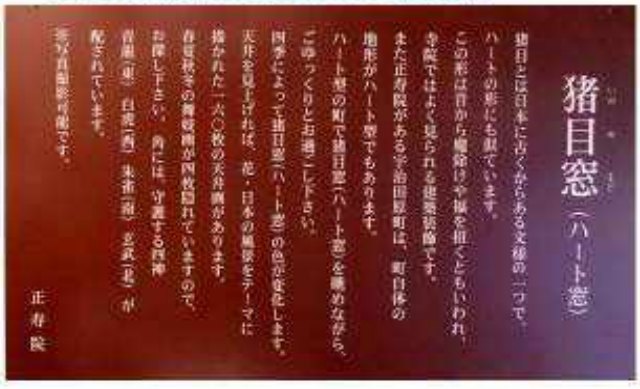
客殿の広間には多くの若い人たちが、猪目窓を取り囲んで、カメラやスマホをかざしている。　建物が新しいこともあって、眺める景色がすがすがしい。
ハート型に映る季節折々の写真を撮りに若い人に大人気であるのもわかる。
あけ放たれた客殿の縁側からは、緑いっぱいの山郷の景色。そして　天井に目を向けるスギ板１６０枚に四季折々の花や人物画などが描かれた天井画。この村の人の絵もあると聞く。アイデアが光るお寺の中とは思えぬ新感覚の客殿である。
そっとてみんなの後ろに座って、猪の目窓の景色に見入る。
ハート型の猪目窓を通して外の景色がみえる。まったく他のものがみえず、四季折々　ハート型の景色のみが目に飛び込んでくる先人の知恵。情報過多の今　心ひかれる世界がこんなところにあると。

緑茶の山郷　宇治田原　奥山田の正寿院　客殿「猪目窓」　2017.8.15.



見る位置と角度によっても景色が変わる猪目窓　そして　天井には160枚に及ぶ花の絵　　2017.8.15.

四季折々の山麓の景色を映す猪目窓
思いもかけぬ素朴な山里の景色を切り取って見せてくれ、また
次の機会を期待させてくれる心地よい空間でした



いかにも現代的な感覚と発想で　新たに作られた客殿と猪窓・装飾天井画。
今まで　若者とは全く縁がなかった郷の小さなお寺に若者たちが押し寄せ、若者たちとの触れ合いの中で、この山郷にも宇治茶とは違った魅力と活気が郷にも及んでいると聞く。年寄りにとっても本当に居心地の良い郷。
このアイデアを実現させた正寿院の住職や集落の人たち　すごいなぁと。
こんな町興しもあるのだとびっくりしました。新しい発想がいたるところであるのだとつくづく感じています。
でも、こんな取り組みがビジネス・もうけ主義に汚染され、その魅力も失われてしまうことも多い。
都市に住む我々のエゴかもしれないが、今の状態が一番　居心地がいい。
　集落の中をぶらぶら歩きたくて
一足先に客殿を出て、山里の景色を楽しみながら歩いて坂道下る

4.　正寿院のある山郷　奥山田の茶畑

正寿院の坂の上から眺める奥山田の山郷

奥山田の山郷の一本道で　　2017.8.15.

山郷の家並をゆっくり散策しながら、集落の中への坂道を下る。いくつも茶畑が見えているので、どこかの茶畑を見学させてもらいたい希望もある。　　集落の中に入ると小さな打ち鉦を叩く音が聞こえる。
昔どこかで聞いた記憶があるなぁ　と思いつつ、また、茶瓶を持った人とすれ違い声をかける。。
「お盆の精霊送りの打ち鉦。茶瓶は帰ってゆく先祖たちののどが　乾かぬようする送り水」と聞く。
鉦と送り水　お盆　丹後の墓参りの記憶だと思い出しました。

奥山田の集落の一本道で　2017.8.15.
今日は一日　天候が急変する一日　でも大降りにはならず　山郷の景色に変化をつけている

集落の坂道のすぐ西の丘に広がる茶畑が見えてきた。「正寿院」から真正面集落の奥に見えていた広い茶畑で、
茶農家　小山さん一家の茶畑　　それを見学させていただけることに

道の西側の丘に広がる大きな小山さん一家の茶畑

正寿院から遠望した小山さん一家の茶畑

茶畑の下　家の前に立っておられた息子さんに声をかけて、先に下に降りていた孫たちともども、茶畑の丘を見学させてもらうことに。　ちょうど作業を終えて、茶畑からご主人も降りてこられ、　茶畑見学の後　この茶畑で作られたお茶を冷茶・緑茶にして入れてもらって、お茶の話やこの村の話など色々教えていただきました。
茶どころ　宇治田原でのむお茶　本当においしいお茶でした。
また、ラッキーにも直販していると聞いて、宇治茶の本場　宇治田原茶もわけてもらいました。

今は茶摘みの時期ではありませんが、よく手入れされた小山さんの茶畑。きれいな色をした宇治田原茶の葉がすくすく。宇治茶というと玉露がイメージされるのですが、玉露栽培でみられる日光を遮る黒い覆いが、この周辺では見られない。

宇治田原の街中の国道沿いには　いくつか黒い覆いのある茶畑もいくつか見かけましたが、宇治田原は「緑茶発祥の地」　緑茶の栽培が主だからだそうだ。

茶畑を降りてきて、小山さんご夫妻に宇治田原のお茶を色々入れていただき、宇治田原茶のことやこの宇治田原の街　そして　多くの若者が正寿院に訪れるようになって　この奥山田の集落に活気と変化が出てきたことなど　楽しくお聞きしました。入れていた冷茶が本当においしかった。また、正寿院の取り組みがこの集落の一大町興し　村の人たちも喜んでおられるのもうれしい。

◆　茶畑を見せていただいた小山さん一家が「茶農　喜左衛門」として
　　息子さんが紹介されているページをインターネットで見つけました

築150年の古民家を改装して生まれた京町家レストラン「むすびの」 home page
FARMERS INTERVIEW　京農家紹介

宇治田原の土が育む宇治茶ブランドを守り続ける
お茶農家 小山さん　茶農 喜左衛門

http://musubino-kyoto.co.jp/interview/kizaemon.html

◎ YouTube 動画
むすびの京農家紹介 茶農喜左衛門

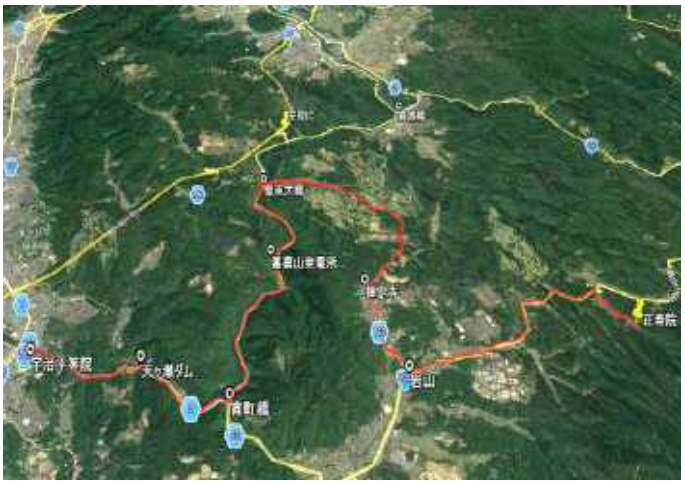
https://youtu.be/xbVgUq5NfPM

小山さんご一家の息子さんがお話しされている動画が掲載されていました。
が茶農と称しておられる小山ご一家のお茶栽培にかける思いが語られていました。
宇治田原茶の有名なご一家の茶畑に飛び込ませてもらったのだとびっくりしています。

****

突然お願いした茶畑見学を心地よく OK していただいた小山さんご一家。
本当にうれしいお茶の山郷での出会いになりました。
家内などは直販もしておられると聞いて、小山さんの宇治田原茶を分けてもらって大喜び。
正寿院・宇治田原茶山郷の風景に加えて　もう一つ小山さんの茶畑を訪ねる魅力が加わりました。

小山さんの茶畑見学を終えたのが、13 時半頃
　満足感いっぱいで引き返すことに。
帰りに宇治田原で「宇治田原茶」を買う用がなくなったのでどこからでも帰れる。
孫が「ここまで来てまだ時間あるので　ぜひ宇治の平等院に立ち寄ってほしい」という。
それなら少し遠回りになるが、久しぶりに宇治川ライン沿いを走って喜撰山の発電所から近畿の水がめ 天ヶ瀬ダムから宇治へ出て、平等院へと。
ちょっと遅いけど宇治まで約 1 時間ほど　宇治でおいしいもの食べよう・・・・とひそかな私の宇治川ライン周りの計画に乗る。。　宇治への道を知るのは私だけなので決まり。



最も家内も孫も宇治川ラインも天ヶ瀬ダムも気乗り薄でしたが、私にとっては　この宇治川沿いは宇治から南郷まで何度も歩いた道　久しぶりです。

5. 帰りに立ち寄った宇治川　　北の宇治川ラインに出て、天ヶ瀬ダム・宇治の平等院に立ち寄って帰る

1. 関西の水がめ　放水中の宇治川天ヶ瀬ダム　　2. 宇治平等院

1. 関西の水がめ　放水中の宇治川天ヶ瀬ダム

「天ヶ瀬ダムは関西の水がめ　このダムが決壊すると淀川決壊の大洪水。　琵琶湖からの水もダメ。だから　ダムサイトには　武器もった監視官が一人ひとりダムサイトを渡るのを検査する関西の最重要ポイントや」と説明しても「ふ～ん」とみんなまったく気乗り薄。　早く見て　宇治へ　早く行こう程度。

でも　天ヶ瀬ダムの大放水を見て、みんなびっくり大興奮でした。

ダムサイトの監視員は警備会社の人に代わって。むかしの物々しさはなくなっていましたが、やっぱり、ダムサイトを渡る全員のチェックは継続中。

「今ダムは大放水中　まもなく放水終わるので、　はよダムサへ」と教えてくれる。不安定な天候が続く今年の８月。　今日もくるくる変わる天候で、琵琶湖にも大量の雨が降って　緊急放水が行われていました。上下に３門ずつ６門のゲートがある天ケ瀬ダムダム３門が全開。轟音を轟かせての大放水。見るのは初めて。その迫力すごいものでした。

河川名:	淀川(宇治川)
位　置:	京都府宇治市
集水面積:	4,308km² (琵琶湖3,848km², 直接353km²)
型　式:	アーチ式コンクリートダム
堤　長:	254.0m
堤頂高:	73.0m
完成年月:	1964年11月
洪水調節:	宇治川、淀川の洪水量調節
都市用水:	京都府山城地域へ供給

放水中の宇治川天ヶ瀬ダム　すごい迫力に圧倒されました　2017.8.15.

関西の水がめ 放水中の宇治川天ヶ瀬ダム ダム堀堀を渡って反対側から 2017.8.15.

関西の水がめ 放水中の宇治川天ヶ瀬ダム 2017.8.15.

関西の水がめ 放水中の宇治川天ヶ瀬ダム 2017.8.15

2. 宇治平等院

宇治平等院鳳凰堂　2017.8.15.
宇治の街にはやっぱり観光客でいっぱい　渋滞に巻き込まれて16:00 ちょっと前　鳳凰堂の内部には残念ながら内部へは入れずでした。
阿弥陀様のお顔はしっかり拝観できました。

今にも崩れそうな天候　そしてお盆の真っ最中の　宇治茶の山郷　宇治田原　正寿院 walk
どうなるかと思いましたが、心地よい小さな山郷にある正寿院。
興味深々でてかけたハート型の猪目窓を通して眺める宇治茶の山郷の景色のさわやかさ。そして風鈴祭りも。
街中のイベントでは感じられぬ素朴なさわやかさ。一味も二味も違った新しい発見。
スマートフオンばかり見ていると批判する若い人たちの感性も再認識。
そして　そして大放水中の天ヶ瀬ダム・平等院にも行け、みんな大満足でした。
交通の便が悪いのですが、車であれば、ちょっと違った宇治散策。山郷の walk
高校生の孫娘に教えてもらった山郷 宇治田原　　おすすめのスポットの紹介です。

2017.8.15.　by Mutsu Nakanishi

【 参考 宇治川界隈 Country Walk by Mutsu Nakanishi 】

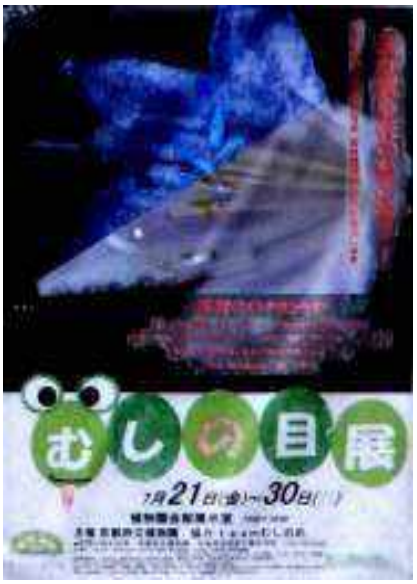
1. 京都 桜 Walk 2012 宇治平等院の桜 2012.4.12.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1205kyosakura00.htm
2. 関西最初の大型揚水 発電所 「喜撰山発電所」を訪ねて 宇治川Walk 2009.5.10.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2009htm/iron5/0906kisenyama00.htm

宇治茶の山郷 宇治田原 奥山田の里 ハート型猪目窓が大人気の 正寿院 walk

2017 walk
14

京都府立植物園 京都半日会　2017 京朝顔展　2017.7.30.

京都府立植物園　夏恒例のイベント



【1】　京都半日会　京の夏の風物詩　京朝顔展
【2】　「むしの目展 － 虫の目が視る花の姿と彩 － 紫外線照射下の花 」
【3】　アフリカ　バオバブの花　鑑賞会

遅れていた庭の朝顔が咲き始めた7月末　毎年楽しみにしている京朝顔半日会の「2017 朝顔展」の案内を戴き、今年はどんな朝顔に出会えるのか　楽しみで、7月30日　久しぶりに京都府立植物園に出かけました。。

同じこの時期に 植物園温室のアフリカ バオバウの木も大きな白い花をつける。今年は咲いているのか?

また、家内の友人から 「虫の目展」も開催中との案内もいただいた。

紫外線や青がよく見え、赤がよく見えないという虫の目の世界
どんな展示なのだろうか?

毎年 楽しみにしている京都府立植物園の夏の展示。

同じパターンの京朝顔展やバオバウの白い花のスライド写真が主ですが、今年は虫が眺めている世界の　写真も。

すがすがしい夏の一日の一コマをかんじていただければと

【1】　京都半日会　京の夏の風物詩　京朝顔展

京都半日会　京の夏の風物詩　京朝顔展　2017.7.30.　京都府立植物園で

これもみんな朝顔 変化朝顔の花・葉の変化を楽しむ　2017.7.30.京都府立植物園　京朝顔展で

第５８回

朝　顔　展

色鮮やかな大輪の京朝顔
今年もうれしい半日会京朝顔展
すがすがしさがいっぱいに広がって、
今日も一日　ゆったりと!!

2017.7.30.　京朝顔展で

【2】 「むしの目展 － 虫の目が視る花の姿と彩 － 紫外線照射下の花 」

「虫の目が視る花の色と姿」をテーマに花の可視光線と紫外線照射写真を比較展示

虫の目には 「青」は強くよく見えるが、「赤」は見えないという。 鉱物や金属の写真では蛍光写真は知っていましたが、植物の花粉に蛍光物質があり、特に受粉時期にそれが増し、虫はそれを頼りに蜜を貯めこんだ花に向かうという。

家内の友人に案内してもらって初めて見る世界。
興味深々で見てきました。

毎年夏に府立植物園で開催されているこの「虫の目展」
メインとパネル展示されている花の撮影写真は
福井宏至(香川大学名誉教授・農学部)が
後藤 勝実 先生 (京都薬科大学附属薬用植物園)
月岡 淳子 先生 (京都薬科大学附属薬用植物園)
平井 伸博 先生 (京都大学大学院 農学研究科)
豊田 順治 氏 (クリエイティブ・オフィス)
の方々とteam「むしのめ」を組織し、
その協力を得ながら、 撮影してきたものという

今回「むしの目展」での写真等撮影できず、展示写真の紹介
展示写真の紹介ができませんので、
「むしの目展」のベースとなった上記先生方の「虫の目が見る世界」を知る撮影写真や視点・解説がインターネットに掲載されている ページ
「虫が視る花？！「虫の目」植物図鑑
～ 紫外線照射写真で見る花の姿と彩 ～」
http://mushinomephoto.web.fc2.com/index.html
より、転用して 「むしの目展」の紹介とさせていただきました

虫の眼が どのような色と形で 外界を認識しているのだろうか？
昆虫たちの目にはどのように写っているのだろうか？

紫外線照射写真で見る花の姿と彩

可視光線照射下でのアザミの花

紫外線照射下のアザミの花

人間の眼には見えない紫外線領域の光線を認識できることが知られている昆虫。
この能力により、いち早く蛍光を発する植物の花粉を察知し、食料を花の蜜を得る。
一方、植物にとって蛍光を発することは、紫外線による遺伝子損傷から花粉を守るとともに、
昆虫を効果的に引き寄せて、受粉を確実なものとする。
植物の花粉が紫外線を含む太陽光線に当たっている状態で蛍光を発することは、
自分の身を守る上で理にかなっているだけでなく、昆虫を呼び寄せる上でも重要な役割を果たしている。
人間の眼とは異なる世界を視ていることになる。

この太陽から降り注ぐ光には、
人間の眼が認識できる可視光線(およそ380~780nm:紫~赤、植物の光合成に必要な光線を含む)、
さらに短波長の紫外線(およそ300~380nm)や
長波長側の赤外線(~3000nm)までの広範囲の光線が含まれている。
これらの光は動植物の生存には欠かせず、良くも悪しくも様々な影響を与えている。

「植物花粉の発する蛍光と人間の眼には見えぬこの蛍光を見ることができる昆虫の目」
人間にとっては未知の興味ある世界が存在している。
残念ながら、虫の眼がどのような色と形で外界を認識しているのか未だ科学的に解明されておらず、
掲載している写真映像が虫の眼が視ている花の色と姿とは同じものとは考えていないが……
上記のようなことを考えながら、紫外線照射下で色々な花の写真を撮って、
虫の目に映る世界を眺めてきたという。

虫が視る花？！「虫の目」植物図鑑 ～ 紫外線照射写真で見る花の姿と彩 ～より整理抜粋

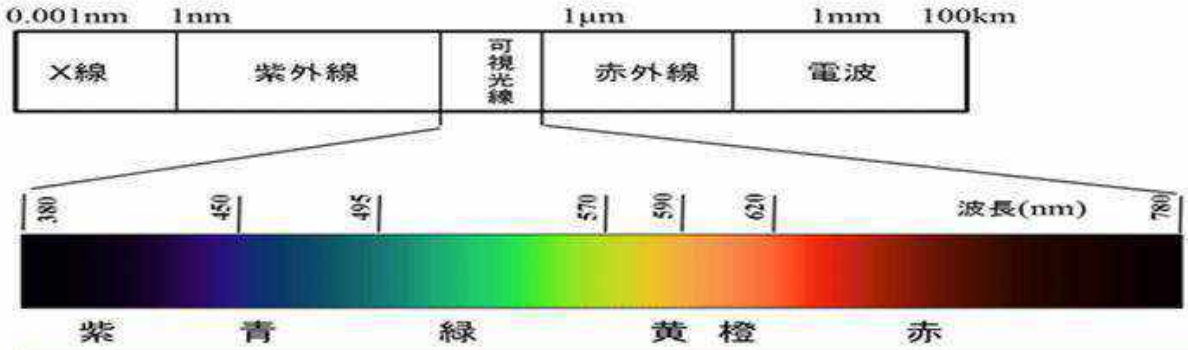
http://mushinomephoto.web.fc2.com/index.html

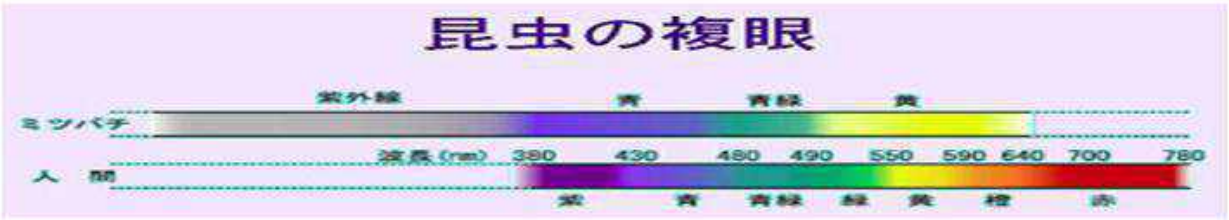
虫の眼が どのような色と形で 外界を認識しているのだろうか?
昆虫たちの目にはどのように写っているのだろうか?

紫外線照射写真で見る花の姿と彩

可視光線照射下でのアザミの花

紫外線照射下のアザミの花





左: 普通の写真　右: 紫外線照射下の特殊な条件で撮影した写真　インターネットから採取

2015年 8月

むしには花粉の蛍光が視えているか？

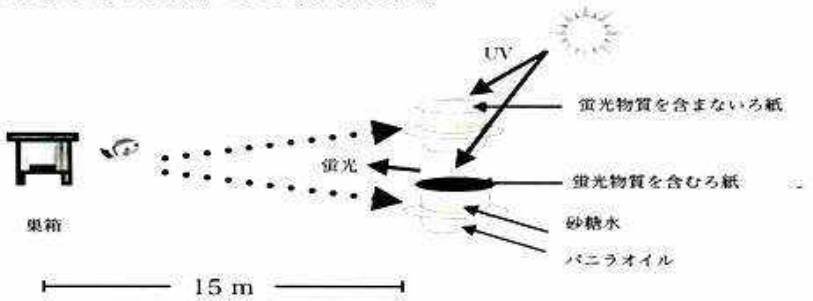
京都府立植物園「むしの目展」でもらった資料より

実　験

太陽光の下で昆虫が花を視る時、花には 200-400 nm の紫外線だけでなく 400 nm 以上の光も降り注いでいるので、暗室で撮影した展示写真のようにハッキリと蛍光だけが視えるわけではありません。それでは、明るい野外でも昆虫は蛍光を認識することはできるのでしょうか？これを確かめるために次のような実験を行いました。

ろ紙を 2 枚用意し、片方にのみ蛍光物質を含ませて、ミツバチがどちらを選択するかを調べました。ミツバチへの報酬として、ろ紙の下に砂糖水とバニラオイルのにおいが浸み出す仕掛けの給餌器を置いています。結果、ミツバチは蛍光を含むろ紙に多く訪れました。このことから、ミツバチは野外の明るい太陽光の下であっても蛍光を認識し、誘引されるということが明らかとなりました（2014年度 農芸化学会にて発表）。

蛍光が昆虫を誘引するために機能していることから、花粉の蛍光は主に虫媒花にのみ認められ、風媒花のように昆虫を必要としない植物の花粉は蛍光を示さないのではないかと想像できます。しかし実際にはそうではなくスギやイネのような代表的な風媒花にも蛍光はあります。植物は進化の過程で地上に上陸した際、紫外線による花粉中の遺伝子が損傷するのを防ぐために蛍光物質を持つようになり、それを食料とする昆虫が後に視覚的に利用するようになったのではないかと考えられます。

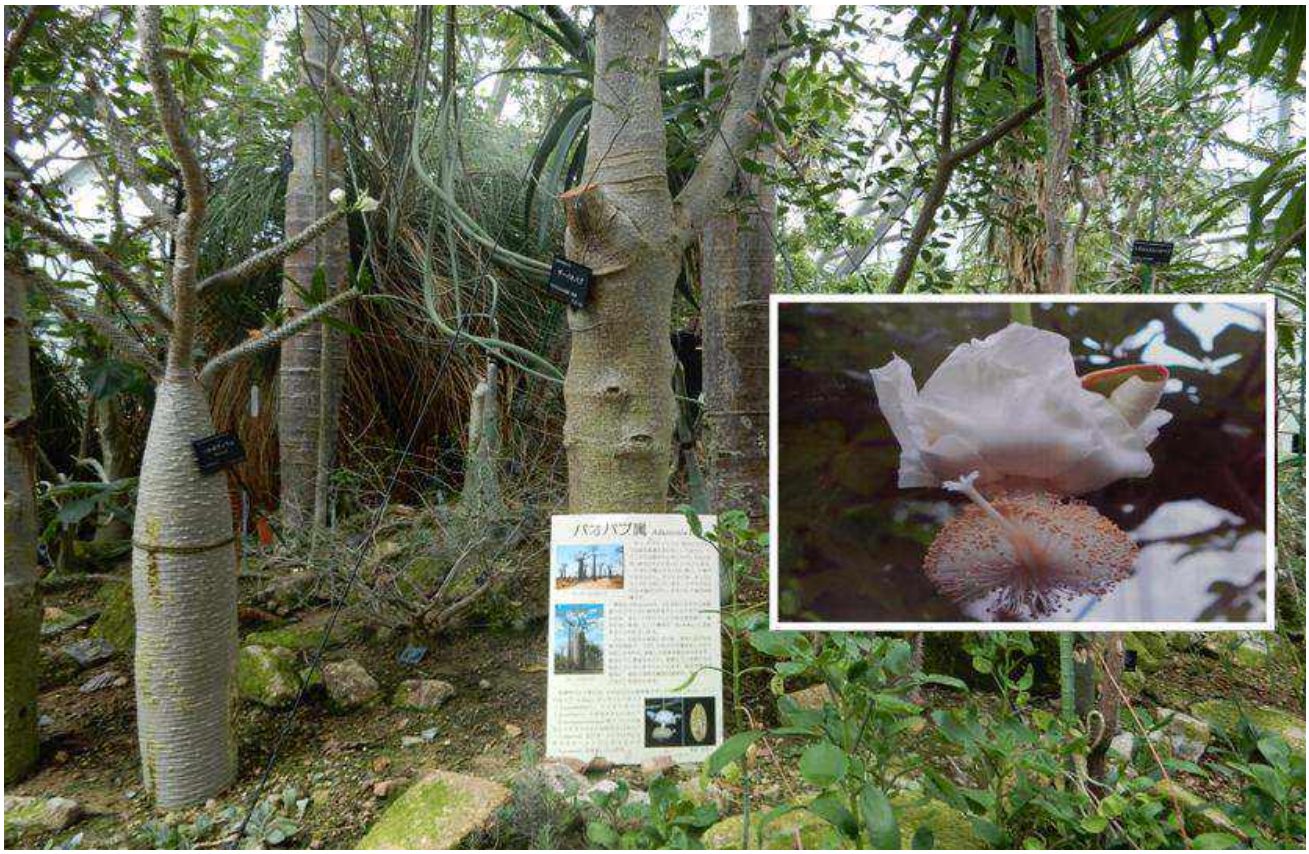


【お問い合わせ先】team むしのめ，森，平井（hirai@kais.kyoto-u.ac.jp）

展示写真は故福井先生のHPでも見られます。虫の目植物図鑑

【3】　アフリカ　バオバブの花　鑑賞会

夏のこの時期　毎年大きな白い花を咲かせるバオバウの木 今年はどうだろうか?
バオバオは夜に花を咲かせ、午後には、黄ばんでしまい落下する
入口で確かめると 今日は大きな花が咲いているが、もう午後　少し黄ばんでいるかも・・・・と



京都府立植物園の温室で開花したアフリカバオバブの花

私にとっては　毎年 アフリカを感じる花
午後おそくで　花びらの縁がちょっと黄ばんでいましたが、
今年も府立植物園温室に咲くバオバブの木の花に出会えました。

2017.7.30.午後　府立植物園温室で

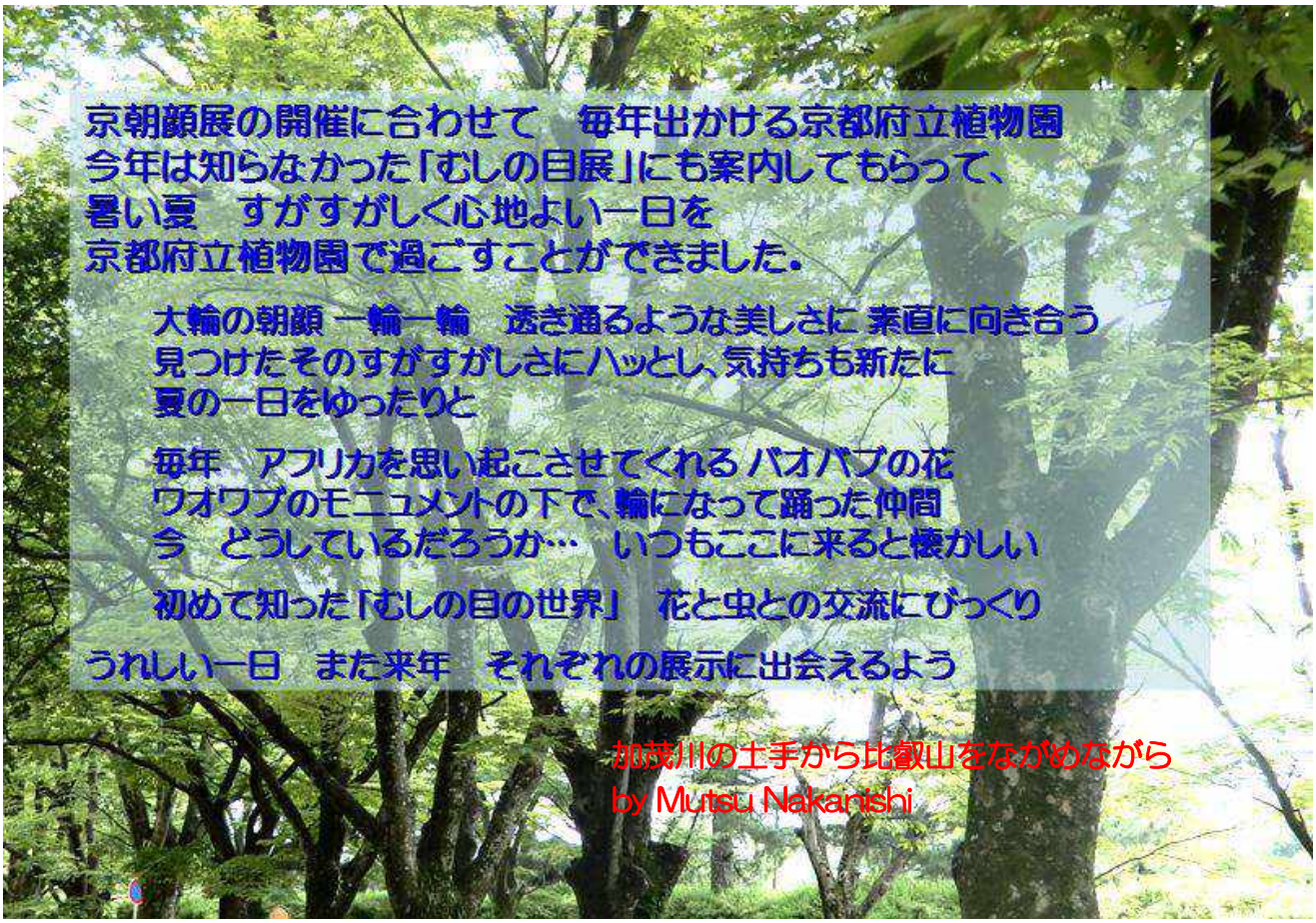
バオバブの花の開花の時間経過　2017.7.30.　京都府立植物園で

バオバブの花は夜に咲いて、翌日の昼にはもう落ちてしまう

明日はどのつぼみが開花するのでしょうか‥
バオバブの花　2017.7.30.　京都府立植物園で

バオバブの花　2017.7.30.　京都府立植物園で

蒸し暑い温室から　クーラーのきいた部屋へ渡ると
エーデルワイスなど高山植物が咲いていました　うれしい工夫です
エーデルワイス



【参考　風来坊　Country Walk】

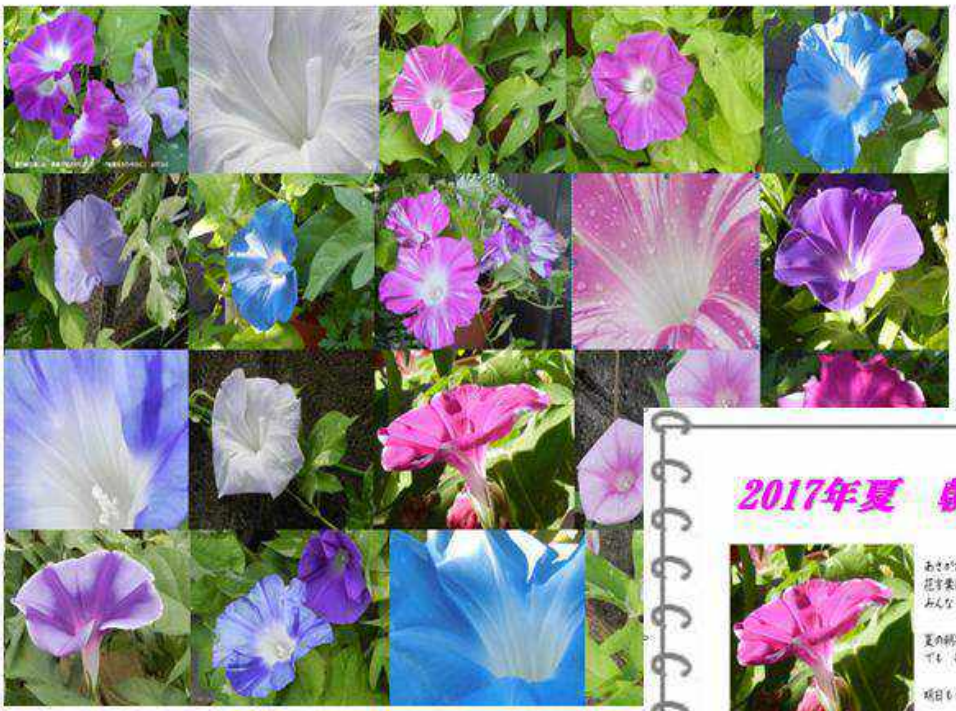
1. 2016 朝顔帳 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔　毎朝がたのしみに　2016 盛夏
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1609asagao00.htm
2. 2016 京都半日会 京朝顔展　京都府立植物園　　2016.8.2.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1609kyoasagao00.htm
3. 2014　京都半日会 京朝顔展　朝顔帳　京都府立植物園
   併せて アフリカ「バオバブ」の巨樹が白い花を咲かせているのも見ました
   - http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk14.pdf
   - http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/walk11/1409kyoasagao00.htm

2017 walk
15

2017年夏　庭の朝顔帳　2017. 8. 10.

毎年夏の朝を楽しくしてくれる朝顔　今年は咲くのが遅れて心配しましたが、
今年もすがすがしい朝を演出してくれました。
今年の我が家の朝顔帳です

朝顔の花言葉は「明日も さわやかに」



朝顔の花言葉
色によって違うようですが、「明日もさわやかに」
「さりげない愛」「冷静に前向いて」など

私には「包み込んでくれるやさしさ」そんな言葉も頭に浮かぶ。

2017.8.10.　by Kikuko & Mutsu

2017夏　朝顔帳

夏の朝　ひっそりと咲いて
昼には しぼんでしまう朝顔
そのすがすがしい姿に
なんとも言えぬやさしさに　こころ奪われ
「今日も　一日を　ゆったりと」

2017盛夏　Mutsu Nakanishi

いつも時期がずれる朝顔とヒマワリが角先で　一緒に咲きました

2017夏　朝顔帳

2017 夏の朝顔

混じりけのない済んだ透明な色が　朝をすがすがしくしてくれる。
また、朝　庭の朝顔に　ふっと息を吹きかけると
ぱっと花を広げてくれる　私の一番すきな瞬間です
今年も夏の朝を楽しませてくれました。

朝顔の花言葉　「明日も　さわやかに」

2017.8.10.　Mutsu Nakanishi

2017 walk
16

【Photo ･Ibum】２０１７ 実りの秋 東播磨のコスモス畑　2017.10.11.

加古川中流西岸に広がる　志方 & 小野きすみの里のコスモス・　麦畑

今年も東播磨　実りの秋の田園を飾るコスモス・ソバの花に出会えました

加古川中流西岸　小野アルプス・志方城山を背に広がる志方の里のコスモス畑　2017.10.11

南北を里山に挟まれ、東西に細長く広がる加古川市志方の里の実りの秋　2017.10.11.

近くの総合運動公園のコスモスも「コスモス開花中」の幕が張られ、各地のコスモス便りが新聞や　から伝えられる１０月。実りの秋　秋祭りの記事も目に付く。でも　東京や関東ほどでもないが、　月の　さ・ギラギラの太陽が　のようにぐずつく天気が続き、すっきりとした天気がなかなかやってこない。孫たちの運動会も終わったし、一度　郊外へ出たいとうずうず。

今日もすっきりした天気ではないが、田園の実りの秋を見に出たいと原チャリを走らせて、加古川の土手から、志方の里へ　コスモスを訪ねる。

加古川を渡って　東播磨の里山が連なる山裾平荘の里を抜けると　城山を背に東西に細長く田園が広がる志方の里。

南北を里山に隔てられて、奥へ広がる黄金色一色の田園が目に飛び込んできた。久しぶりの仕方の里。実りの秋を迎えた志方の里は　入れの真っ最中。黄金色の田園の中に忙しく　く　り取り機がいくつも見え、その田園の中　遠くピンクに染まった帯がいくつか見える。

集落の休耕田を　用したコスモス畑。

今年も健在である。

毎年志方の里のコスモス畑を巡る私のコース。

◎　すぐ北側城山東の山裾に広がる広尾の里のコスモス畑から、志方の田園地帯の中央　高畑・東飯塚のコスモス畑から一番西端　畑の里のコスモス畑から東へ田園地帯の北の縁を戻って、志方の中央から北へ城山の北側　山陽自動車道が走り抜ける山間の志方野　の里へ。

野　の山裾は　麦の栽培が盛んな里で　ほんの一　間ほど　麦の花ときれいなコスモスが重なる時期がある。

今年はいつもより少し早く訪れたので　昨年は見られなかった　麦の花も見られるかもしれないと期待一杯。

◎　野　の里から城山の北側の山間を東へ　志方(加古川市) と小野市の境 福　峠を越えて　小野アルプスの山裾　池・来住野へ。福　峠からは来住野への峠道　四季折々の田園風景がみられるポイントであり、来住野に下ると小野アルプス山裾に広がるソバ畑。白い花がみられるかも・・・・。

そして　▪　小野町駅にある駅そば「きすみの　麦」を食べるのが毎度の　め。

でも　今日は水曜日　残念ながら　麦屋は定休日。きすみのの　麦は次の新　麦が出るまでお　け。

◎　帰りは　加古川の土手を上荘橋まで走って、来た道　稲美の田園を抜けて帰ることに。

例年この時期　稲美の道　にテントが建つ黒　の枝　の枝　を買って帰って、今日のビールのつまみに。

期待いっぱいで今日一日　２０１７年志方・小野来住野の里　コスモス探訪のコースが決まり、北の城山の麓の志方広尾の里へ向かう。

【Photo ▪Ibum】２０１７ 実りの秋 東播磨のコスモス畑　2017.10.11.
加古川中流西岸に広がる　志方 & 小野きすみの里のコスモス・　麦畑

1. 志方のシンボル　志方城山の山裾　広尾の里
2. 志方の田園の中央　城山が見下ろす 高畑の里
3. 志方の田園の中央　送電線が渡ってゆく東飯坂の里
4. 城山の北側の山間　　麦栽培の里　志方野　の里
5. 志方と小野の境　　福　峠　実り秋景色
6. 小野アルプスの山裾　そば　　来住野の里　そばの花

1. 南に飯森山が見える志方の里の東入口　志方城山の山裾　広尾の里

南に飯森山が見える志方の郷の東の入り口　広尾の里のコスモス畑　　2017.10.11.

2. 志方の田園の中央　城山が見下ろす 高畑の里

3. 志方の田園の中央　送電線が渡ってゆく東飯坂の里

4. 城山の北側　県道１６６号線沿いの山間　　麦栽培の里　志方野　の里

毎年秋になると　　麦とコスモスの花が里を彩る山合いの里

5. 志方と小野の境　　福　峠　実り秋景色

野　の里から山あいの志方から小野へ抜ける一本道県道 166 号を東へ

6. 小野アルプスの山裾　そば　　来住野の里　そば畑 & コスモス

小野アルプスを背に小野市来住野の　麦畑　　2017.10.11.

志方野　の里から東へ　福　峠を乗っ越すと小野アルプスの北側加古川西岸の丘陵地に広がる来住野。▪　加古川線が▪　小野町駅を経て、加古川に沿って北にさかのぼり、
川の対岸は小野の市街地が広がっている。
この小野アルプスの山裾沿いの丘陵地の田園地帯の中に特産の　麦畑が点在し、白い花が満開。
そして、その向こうには小野アルプスを背景にコスモス畑がありました。

小野アルプス北麓の田園地に隣接する　麦畑とコスモス畑　2017.10.11.

今年は昨年より、５日ほど早かったので、志方の田園は　入れが始まったばかりで、一面黄金色。
その向こうにピンクの帯のコスモス畑の素晴らしい景色を見ることができました。
コスモス満開に少し前だったことや休耕田を使ったコスモス畑の場所も少し移動していて、イメージしていたいつもとはちょっと違った景色が見れたのもうれしい。
また、少し早かったおかげで　　麦の産地　野　や来住野の里には　まだ白い花満開のそば畑が残っていて、そば畑の美しい景色も見ることが出来ました。
　毎年新しい発見がある東播磨の秋　今年もうれしいコスモスを訪ねる志方の里でした。

ふっと気になって　　麦の花に花言葉があるかと調べてみました。
日本では縄文時代から栽培されてきた「　麦」。　その清　な白い花には　そんな生い立ちを象徴する言葉が並んでいました。

また、秋　一面黄金色になった田園のピンクの帯が風にそよぐ。
花一輪一輪の　性的な主張はないが、心地よい秋の田園を毎年見せてくれるコスモス。
清　な花に心　われるうれしい2017実りの秋の訪れです。

2017.10.11.
[illegible]

志方東飯坂のコスモス畑から眺める志方の田園全　　2017.10.11.

2017 walk 17

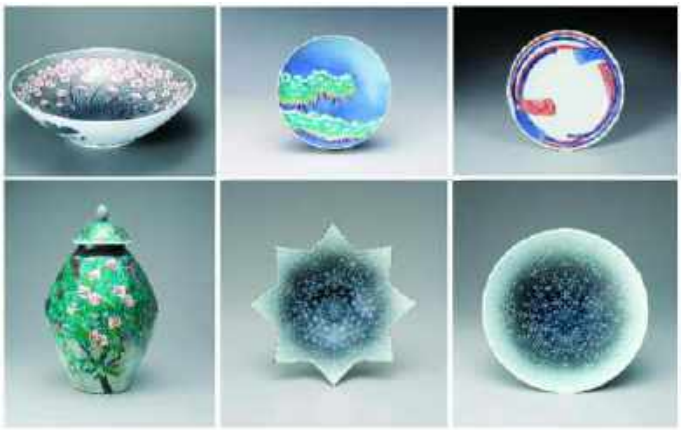
2017秋 今右衛門の色鍋島のプラチナ釉 & 縄文のビーナス

２０１７年秋　今年の秋の展覧会にも いくつか足を運びました

1. 兵庫県陶芸美術館特別展「今右衛門の色鍋島　煌めく人間国宝のわざと美、そのルーツ　展」
2. 京都博物館　2017 秋特別展「国宝展」久しぶりに縄文のビーナス・女神たちに出会ってきました

陶芸の郷　丹波立杭　兵庫県陶芸美術館特別展

1.「今右衛門の色鍋島展」煌めく人間国宝のわざと美、そのルーツ　2017.10.14.



１０月秋も半ばになっても　まだ天候不順がつつぐ１４日　霧雨交じりの曇天でしたが、家内と二人で丹波立杭の陶芸美術館へ。兵庫陶芸美術館で開かれている特別展「色鍋島 今右衛門展」に行ってきました。
日本の磁器が佐賀県有田で生まれて約 400 年。その有田焼 400 年を牽引してきた柿右衛門窯と今右衛門窯。その今右衛門窯が受け継いできた色鍋島の特別展。
山口県美祢で約７年仕事をした時代に、何度となく有田を訪れ、窯元が立ち並ぶ有田焼の街中を歩いたことが、何度かあり、柿右衛門窯の展示館を訪れたこともある。しかし、今右衛門窯の「色鍋島」の系統的な歴史展示や展覧会を見たことはなく、是非とも見たかった特別展。

人間国宝１３代・１４代今右衛門さんの作品に至る「色鍋島」の歴史展示が見られる。
素晴らしい色鍋島の繊細緻密な落ち着いた美しさに触れるとともに、１４代今右衛門さんが編み出した金属釉が作り出す世界の楽しみにも触れることができたうれしい特別展でした。

◎　柿右衛門窯の赤絵
乳白色の地肌に赤色系の上絵を焼き付けるという日本で初の赤絵付けの技法を
開発し、海外輸出を契機に様式を確立した柿右衛門窯。

◎　今右衛門窯の色鍋島　墨はじき
一方、鍋島藩の御用窯として高級磁器　鍋島焼の技法と伝統を受け継ぎ発展させ、
「墨はじき」の技法をあみだし、「吹墨」「薄墨」「吹重ね(吹墨と薄墨を重ね合わせた
新技法)」の技術を色鍋島に確立。伝統に新しい風を吹き込み、色鍋島の評価をさらに高めました。

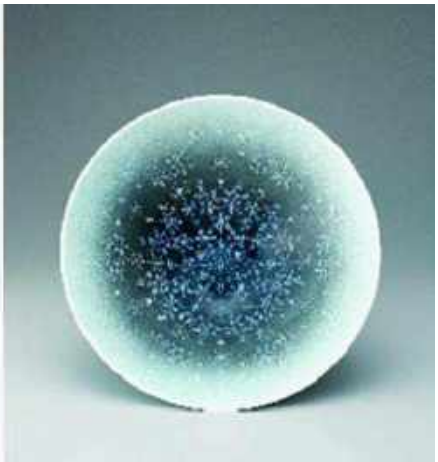
色鍋島は、江戸期の佐賀・鍋島
藩窯で、将軍家への献上品をはじめ、幕閣・
公家・諸大名らへの贈答品、藩の城内で用いるため
に作られた最高級の色絵磁器で、熟練の優れた陶工たちを
集め、徹底した分業体制のもとで厳正に管理し、精緻を極めた美
しさと高い品格を目指したものでした。
その色鍋島の伝統を、明治期以降、今日まで継承してきたのが、藩政期
に代々御用赤絵屋をつとめていた今泉今右衛門家です。その工芸技術は、
重要無形文化財「色鍋島」の保持団体である色鍋島今右衛門技術保存会に
受け継がれ、また、その芸術性は、同時代的美感を加える独自の表現で色絵
磁器の造形美を追求し、「吹墨」・「薄墨」・「吹重ね」などの技法で現代の
色鍋島を創作した十三代今右衛門(1926-2001)や、「墨はじき」という伝統
の白抜き技法をメインに、色鍋島の新たな造形的魅力を追求している当代・
十四代今右衛門(1962-　)の作品に見事に開花しています。
本展では、2014年に陶芸家としては史上最年少の51歳で国の重要無形文
化財「色絵磁器」の保持者(人間国宝)に認定された十四代の最新作か
ら、1989年に同じく人間国宝の認定を受けている十三代をはじめ、明
治期以降に色鍋島の伝統美を保持・発展させてきた十代、十一
代、十二代の歴代今右衛門の作品、さらには藩窯鍋島焼の精
品まで、崇高なる色鍋島370年の造形美を紹介します。
会場では、テーブルアートの第一人者・
阪口恵子氏によるテーブルコーディ
ネート展示も行います。

江戸期の佐賀・鍋島藩窯で製造された色鍋島は、精緻さと洗練されたデザインで、格調高い美しさを誇る色絵磁器。藩政期に代々御用赤絵屋をつとめた今泉今右衛門家では、その美質を今日まで伝えるとともに、新しい時代に相応しい美と品格を追求しています。人間国宝十四代今泉今右衛門をはじめとする歴代今右衛門の作品、藩窯鍋島焼の精品を通して、色鍋島370年の造形美に迫ります。

《色絵薄墨墨はじき雪文百合鉢》十四代今泉今右衛門　2008年　個人蔵
背景《色絵薄墨墨はじき雪文鉢》（部分）十四代今泉今右衛門　2011年　個人蔵

13代・14代今泉今右衛門の作品を主に色鍋島・鍋島焼　370年の歴史・作品の流れが見られる展覧会。
素晴らしい色鍋島の世界に魅了されました。

鍋島藩窯で製造された色鍋島。３７０年の伝統を受け継ぎつつも、新しい技法を次々と注ぎ込んで、新しい色鍋島を世に出してきた佐賀県有田の「今右衛門窯」。
古伊万里はほとんどが絵の具で線描きされているのに対し、手間のかかる墨はじきを使って背景のトーンを微妙に抑えるのは、鍋島焼だけが使う特徴。
伝統の中に独自の表現で色絵磁器の造形美を追求し、「吹墨」・「薄墨」・「吹重ね」などの技法で現代の色鍋島を創作した十三代今右衛門。墨で文様を描き、その上を染付で塗り、その後、素焼の窯で焼くと 墨が飛んで白抜きの文様が現われる当14代が編み出した技法「墨はじき」。
この技法はさらに「雪花墨はじき」の技法として結実する。



また、14 代が編み出した金属「プラチナ」釉の作品には金属屋である私には「金属の持つ魅力」を呼び起こしてくれたうれしい作品でした。

青と白を基調とした絵柄の中に　金属「プラチナ」釉で緻密に描きこまれた絵柄が陽光に光沢を放ち輝き、見る方向で逐次変化する。絵付けされた図案に調和しつつも、愛でる度に見る人それぞれが発見する美しさと斬新さ。それを環境・時間が変化しても光沢を失わぬプラチナが存分に引き出している。

ついつい忘れがちな金属光沢の放つ魅力を再認識させてもらいました。

「今右衛門の色鍋島」展　テーブルコーディネートのコーナーで　2017.10.17.

13・14 代人間国今右衛門さんの素晴らしい作品の数々とともに、久しぶりに磁器をゆっくり愛でる時間を持てたうれしい特別出んでした。　掲載した photo は特別展のパンフレットと撮影が許可されていた今右衛門窯の四季飾りの作品展示並びに一部インターネットから転機させていただきました。ご承知ください。

2.　京都国立博物館２０１７秋特別展「国宝展」　　2017.10.27. 夕

久しぶりに縄文のビーナス・女神たちに出会ってきました

京都国立博物館２０１７秋の特別展「国宝展」で縄文のビーナスや女神の土偶がそろって展示されていると聞く。

「今年はなおさら。是非とも出会いたいなあ」と。

国宝が勢ぞろいする特別展　大勢の人出を見越して、夜８時まで開館されている１０月２７日金曜日の夕方に出かけました。国宝勢ぞろいで、力が入っているようですが、今回の目的は縄文のビーナス・縄文の女神　そして十日町の火焔土器。　出会えるだけで、満足とせねばと。

「日本人の心の故郷　縄文」　人類が絶滅の危機を乗り越えてこれたエンジンは「相手を思う心」にあった。
そんな証が日本の縄文。世界に類例がない約１万年の長きにわたって途絶えることなく永続した日本の縄文
厳しい環境の中にあって　そんな平和なくらしの象徴が　縄文のビーナス・縄文の女神

教科書から縄文が消え、縄文を知らぬ人が多い。　縄文の世界遺産登録にはなかなか理解が得られない。
でも　日本が世界に誇れる一番が縄文。世界の平和が一番脅かされている時代の今
こんな時代だからこそ「日本人の心の故郷　縄文」に眼を向けてほしいと。

◆【和鉄の道】日本人のふるさと　縄文　　縄文の心を映すストーンサークルを訪ねる　＆　縄文掲載リスト

◎ http://www.infokkkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm

◎ http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf

2017 walk 18

記憶を思い起しながらの大阪港の渡しwalk

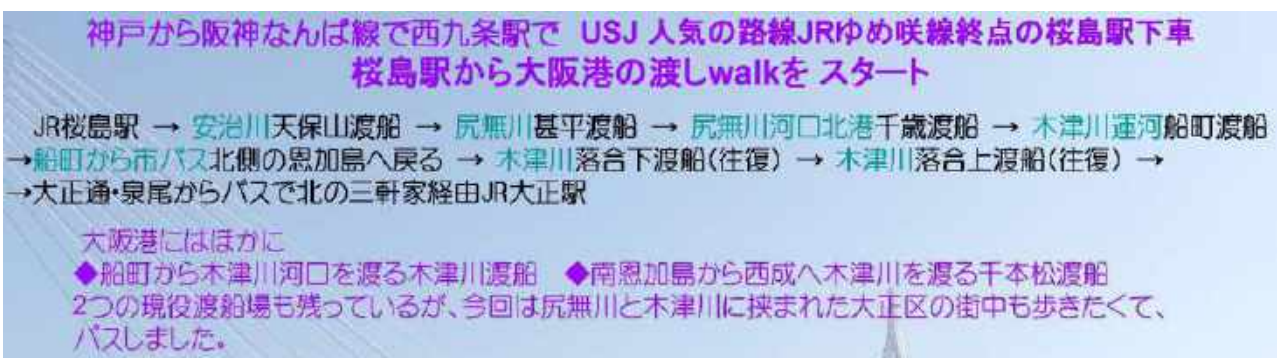
by Mutsu Nakanishi

【記録 Photo】　大阪港の渡しwalk　　*2017.10.27.*

大阪の街は淀川の河口に発達したいくつもの島や砂洲の上に発達した町。
高度成長期に沖に南港の人口島が造成されるまでは、港も工場もみんな河口から奥へ川岸に沿って広がり、川筋をトラバースするため、川筋にはいくつも渡し場がありました。この渡船は道路の一部なので、公営で無料で人と自転車が通行できる。
大きな橋がいくつも建設され、バス・地下鉄ができた現在も、対岸へ渡るには公共交通や橋を渡るより渡しで渡るのが一番の生活手段である事情はかわらない。

地図を見ると船が横付される工場群が川筋に並び、おいそれと橋が架けられず、高所を渡ってゆく橋を見上げれば、船の渡しの方がはるかに早く便利なのです。
自転車も一緒に乗れる渡しは通勤・通学・買い物そして近年は観光にも。

私にとってはいつも頭の片隅にしまいおかれている場所。
大阪市に勤めていた父が、退職後２度の勤めで通ったのが、大正橋の木津川沿岸で仕事する小さな会社の集まりの協同組合で、「大正橋」「三軒家」「泉尾」「天保山」「築港」・「安治川」「市岡」「野田阪神」「九条」などの大阪港周辺の地名には今も親しみを感じている。でも、その大半には名前ほど街中を意識して歩いたことがない。
また、大阪港の渡しには何度となく連れて行ってもらったが、その場所についての記憶もほとんどない。
みんな遠い小さなときの記憶で　名前・地名ほどにははっきりした記憶はない。
また、大学４年の夏現場実習で日立造船・築港工場に約１ケ月通ったのですが、そのすぐ横にも船町の渡船場がありました。
インターネットで、大阪港の渡しのマップを見つけ、地図を引っ張り出して、今も残っている大阪港の渡し並びに港の街歩きをやってみたいと地図に　「自分の記憶を呼び起す大阪港の渡し巡りのコースを作りました。
大阪港の渡し巡りの WALK　快晴になった１０月２７日の朝　神戸を出て阪神電車なんば線に乗り、スタートに決めた JR 西九条駅へ。　一日大阪港の渡し場巡りで撮った大量の渡船場周辺の Photo。
またどこかで記憶を呼び起す材料になればと独りよがりの大阪港の渡しwalk の photo album のファイルです。



【1.】大阪港の北西端　此花区の桜島から南の港区天保山へ安治川を渡る安治川渡船場

大阪港の渡し巡りの WALK　快晴になった１０月２７日の朝　神戸を出て阪神電車なんば線に乗り、スタートに決めた JR 西九条駅へ。そこから、JR 夢咲線に乗り換えて桜島へ。

桜島(此花区)側　天保山渡船場前　2017.10.27.　10:31

対岸 橋の向こう側が天保山(港区)の前着き場　また、その横天保山の桟橋には
日本丸・海王丸2隻の帆船が停泊。大阪港も開港150年のイベントが行われていました
安治川河口　桜島(此花区)側　天保山渡船場　2017.10.27.

渡船に乗って　安治川河口の出口　南側南港方面　2017.10.27.

渡船に乗って　安治川河口の出口　南側南港方面　2017.10.27.

安治川河口南側　天保桟橋から南港

安治川河口　北の上流側　対岸の桜島側

安治川河口北の上流側の上流側　大阪の市街地を眺める

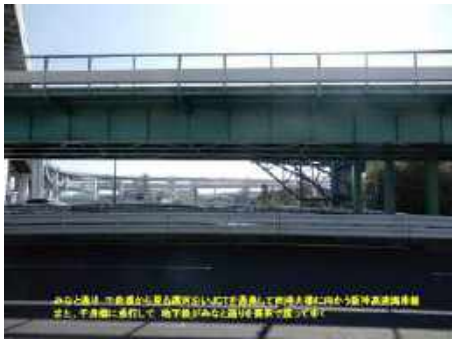
港区側

天保山の渡船場　2017.10.27.

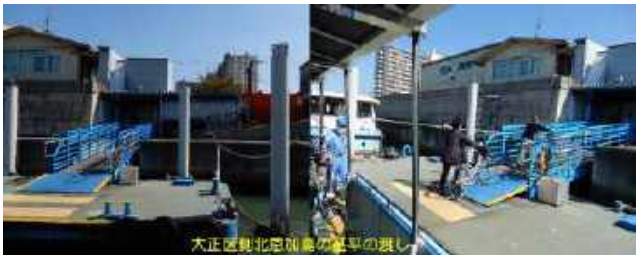
【2】明治から昭和　外航船が接岸できる海港 埋め立てで建設された大阪港 大阪築港「天保山」

◎開港１５０年記念停泊中の日本丸・海王丸　◎かつて日本一低い山として国土地理院の地図に掲載された天保山

【3】天保山から港大通りを北へ　港区中央の街を歩いて朝潮橋から東へ尻無川渡船場へ



【4】尻無川の甚平渡船場　尻無川を東に渡って大正区北恩加島へ
　　そこから南へ町中を抜けて　北恩加島の南西端　千歳橋の袂　千歳渡船場へ



【5】千歳渡船場の横から 同じく南の鶴町へ安治川の河口を渡る大きな千歳橋の歩道を歩く

非常に高い場所を渡る橋　生活道路として使う困難さの体験と大阪港の内向を高所から眺める

【6】北恩加島の千歳渡船場から尻無川の河口・大阪港大正内港を南の鶴町へ渡る
そこから鶴町の街を南へ歩いて、木津川運河を南の船町へ渡る船町渡船場へ

鶴町側千歳渡船場から、今渡ってきた眺めた大阪北港(内港) 2017.10.27.

鶴町側 千歳渡船場 2017.10.27. 13:03

千歳渡
船町渡

鶴町側千歳渡船場から南の船町へ木津川運河を渡る船町渡船場へ
次の船町渡船場へは鶴町の市街地を南へ抜けてゆく。途中コンビニに入って、握り飯と水を買って
ばくつきながら歩く。　南港地区を除けば、大阪港の一番南の場所である。
都心からずいぶん離れているとの感覚なのですが、地図を見ると難波に近い。
多くの人が港と共存して暮らしているのだと、ひっきりなしにバスが追い抜いてゆく。
千歳渡
船町渡
次の船町渡船場へは鶴町の市街地を南へ抜けてゆく。途中コンビニに入って、握り飯と水を買って　ばくつきながら歩く。
南港地区を除けば、大阪港の一番南の場所である。
都心からずいぶん離れているとの感覚なのですが、地図を見ると難波に近い。多くの人が港と共存して暮らしているのだと、
ひっきりなしにバスが追い抜いてゆく。
学生時代夏の1ケ月工場実習で船町の造船所に大阪駅から市バスで30分たったかかけて、船町の工場に通ったときに、大正・泉尾・思加島と大阪港の街中を抜け、工場街に入り、この鶴町の名前を知った記憶がある。　船町もふくめ、街の記憶は全く薄れているが…

千歳橋渡船場から20分ほど下、木津川運河左岸に渡る船町船町渡船場
2017.10.27. 13:3
目の前に木津川運河が流れ、対岸の船町は中山製鋼の鉄の街

【7】鶴町の南側 木津川運河沿いの船町渡船場

大阪港(北港)の最南端 船町に渡り、西船町からバスで大正区の中央へ戻り、木津川川沿岸へ

船町側 船町渡船場前の通り 2017. 10. 27.

西船町のバス停前 2017. 10. 27. 13:48

Google photo

右側中山製鋼と書かれた建物
西船町バス停前 Google photo

東を木津川、西を安治川に挟まれた細長い大阪北港の中心地大正区。
その南端、西船町から北の大正橋まで、大阪北港の中央を貫く大正通をまっすぐ北にバスで向かう。学生時代、大阪駅から西船町まで、工場実習で通った路線である。
北恩加島の平尾町のバス停で下車。
そこから東の木津川と大阪の市街地西成区とを結ぶ落合下・上二つの渡船場を巡り、大正橋へ戻って、今回の大阪港渡船巡りの終わりにする。
船町は人家がない中山製鋼の鉄の街。バスは鉄の工場群の中を北へ抜けてゆく。

木津川運河にかかる大船橋　木津川運河の先に船町渡船場のあたりが見える

大正橋の交差点を通過、南恩加島にはいり、平尾のバス停で降りて、木津川に向かって前方の横断歩道を渡り、平尾の街中へ向かう。13:56

Google photo

【8】大正区の中央　平尾のバス停で降りて、大阪港の一番東側を流れる木津川へ
木津川を東の市街地西成区へ渡る落合下・落合上渡船場

大正区から東の西成区へ木津川を渡る 落合下渡船から北の上流側　2017.10.27.

落合上渡船場のある三軒家川(左)と木津川(右)の合流点のすぐ上にある三軒家水門とアーチ型の木津川水門が見え、港に入った船は木津川水門のさらに奥まで遡る

また、左手奥に西から北へ回り込んでくる尻無川の北にある円形の大阪ドームが見え、尻無川と木津川が合流する大正橋のあたりの地理関係がよくわかる。

大正区から東の西成区へ木津川を渡る 落合下渡船　復路　2017.10.27.

もう一度、三軒家水門と木津川水門をしっかり、眺める。
どちらの水門の奥にも数多くの船がはいっており、この二つの水門が水路奥深くに入り込んだ港の機能を高潮から守る重要な役割を担っていることがよくわかる。

大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合下渡船場　2017.10.27.

大阪の内港が本当に町の奥深くまで入り込んでいることがよくわかる落合下渡船場でした

西成側対岸の岸壁には石炭だろうか?いくつも台船が並び、作業中。
その向こうは太平洋マテリアル関連の工場群　そして　その後ろには千本松大橋　2017.10.27.

小林公園のバス停前まで戻り、バス道を北へ落合北の渡船場へ
落合下の渡船場からも見えていた木津川水門の手前のところ
地図によれば　すぐ北の千歳公園のところから東へ抜ければ
すぐ近くである。

千歳大橋から眺めた淀川河口の内港の東側に見える松の森　千島公園
千島公園
千前中に南の端　千歳大橋から眺めた
千歳公園ほか大正区の北の中心斜

大正区の大きな公園　千島公園　東側入口前　2017.10.21.
西の大正通りからこの通りまで、小さな丘が丸ごと公園になっている大きな千島公園。
公園の東側角の入口のすぐ北の三叉路に落合上渡船場の標識があり、　これを東に入
ると木津川の防潮堤　落合上渡船場前へでる。

大正区から東の西成区へ木津川を渡る大正区側 落合上渡船場前　2017.10.27.　14:3

木津川を渡る大正区と西成区を結ぶ落合上渡船場　2017.10.27.

【9】西の大正通りへ戻り、泉尾のバス停から JR 大正駅へ出て　大阪港の渡し walk を終わる

一日大阪港の渡しを巡るwalk
大阪湾にそそぐ3つの川　西から東へ　安治川・尻無川・木津川の川筋に今も活動がつづく大阪北港。
川筋と運河にはさまれた狭い島の中　周囲は川に面した岸壁に直結した工場街
そして高架で島を渡ってゆく高速道そして大通り網が島の港の機能の中核を担う。
しかし、その中央には多くの人たちが暮らす大阪の下町が今も健在である。
ひっそりとした渡し船かと思いましたが、住人達たちの話し声が飛び交い、自転車ごと隣の島へ渡ってゆく、都心から遠く離れた南の離れ小島などの妄想はいっぺんに木っ端みじんに。

そんな日常の島の暮らしを支え、街と街をつないできたのが、大阪港さん河川の渡しのネットワーク。
一日中渡船も15分～30分間隔で運行され、都市内の市バスの運行間隔と変わらない。
今も多くの人たちが行き来する。
大阪港の渡し　全く飽きない楽しい渡し場巡りでした。

南港に港機能の主要部が移って、ドンドン疲弊しているのではと思っていましたが、元気な大阪内港の活動にもびっくりでした。　また、鉄の街を見る機会がどんどん減って、寂しくなっていましたが、ひさしぶりに　活発に動く川筋にある鉄の街・工場を見ることもできました。　ただ、造船所が次々、消えてゆくのはさびしい。

Walkの中で　うっすら記憶にある地名が飛び出し、街中を歩けたのも収穫。
街で見かけるトラックの住所はこんな町だったんだなどなど。
親父がよく言っていた木津川沿岸　大正橋　三軒家　築港　天保山　安治川などの地名。
そして学生時代の記憶　鶴町・船町もしっかり見てきました。　安治川口から桜島　USJができてからの変貌そして天保山の変貌にもびっくり。
こっちはもう　浦島太郎でした。　また、天保山にも登って三角点踏みそして日本丸・海王丸もみれました。

駆け足の大阪港の渡しwalkでしたが、一応予定通り、全部回れましたが、安治川の源平渡し代替地下歩道トンネルと消えた安治川の渡し群　築港ほか地名から見えてくる島々の埋め立てと港整備の歴史等々まだまだ面白いことがあると見える 大阪の渡しwalk。　次回はまた別のまわり方をトライしたいと。
また、今回は歩けなかった大正橋から西九条への港地域の北側界隈　また次の機会にトライしたいと。
知っているようで知らない街歩き。今回もまた　そんなうれしい街歩き。
私にとっては昔の記憶を呼び覚ます街歩きでもあり、うれしい私的な写真帳ができそう。　楽しい一日でした。

環状線の窓から　大阪内港の船やアーチ型水門を眺めながら
2017.10.27.午後　　Mutsu Nakanishi

アーチ型水門　河を閉じる水門はどこに 格納されているのだろうか？ 不思議で・・・・・・・・・
調べてみて　やっとその疑問が解けました

アーチ型水門は実際に高潮から守るとき　どんな風に閉まるのでしょうか？

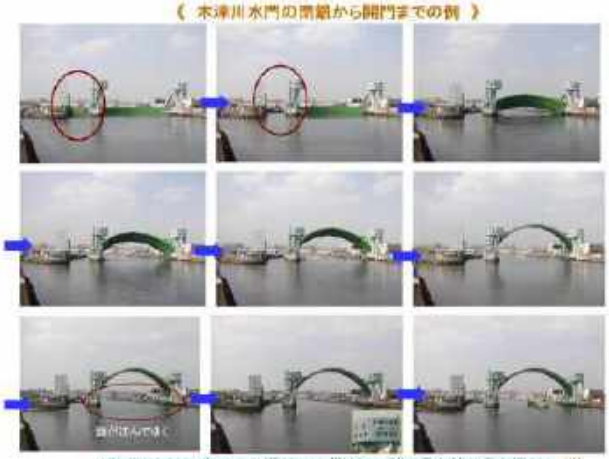
巻き上げ機からワイヤーロープを繰り出し扉体を上流側に90度倒す

調べると昔同じで、安治川水門の場合の写真がありました

主水門閉鎖作業中　→　主水門完全閉鎖

副水門閉鎖作業中　→　副水門完全閉鎖

《 木津川水門の閉鎖から開門までの例 》



http://nor-chan.sakura.ne.jp/Okkimono/Okkimon/VisorGate/VisorGate02.htm より

大河　淀川にはアーチ型水門がないのに　なぜ　大阪港の3河川にアーチ水門がいるのか？

大阪の港の3つの安治川・尻無川・木津川になぜ　アーチ型水門があるのか、これらの川にはすべて高い防潮堤が張り巡らされているのに、なぜ　高潮対策の水門がいるのか??? と。
よくわかりませんでしたが、水門構造・水門閉鎖の作業・水門構造を知って、それが理解できました。

これらの川の奥に内港があり、数多くの船が停泊している大阪。　高潮が発生して、川を遡る潮から川筋の岸壁にいる船を守るのが主用途なんだと。

要は海岸の沖にある波けしブロックの役割と同じで、川を遡る高潮のスピードを殺すのが役割のようだ。
したがって、閉じられる水門は底にはついておらず、海水表面から上へ出ている部分が重要なんだと。
川の水位上昇を抑えるのが主目的ではなく、川を遡る潮のスピードを落とし、急速な川の水位上昇を緩和する目的だと。

したがって　狭い川筋に港がある大阪には重要なんだと。　したがって　川幅の大きな淀川には防潮堤は完備されているが、アーチ型水門はないのだと。

間違っているかなぁ???

2017.10.27.　大阪北港の渡し巡り　尻無川河口　大正内港に架かる千歳橋より周辺を眺める

甚平渡船場
落合上渡船場
千歳渡船場
船町渡船場
落合上渡船場
天保山渡船場
甚平渡船場
2017.10.27.

大阪港渡船場　2017.10.27.
現在も「道」として地域の足
JR大正
天保山渡
甚平渡
落合上渡
千歳渡
落合下渡
千本松渡
船町渡
木津川渡